

「リタイアドシニアの財布構造」調査研究 -シニア夫婦の財布、決定権はどっち？-



報告書

平成17年5月

研究体制

企画推進	高橋洋一郎	(株)パワーウイングス
	加藤信介	(財)ハイライフ研究所
	萩原宏人	(財)ハイライフ研究所
研究協力	上野昭彦	(株)読売広告社
		ソリューション開発局 R&D 部

はじめに

ハイライフ研究所では、定年期を人生の大きな転換期としてとらえ、その期間における夫婦関係を軸に、調査研究をおこなってきた。平成15年度においては揺れ動く夫と妻の定年期の心情とその回復過程を環境への適応行動としてとらえ、「定年期夫婦の光と影」に関する調査研究として平成16年に報告書が取りまとめられた。

平成16年度研究として、本研究はさらに一歩進め、定年期における夫婦の財布構造を調査研究することとした。定年期は収入と資産の状況がガラリと変化する時期であり、ライフスタイルの基礎構造として、そのフローとストックを夫婦はどう管理し、どう支出するのか、なぞの多い分野だからである。

定年期になって財布管理者は誰になるのか。家へ帰ってきた夫なのか、それとも妻なのか。夫の収入は妻のものなのか、夫のものなのか。はたして資産は誰のものなのか。資産は夫が自由に使えるものなのか、そうではないのか。日常を豊かにすることと、いざというときに備えることが、収入と資産の財布の中でどう判断されるのか。

こうした謎を明らかにした既存の調査研究はほとんど見当たらない。そのため、本調査研究では、夫婦の財布管理タイプを4つのパターンに分類し、そのパターンごとに支出の特徴を分析している。また支出は「日常を豊かにする」支出と「ここぞというとき」の支出とに分けて考察している。

定年期は暮らし方の再構成期である。いままでストックされてきたお金がフローし始めるときともいえる。団塊の世代が定年期を迎える2007年以降、定年期の消費が特に注目される可能性がある。本調査研究はその意味で2重の課題を持つといえるだろう。一つは定年期特有の財布管理を明らかにすることであり、もうひとつは団塊の世代を含む、50代後半の年代と、60代前半・後半の年代とお金管理に関する差異を示すことで、団塊世代研究の一端を担うことである。

本調査研究にあたり、企画推進にあられた研究員各位と研究協力いただいた(株)読売広告社へ謝意を申し上げます。

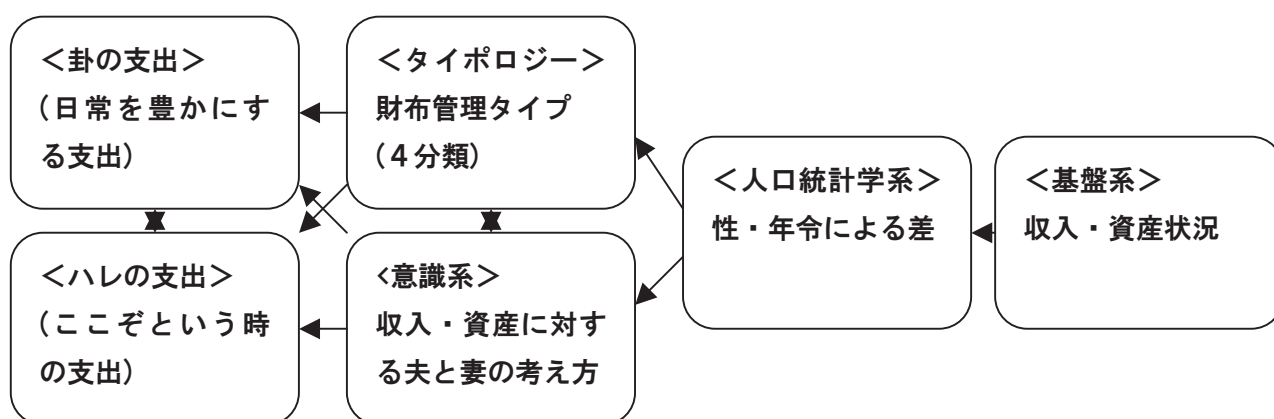
平成17年3月吉日
高橋洋一郎

【目次】

A調査研究のフレーム	1
B調査結果	2
<財布の構造について>	2
(1)夫婦の年収	2
(2)夫婦の収入源	2
(3)夫婦の金融資産	4
<支出について>	4
(1)「日常を豊かにする」ための支出	4
(2)「ここぞ」という時の支出	10
<夫婦のお金に関する意識>	13
(1)収入についての考え方	13
(2)金融資産についての考え方	14
<家計管理のタイプ>	16
(1)4つの分類	16
(2)財布のパターン別収入・資産実態と意識	17
C.結果の要約	21
D.提言	24
<資料編>	

A 調査研究のフレーム

調査は以下のフレームによっておこなわれた。支出は「日常」のいわば「卦」の支出と「ここぞ」という時のいわば「ハレ」の支出とを想定し、その支出に「財布管理タイプ」や「収入・資産に対する考え方」がどう影響し、さらに「タイプ」や「意識」に人口統計学的な要素、基盤系の実事はどう関係しているかを検討するフレームである。貯蓄についての同様なフレームも検討されたが、次回の課題として残された。まず支出への影響を先行して検討したい。



<調査概要>

- 調査対象者: 有効回答数500s
男性 55-59 才:82s、男性 60-64 才:90s、男性 65-69 才:91s、
女性 55-59 才:81s、女性 60-64 才:79s、女性 65-69 才:77s、
男性計:263s、女性計 237s
- 調査方法: インターネット(メール&ウェブ)
- 調査地域: 全国
- 調査時期: 平成 16 年 11 月 25 日~平成 16 年 11 月 27 日
- 調査会社: (株)パワーウィングス

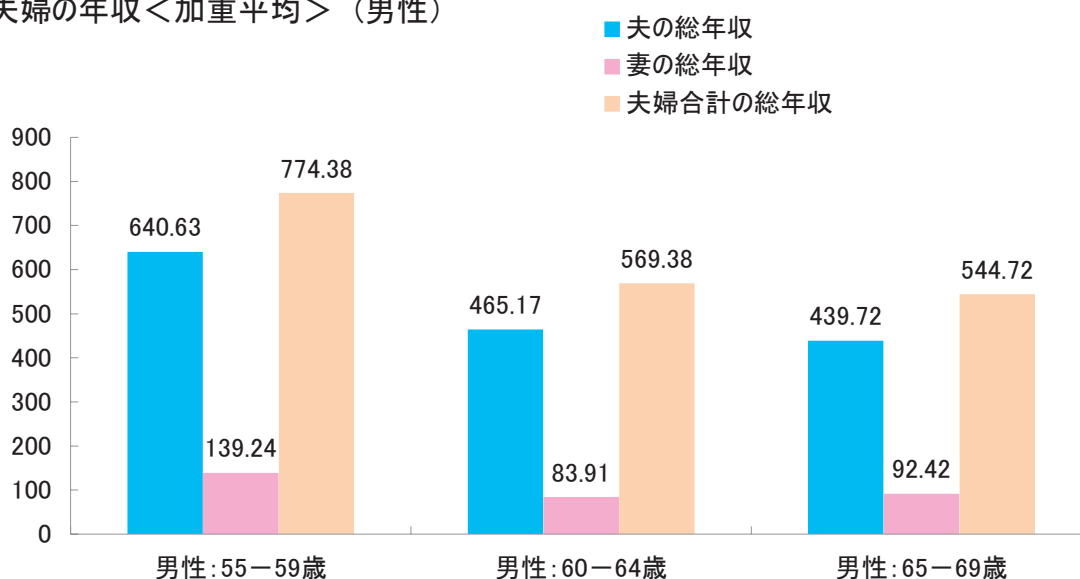
B. 調査結果

<財布の構造に関して>

(1) 夫婦の年収

年齢別に年収を見ると、最も多いのは、「男性：55-59才」の夫婦で夫婦合計すると、平均 774 万。定年期以降は年齢が高くなるとともに、年収は少なくなる。女性対象者についても同様の傾向であった。

夫婦の年収<加重平均>（男性）



(2) 夫婦の収入源

夫婦の収入源は「就労収入」「年金収入」「資産収入」「その他」とある。

【就労収入】=働いて得た収入すべて

【年金収入】=公的年金、個人年金、企業年金の合計

【資産収入】=家賃収入、投資・資産運用などの収入

【その他】=仕送り、贈与など

夫・妻それぞれについて質問した。

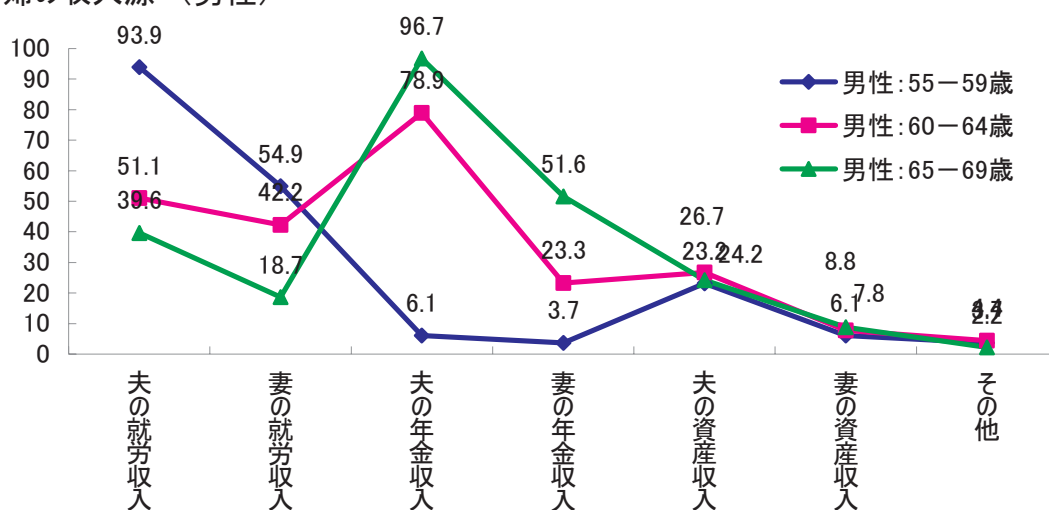
●「男性：55-59才」では「就労収入あり」の人が94%、妻の就労収入も115万と少ないが、55%の妻に就労収入がある。年金収入は、おそらく個人年金的性格のものだろうが6%あり、23%の人で資産収入がある。

●「男性：60-64才」では「夫の就労収入あり」は51%に減り、「妻の就労収入あり」も42%と同じく減じる。年金収入は79%があるが、妻にはまだ23%しか年金収入はない。資産収入がある人は27%とやや増加。

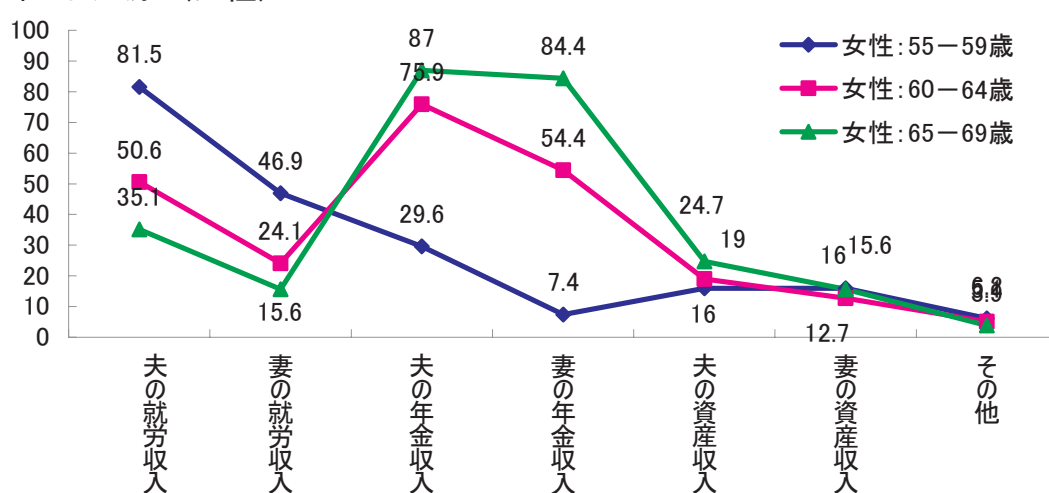
●「男性:65-69才」では「夫の就労収入がある」人は40%、「妻に就労収入あり」18%。夫の97%は年金があり、妻も52%ある。資産収入も他の男性年齢層と同様な割合である。

※女性を見るときに気をつけることは、夫年齢がその年齢層の上下にも分布するということである。たとえば、「女性:55-59才」をみると、夫の就労収入は82%しかなく、そのかわり夫の年金収入が30%存在するというように同じ年令層であっても定年期においては配偶者の年令によって収入が大きく変化することである。

夫婦の収入源（男性）



夫婦の収入源（女性）



(3) 夫婦の金融資産

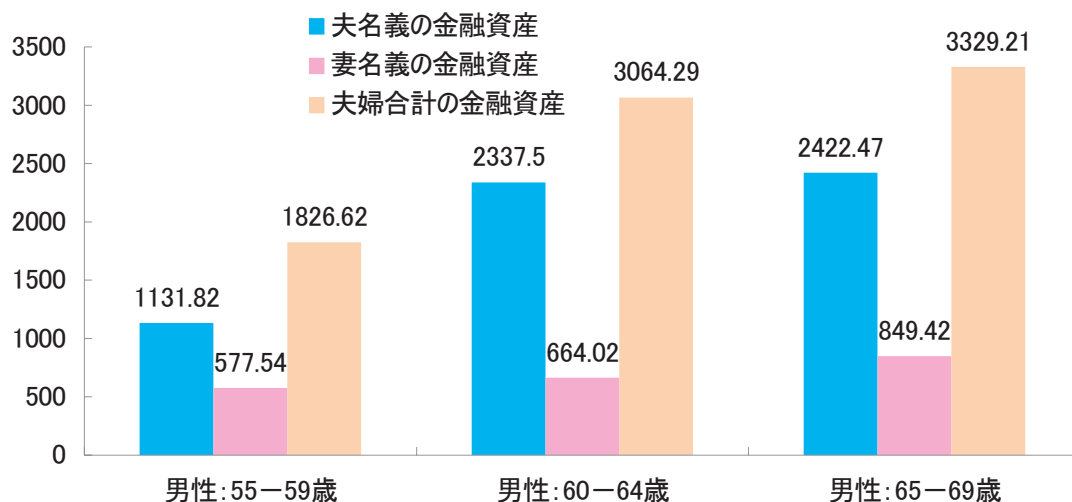
夫婦の金融資産はたとえ夫婦共有という意識があっても、名義をつけねばならない。そのためそれぞれの名義ごとに金融資産額をたずねた。

【金融資産＝現金＋金融機関への預貯金＋これまで払い込んだ保険料（掛捨ては除く）＋株式・信託・債券などの有価証券など】

●「男性：65-69才」夫婦がもっとも保有金融資産が多く、夫婦合計で約3300万円、年齢層が下がるにつれ、保有額も少なくなる。「男性：55-59才」夫婦と「男性：60-64才」夫婦との差は約1200万円。退職金や必死で貯めた老後資金ということである。

●妻の保有する金融資産は夫名義の1/3から1/4であるに過ぎない。男性が退職する「男性：60-64才」においても妻名義の金融資産は増えるわけではない。退職金等は名義的には夫の資産となっていると考えてよい。

夫婦それぞれの名義の金融資産＜加重平均＞（男性） 単位：万円



<支出について>

(1) 「日常を豊かにする」ための支出

Q: <「毎日の日常を豊かにする」そのための経費として、あなたは月にいくらぐらい支出しておられますか。>

Q: <「日常を豊かにする」ためには、あなたは月にどのくらいの支出が必要だと思われますか？電気・水道・光熱費など生活の基礎費用はのぞきます。>

Q: <あなたの月平均のおこずかい額をお知らせください。>

の3問で質問を構成している。

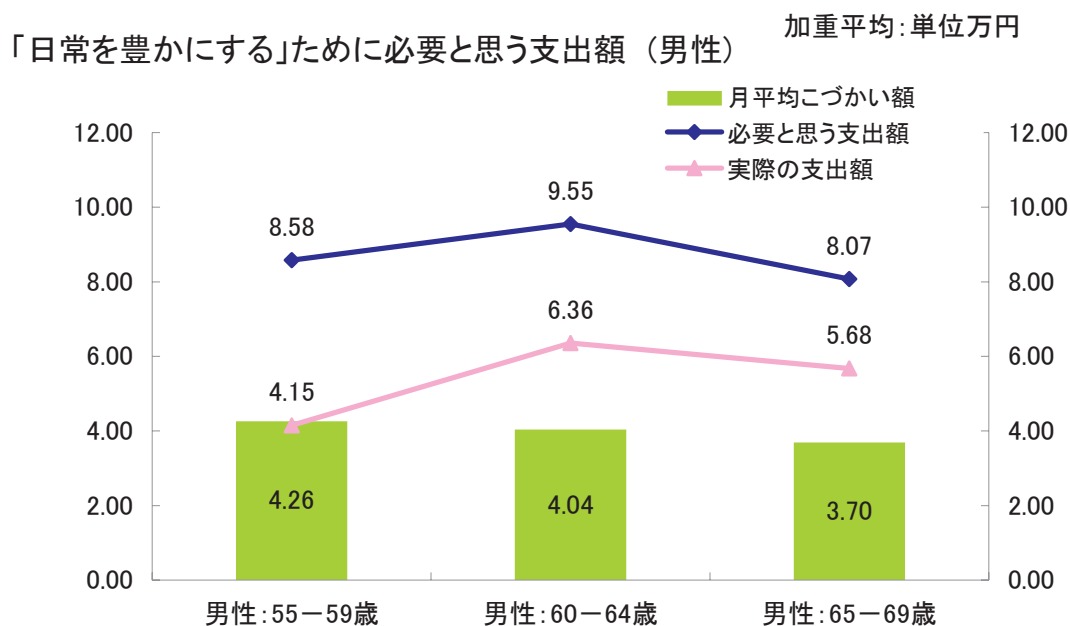
-1 お小遣いと実際支出

現在の月平均小遣い額と「日常を豊かにする」ために必要と考えられている金額、また「日常を豊かにする」ために実際に支出している金額を検討する。

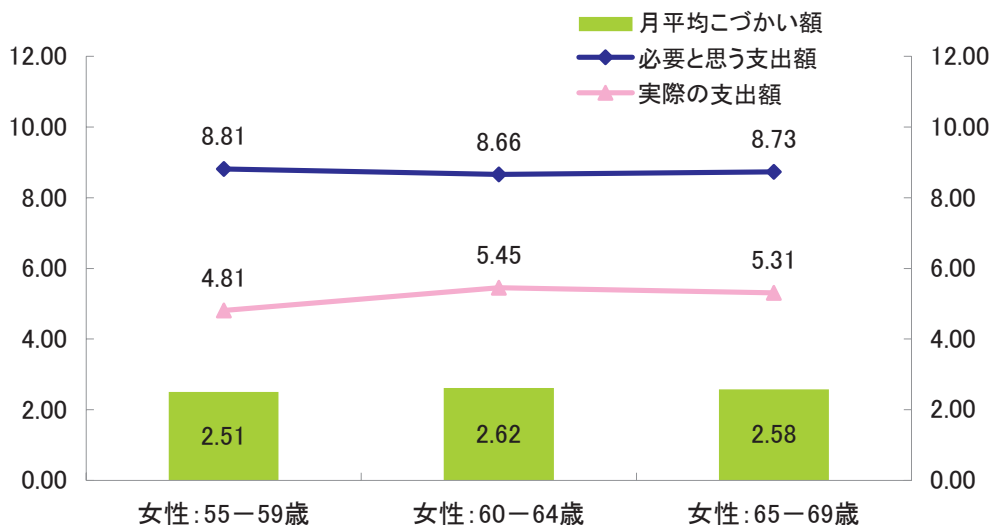
●男性をみると、月平均小遣い額が最も多いのは「男性:55-59 才」で平均 4 万 3 千円あまりだが、「日常を豊かにする」目的での支出はその小遣いの範囲内でまかっている。それに対し「男性:60-64 才」では小遣いは 4 万円だが、実際には「日常を豊かにする」ために、6 万 4 千円を支出している。さらに、ほんとうは 9 万 6 千円使いたい、という希望がある。同様に「男性:65-69 才」でも「日常を豊かにする」ために支出している額はお小遣いを上回っている。

●それでは小遣い以上に支出されている「日常を豊かにする」支出は、どこから捻出されるのか。「ここぞというとき」の項目でも詳述するが、それは資産の側からである。「日常を豊かにする」ための支出項目には「旅」や「食事」や「趣味」があるが、それらの資金は月々の小遣い以外の財布から実は支払われているということが多いとみられる。

●女性の月平均小遣い額は男性と比べて少ないが、これは女性の消費支出が少ないということは意味しない。特に「女性:55-59 才」の実際の「日常を豊かにする」ための支出(4 万 8 千円)は同じ年齢層の男性(4 万 2 千円)よりも実際多いのである。男性の小遣いに相当する、女性の資金源は毎月の家計の財布である(後に詳述する)。夫へ小遣いを渡し、後は家計を妻が管理している実態(6 割を占める)なので、小遣いなどなくても一向に構わないのである。実際小遣いを持たない妻も多い(女性全体の 14%)。Cf., 読売広告社の「CANVASS2005」データによると、首都圏在住「55-69 才」女性における「お小遣いなし」の割合は 27%にもなっている。



「日常を豊かにする」ために必要と思う支出額（女性） 加重平均：単位万円



-2「日常を豊かにする」支出先

Q: <あなたにとって「日常を豊かにする」とは具体的にはどのようなことを指していますか？あてはまるものをすべてお知らせください。>

「趣味」「健康」「旅」の御三家を筆頭に、食事の楽しみ、自然へ触れる楽しみなどが続く。「男性：55-59 才」はまだ最後のお勤め中ということで、支出額のみならず、豊かな広がりも乏しいが、特に「男性：65-69 才」では大いに日常をエンジョイしている様子がわかる。女性は「女性：55-59 才」の活躍ぶりが伺われる。多くの項目で他の年齢層以上の広がりを持っている。

<性・年齢別の支出先トップ 10>

●男性：50-59 才

趣味	80.5
健康	75.6
旅行	72.0
食事	67.1
自然にふれる	51.2
読書・映画・音楽	46.3
ショッピングなど	41.5
スポーツ	32.9
友人との語り	32.9
ボランティアなど社会参加	19.5

●女性：50-59 才

趣味	85.2
旅行	84.0
食事	80.2
健康	77.8
読書・映画・音楽	75.3
自然にふれる	61.7
友人との語り	59.3
ショッピングなど	53.1
スポーツ	34.6
ボランティアなど社会参加	28.4

●男性:60-64 才

趣味	84.4
健康	78.9
旅行	74.4
自然にふれる	65.6
食事	58.9
読書・映画・音楽	51.1
友人との語り	41.1
ショッピングなど	34.4
孫とのふれあい	34.4
スポーツ	33.3

●男性 65-69 才

健康	85.7
趣味	85.7
旅行	81.3
食事	68.1
自然にふれる	63.7
読書・映画・音楽	52.7
孫とのふれあい	45.1
スポーツ	44.0
友人との語り	40.7
ショッピングなど	30.8

●女性:60-64 才

健康	89.9
趣味	84.8
旅行	78.5
食事	72.2
読書・映画・音楽	60.8
自然にふれる	59.5
ショッピングなど	59.5
友人との語り	55.7
孫とのふれあい	35.4
スポーツ	35.4

●女性 65-69 才

健康	88.3
趣味	85.7
旅行	76.6
食事	75.3
自然にふれる	61.0
読書・映画・音楽	61.0
友人との語り	54.5
孫とのふれあい	48.1
ショッピングなど	48.1
スポーツ	29.9

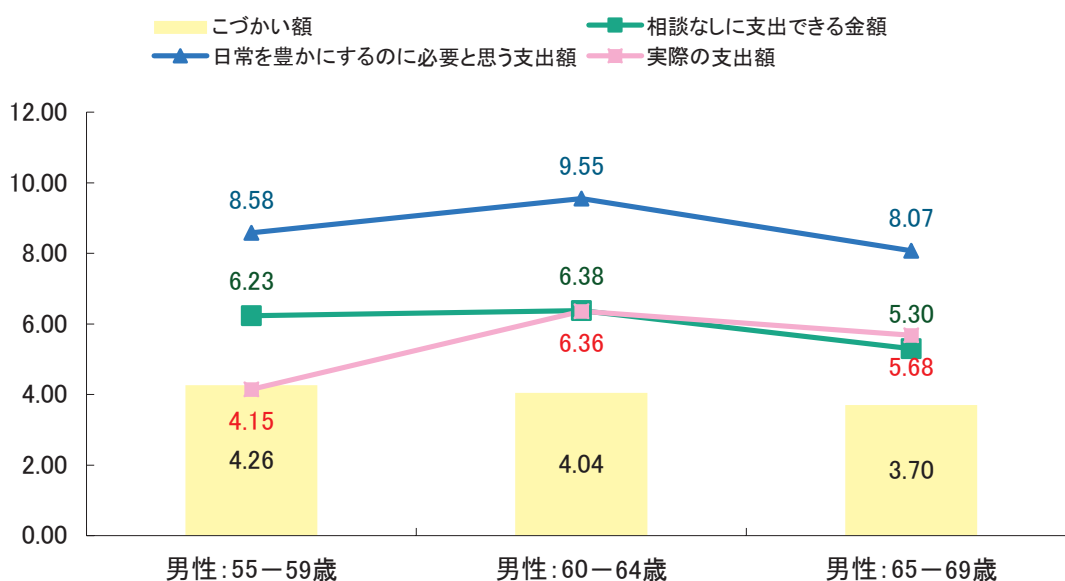
-3 配偶者に相談なしに支出できる額

● それでは、配偶者へ相談なしに支出できる金額はどれぐらいだろうか。

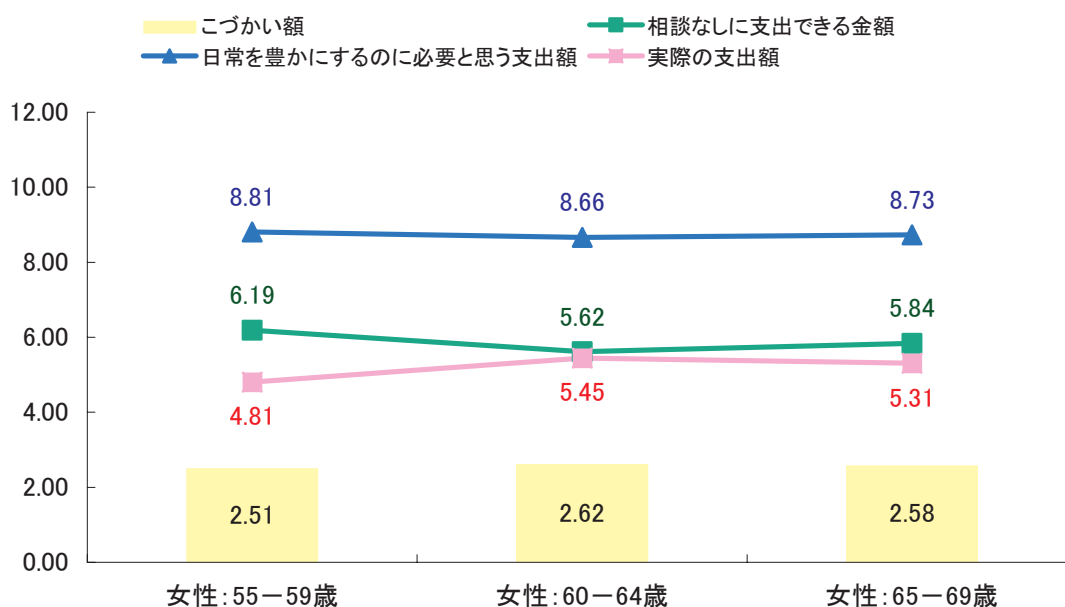
Q: <配偶者に相談しないで、自分の一存(いちぞん)で一度に支出できる金額は、いくらぐらいまででしょうか？>

● 男性・女性ともに 5-6 万円というところ。「男性:60-64 才」「女性:55-59 才」がやや多く支出できるようだが、それほど違いはない。「男性:60-64 才」と「男性:65-69 才」においては「日常を豊かにする」ための支出額とほぼ同じ額である。定年期の男性も女性も配偶者にいちいち相談せずに、小遣い以上を使っているということになる。いわばこの額が実質的な小遣いと考えることができる。一方、「男性:55-59 才」では配偶者へ相談なしに使えると思っている額よりも実際の支出額は少ない。小遣いの範囲を義理堅く守っているということだろうか。「女性:55-59 才」も同様な傾向があるが男性ほどではない。時間はあるし、財布も自由だということだろう。

配偶者へ相談なしに支出できる金額(男性) <加重平均:万円>



配偶者へ相談なしに支出できる金額(女性) <加重平均:万円>



-4 配偶者へ相談なしに出来る支出費目

●どのような品目なら、配偶者へ相談せずに支出できるのであろうか。

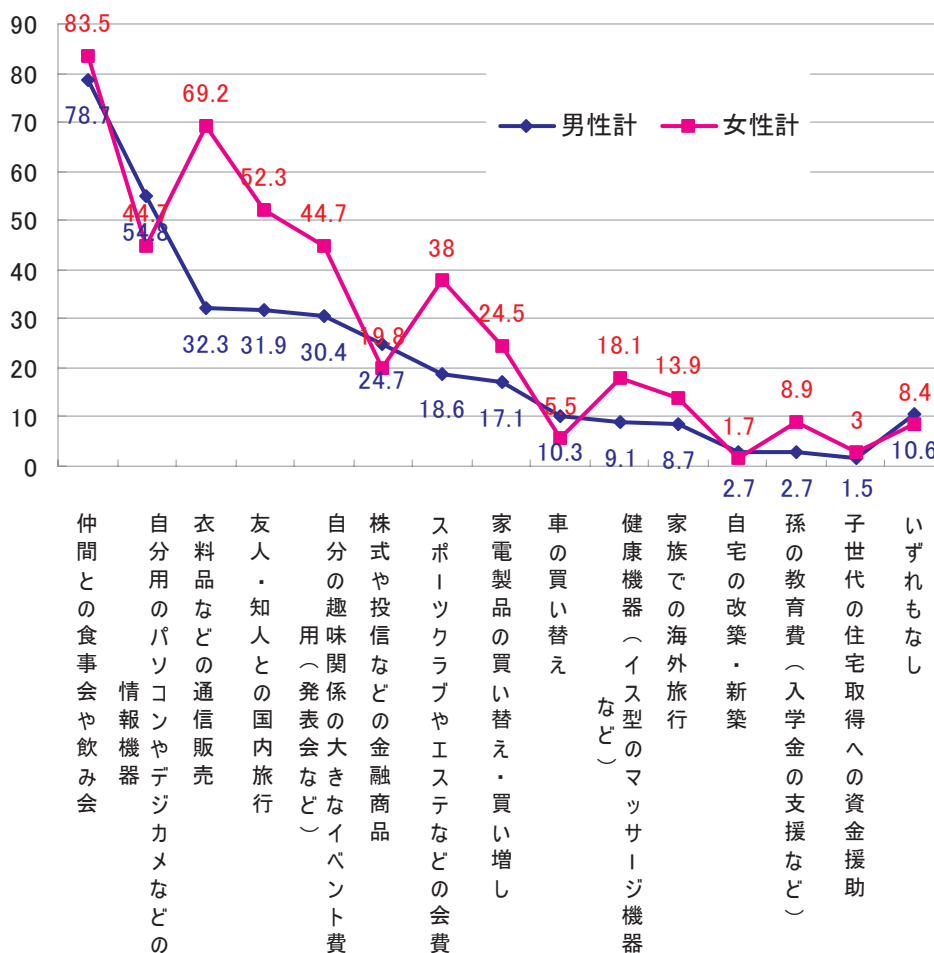
Q: <それでは、配偶者に相談しないで、自分の一存(いちぞん)で支出・購入できるものは、次のうちどれでしょうか? あてはまるものをすべてお知らせください。>

●「食事会・飲み会」「パソコンやデジカメ」「友人等との国内旅行」「衣料品などの通信販売」「趣味関係のイベント参加費」「株式などの金融商品」などの品目が相当する。いわば<日常を豊かにする>範囲の支出項目である。

●男性と女性とではあきらかに女性のほうが自由に支出していると思われる。配偶者に相談するのは苦手な「PC 機器の選択」、「金融商品」、「車の買い替え」などであって、それ以外の品目は全て男性を上回っている。5-6 万円程度の支出とはいえ、律儀な夫と比べて、人生を謳歌している女性の構図がはっきりしている。

●律儀な男性のなかでは、「男性:60-64 才」が多少は自由であらうか。

配偶者に相談しないで支出できる品目 (男女別)



(2)「ここぞ」という時の支出

Q: <この5年間で、あなたがもっとも「ここぞ」と思って、お金を使ったことをひとつだけ選んでお知らせください。>

Q: <そのときの支出総額はどのくらいでしたか？借入金や預金の取り崩しなども含めた総額を、ひとつだけ選んでお知らせください。>

-1 年代別平均支出額

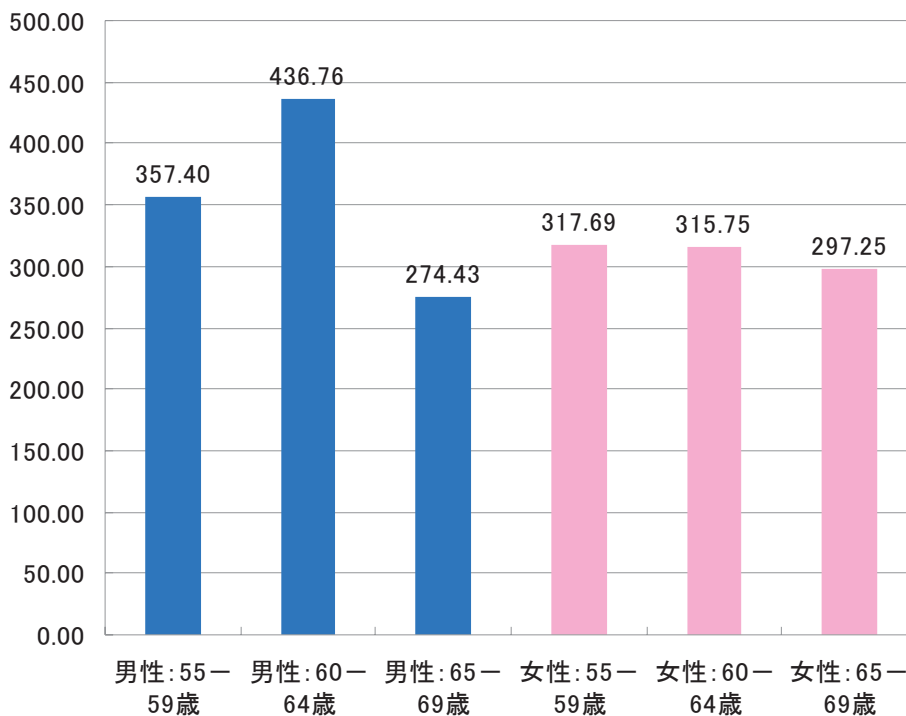
「自宅の購入・改築・リフォーム」の影響が大きいせいも、「男性:60-64 才」の支出額が突出して大きい。

いろいろな「ここぞ」を平均すると、平均約440万円となる。もちろん支出費目によって、それぞれ支出額の幅は違っている。

「ここぞ」という時の支出が「男性:60-64 才」で金額的に大きい理由は、定年を迎え次のステージへの再構成期に突入したこの年代においては、大きな支出を伴うイベントが多いからだ。「男性:65-69 才」においては一つ一つの金額は少ないが、親しい人の病気や入院・孫の誕生など、人生の円熟期を示す「ここぞ」というイベントが増えてくる。「男性:55-59 才」では次の年代へ向けた資産形成期であり、収入も大きい支出も資産形成へむけたものが多いということが伺える。

「ここぞ」という時の平均支出額

加重平均:単位万円



-2「ここぞ」という支出項目

5大支出先は「自宅の購入・改築・リフォーム」「海外旅行」「子供の結婚」「車の購入」もしくは「家電の買い替え・買い増し」であろう。ライフステージが変わる端境期に「ここぞ」という大型消費が起こる。

他の年齢層と比べて多く見られる支出項目は、

- 「男性:55-59 才」:「株式や投資信託など金融商品の購入」「開業・起業」

●「男性:60-64 才」:「自宅の購入・改築・リフォーム」「子の住宅購入・改築リフォーム支援」

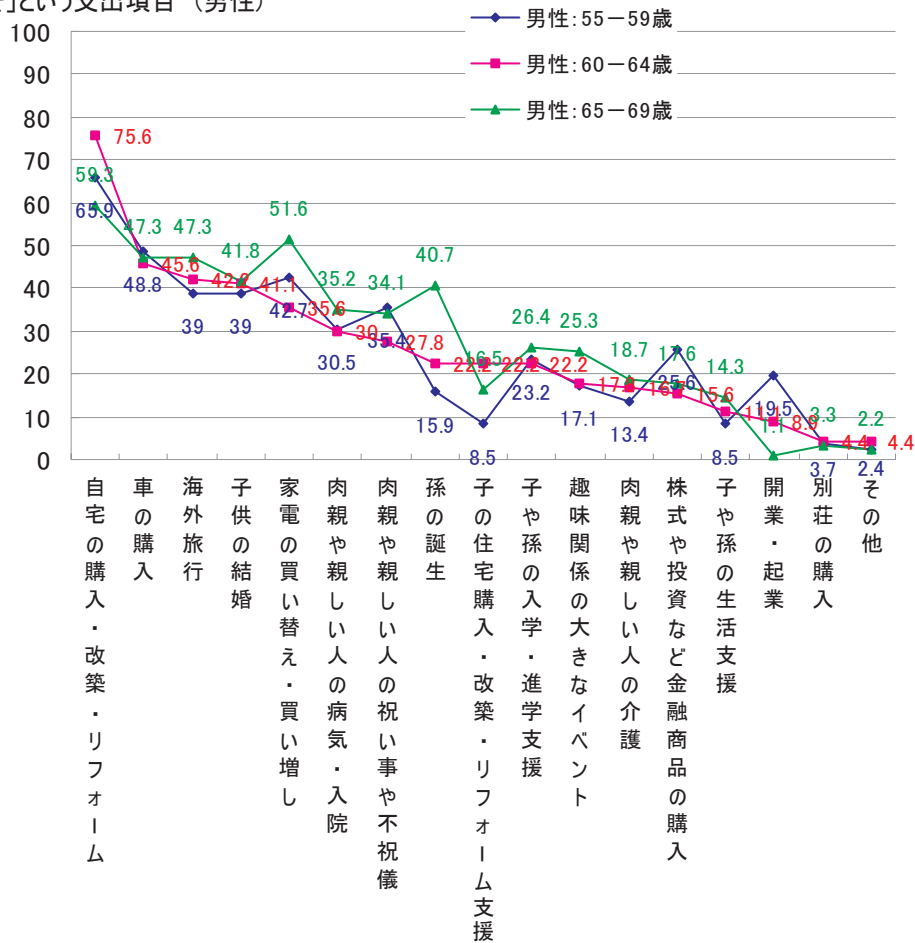
●「男性:65-69 才」:「家電の買い替え・買い増し」「海外旅行」「孫の誕生支出」「子や孫の入学・進学支援」「趣味関係のイベント」「肉親や親しい人の病気・入院」など。

○「女性:55-59 才」:「車の購入」

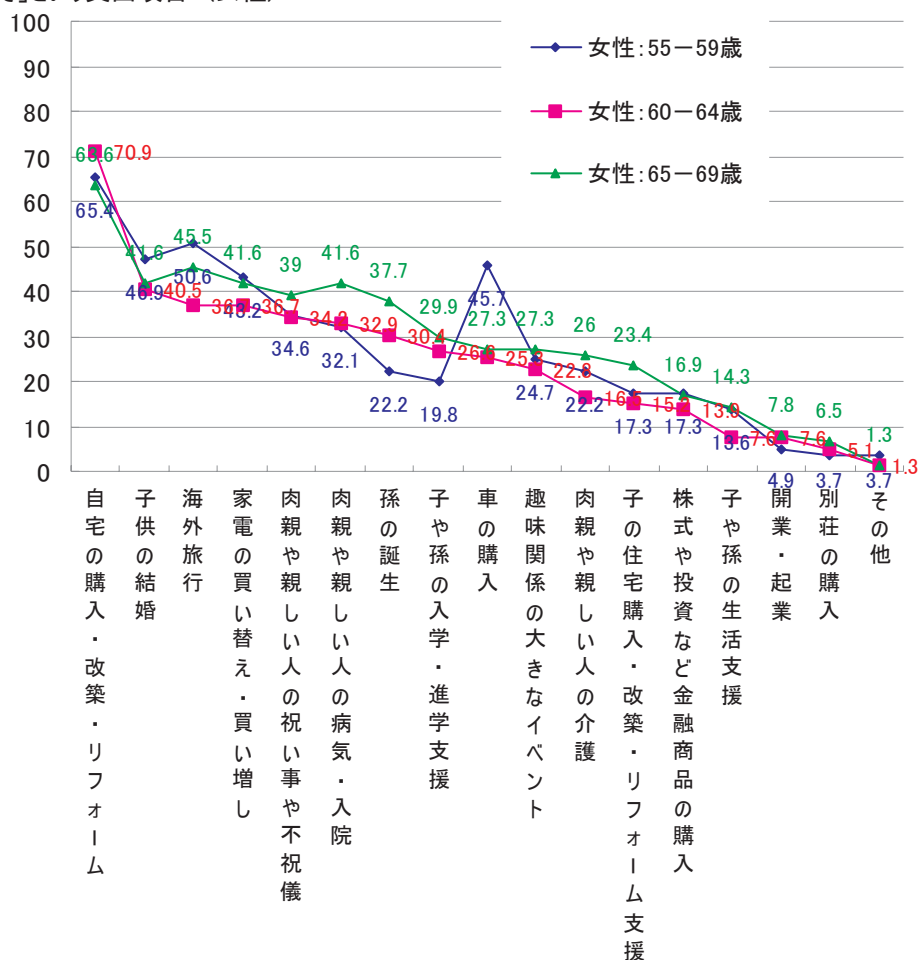
○「女性:60-64 才」:「自宅の購入・改築・リフォーム」

○「女性:65-69 才」:「海外旅行」「肉親や親しい人の病気・入院」など他の年齢に比べ前向きではない「ここぞ」というイベントがおおくなる。

「ここぞ」という支出項目 (男性)



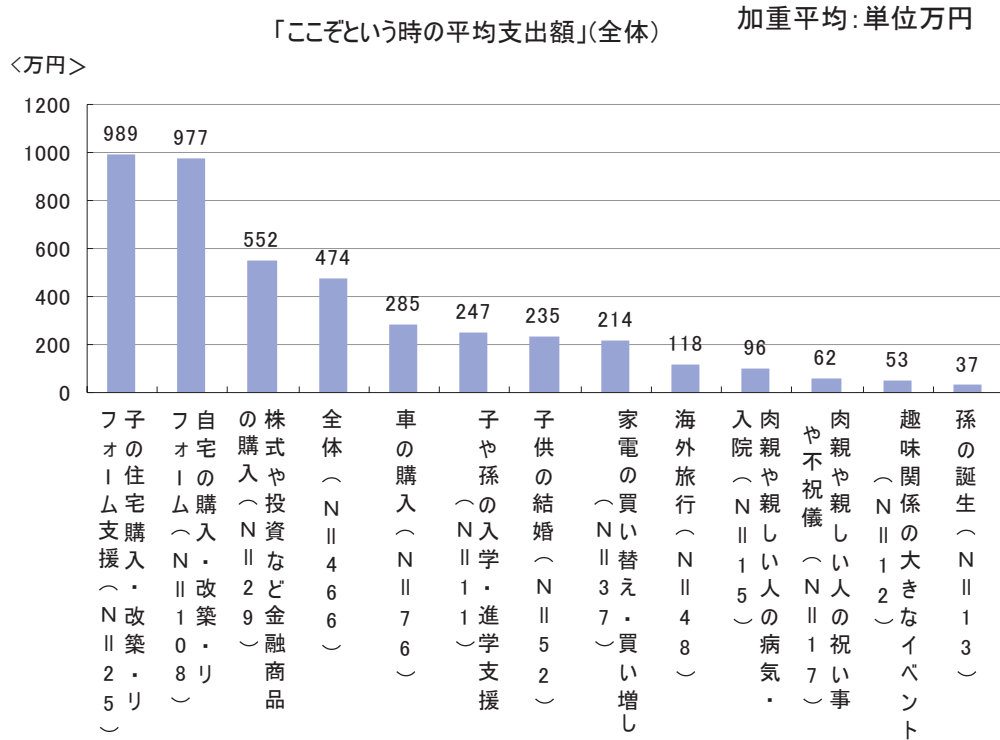
「こぞ」という支出項目（女性）



-3「こぞ」という時の平均支出金額

- 「子の住宅購入改築リフォーム支援」:500万-1000万円を中心に、平均989万円。
- 「自宅の購入・改築・リフォーム」:1000万円以上が4割と最も多いが、平均では977万円。
- 「株式や投資など金融商品」:300万-500万円を中心に1000万円以上も含め、平均552万円。
- 「車の購入」:100万-300万円がおおく、平均285万円。
- 「子供の結婚」:100万-300万円が多く、平均235万円。
- 「家電の買い替え・買い増し」:10-50万円未満が多いが、100万円以上もかなりいて、平均214万円。

●「海外旅行」: 10-50万円未満と50万-100万円未満が多いが、中には1000万円以上もいて、平均118万円。



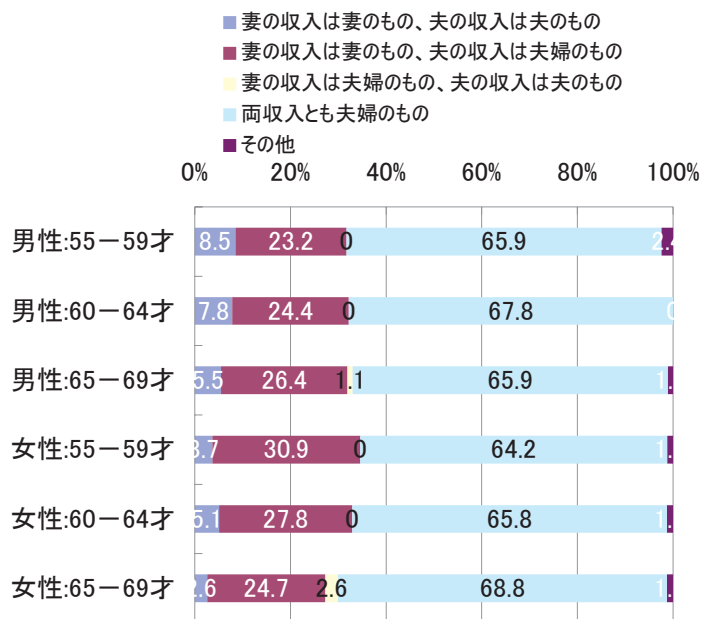
<夫婦のお金に関する意識>

●定年期には収入が減り、年金および資産が生活の柱となってくるわけだが、収入や資産に関して、性・年齢別に見て、どのような考え方の変化があるのだろうか。

(1) 収入についての考え方

Q: <収入への考え方についておたずねします。自分の収入や配偶者の収入は、誰のものだと思われますか?>
「夫の収入も妻の収入も夫婦双方のもの」、という考え方がおよそ 65%を占め、もっとも一般的だ。定年前の「男性 55-59 才」においても、定年後の「60-64 才」「65-69 才」についても、この傾向に変化はない。また男性・女性ともに考え方は共通している。ついで、「妻の収入は妻のものだが、夫の収入は夫婦のものだ」、という考え方の人も、各年代・性別にかかわらず 25%程度存在する。妻は家庭のケアをしながら収入を得たのであれば、それは妻の努力であるから、妻に帰属する、ということであろう。「女性: 55-59 才」にその考えは、特に多い。

収入についての考え方



(2) 金融資産についての考え方

金融資産についての考え方には変化があるのだろうか。資産中心の定年期に金融資産を支出するかどうかは大きな決定事項だから、誰のものなのかということが意識されるはずである。

Q: <夫婦でそれぞれの名義の資産(預金・貯金)を使う権利についておたずねします。A「夫は夫名義の資産を自由に使えるでしょうか?」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。>

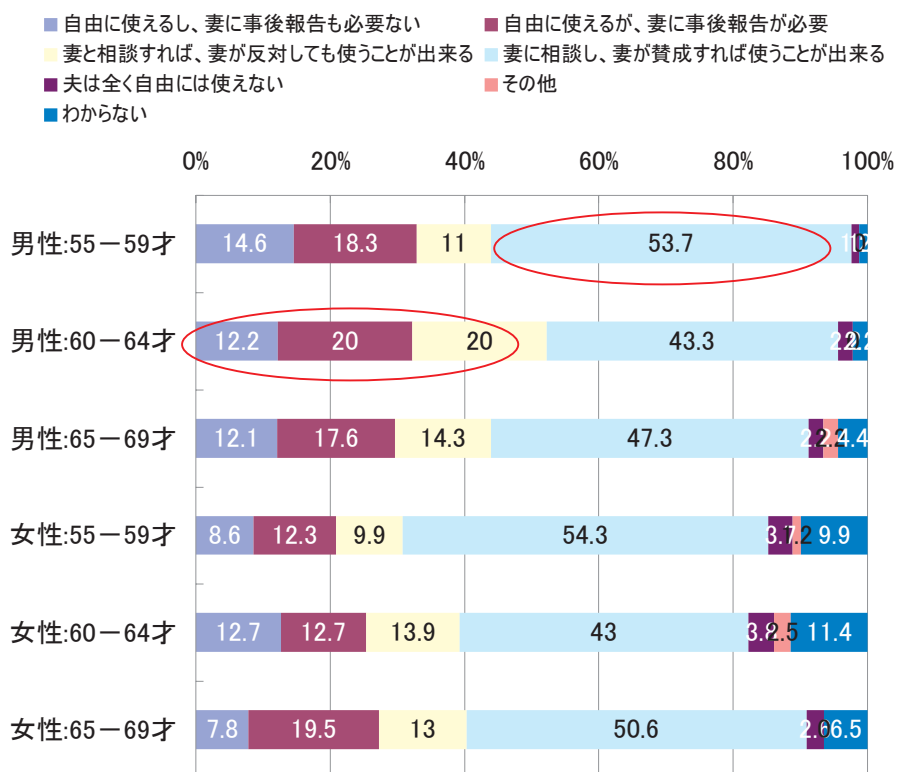
-1 夫は夫の名義の金融資産を自由に使えるのであろうか。

●「男性:55-59才」と「男性:60-64才」とでは少し様相が変わる。「男性:55-59才」では「妻と相談し、妻が賛成すれば使うことができる」と考えている人が54%と、過半数だが、「男性:60-64才」となると「妻と相談すれば、妻が反対しても使うことができる」割合が増え(20%)、「夫が自由に使えるが、妻に事後報告が必要」と「自由に使えるし、妻に事後報告も必要ない」という意見を合計した、いわば『夫決定権あり』という人は52%となり、「妻が賛成すれば使うことができる」という『妻関与権あり』の人(43%)を上回る。しかし、さらに年代があがり、「男性:65-69才」となると、また「妻が賛成すれば使うことができる」人が若干増える(47%)。したがって、これは収入が一気に減り、退職金などで資産が一気に増える、「男性:60-64才」の特有な傾向とも考えられるかもしれない。

●女性においても男性と同様な考え方の傾向がある。「女性:55-59才」ではたとえ夫名義の金融資産であっても「妻に相談し、妻が賛成すれば使うことができる」という人が同年代の男性と同じく54%の過半数である。『夫名義ではあっても資産は一緒に増

やしてきたのだから、決定権は夫同様にある』と考えているわけだ。かりに「男性60-64才」の妻が「女性55-59才」に多いとしたら、この夫婦のギャップは大きいといわねばならない。“いままで、夫はおとなしくお小遣いで生活してきたのに、定年になったら突然くちばしを挟んできた”と妻の側では感じられる可能性すらある。

A:「夫は夫名義の資産を自由に使えるか？」

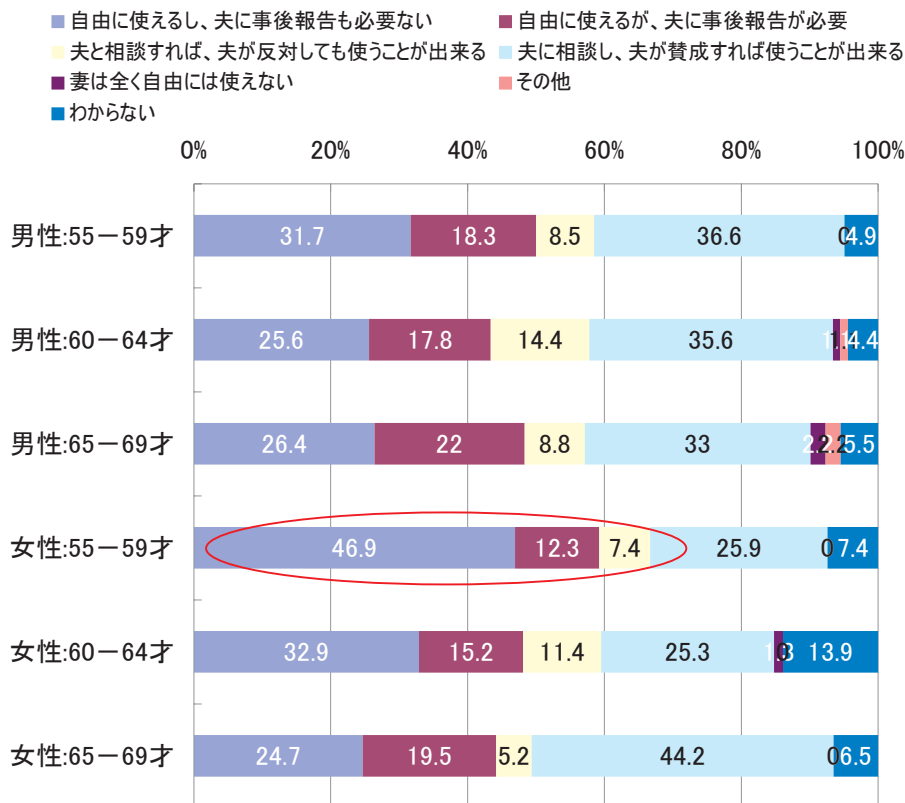


-2 逆に、妻は妻の金融資産を自由に使えるのだろうか。

Q: <B「妻は妻名義の資産を自由に使えるでしょうか？」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。>

妻名義の金融資産を妻が自由に使うことに、男女とも夫名義の資産を使うことよりも抵抗は少ない。「妻が自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない」と「自由に使えるが、夫に事後報告が必要」「夫と相談すれば、夫が反対しても使うことができる」を合計した『妻決定権あり』は、どの年代層においても性別を問わず、ほぼ6割を占めている。妻の金融資産が少ないこともあり、妻が家計をやりくりして生んだヘソクリであったり、パート収入などの預貯金であったり、親からの遺産であったり、結婚前の資産であることなどがその理由であることが多い。「女性:55-59才」では特に自由に使える意識が強いようだ。

B:「妻は妻名義の資産を自由に使えるか？」



<家計管理のタイプ>

Q: <ところで、家庭によって財布の管理の仕方は異なります。あなたの家庭のお財布の管理は次のうち、どれに当てはまりますか？>

(1) 4つの分類

●収入と金融資産への夫と妻との考え方の違い(類似)を前提に、ひとつの家計を管理する夫婦のやり方にはいろいろなパターンがあるだろう。また定年前と後とでは管理方法が変わる可能性もある。家計(財布)管理の方法を4つに分類して検討する。%は全体としての構成比。

1. 妻がお金を管理する責任を持つ。妻は夫の収入を預かり、自分の収入があれば、それも加えて管理する。夫は妻から、こづかいをもらう。⇒<妻全面管理:夫小遣いタイプ>58.8%
2. 夫がお金を管理する責任を持つ。夫は自分の収入に加えて、妻の収入があれば、それも加えて管理する。妻は夫から、こづかいをもらう。⇒<夫全面管理:妻小遣いタイプ>8.2%
3. 夫が妻に定期的到家計費を与え、妻に収入がある場合は、それも加えて、妻が家計費として管理する。妻が責任を持つのは日常の費用だけで、残りのお金は夫がとりしきる。⇒<妻家計:夫仕切りタイプ>17.6%

4. 夫婦ともに収入を持ち、それぞれ収入の一部を出し合っ、家計費にする。残りはそれぞれ自由に使う。

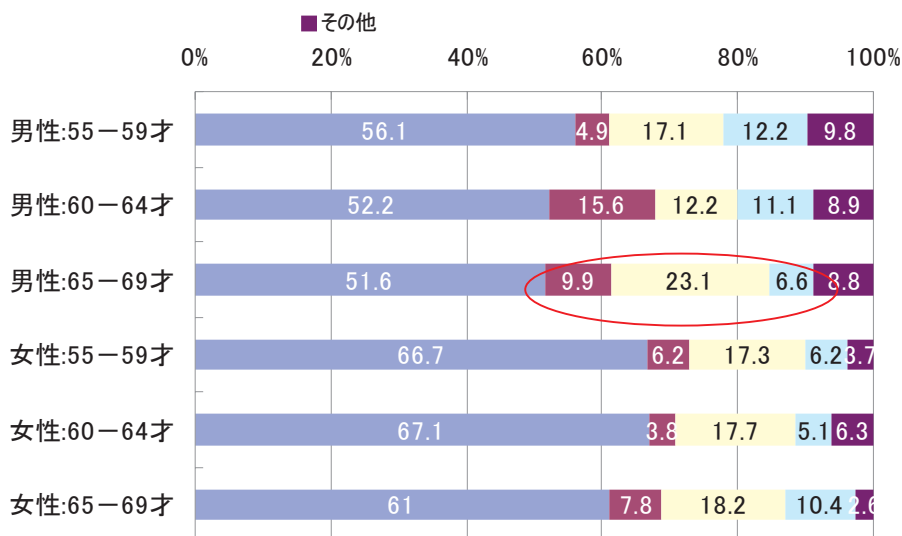
⇒<夫妻共同支出タイプ>8.6%

5. その他 6.8%

●年代にかかわらず、<妻全面管理：夫小遣いタイプ>が過半数を占める。男性と女性を比較すると、女性の方が<妻全面管理：夫小遣いタイプ>だとする割合が高い。男性の「55-59 才」では<夫小遣いタイプ>と<夫婦共同支出タイプ>が相対的に多い。しかし、年金生活となる「男性：60-64 才」では<夫全面管理：妻小遣いタイプ>が増え、「男性：65-69 才」では<妻家計のみ：夫仕切りタイプ>が相対的に多い。60代では収入より資産を中心とした家計管理となるので、男性の関与度が増加すると考えられる。

財布の管理の仕方

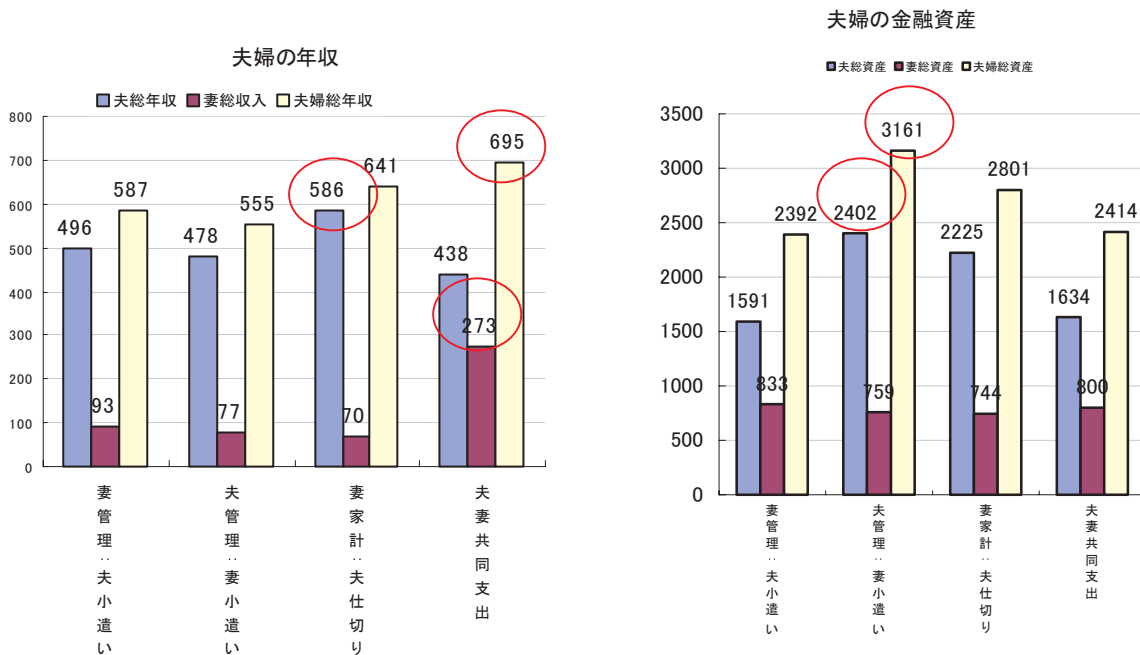
- 妻がお金を管理する責任を持つ。妻は夫の収入を預かり、自分の収入があれば、それも加えて管理する。夫は妻から、こづかいをもらう。
- 夫がお金を管理する責任を持つ。夫は自分の収入に加えて、妻の収入があれば、それも加えて管理する。妻は夫から、こづかいをもらう。
- 夫が妻に定期的に家計費を与え、妻に収入がある場合は、それも加えて、妻が家計費として管理する。妻が責任を持つのは日常の費用だけで、残りのお金は夫がとりしきる。
- 夫婦ともに収入を持ち、それぞれ収入の一部を出し合っ、家計費にする。残りはそれぞれ自由に使う。



(2) 財布のパターン別収入・資産実態と意識

-1 収入で見ると、<夫婦共同タイプ>が夫婦合わせ 695 万円と、もっとも高く(妻の年収 273 万円と、他のタイプと比べて明らかに高い)、<夫仕切りタイプ>がそれに次いでいる(夫の年収が最も高く 586 万円)。<夫小遣いタイプ>と<妻小遣いタイプ>は相対的に年収が少ない傾向がある。

-2 保有金融資産を見ると、夫の資産が大きいため<妻小遣いタイプ>の金融資産が3161万円と最も多い。これに比べて<夫婦共同タイプ>と<夫小遣いタイプ>の金融資産は相対的に少ない(2400万円程度)。

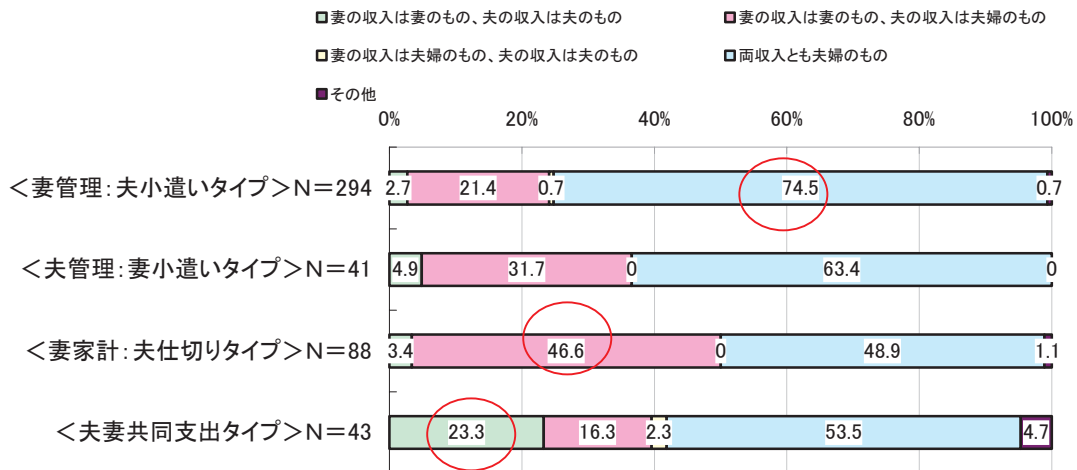


-3 収入への考え方・金融資産への考え方

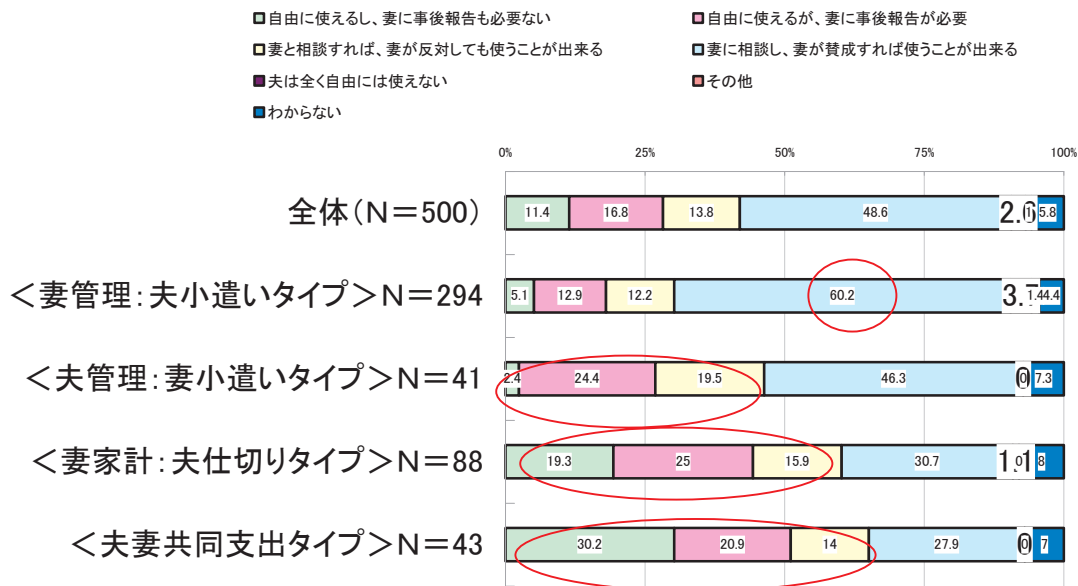
●<夫小遣いタイプ>の収入への考え方は、「両収入とも夫婦のもの」と考えている割合が最も多く(74%)、<夫仕切りタイプ>では「妻の収入は妻のもの、夫の収入は夫婦のもの」とする人が多い(47%)。<夫婦共同タイプ>では「夫婦それぞれのもの」(23%)とする人が他と比べて多い。

●夫の金融資産への考え方は、全体としては、『夫決定権有り』(42%)と『妻関与権有り』(48%)とは拮抗しているが、タイプ別に違いがある。<夫小遣いタイプ>では「妻に相談し、妻が賛成しないと夫の資産は使えない」と考える人が多い(60%)が、<夫仕切りタイプ><妻小遣いタイプ><夫婦共同タイプ>では、逆に『夫に決定権あり』と考える人の方が半数を上回っている。

財布のパターン別収入への考え方



財布のパターン別資産への考え方

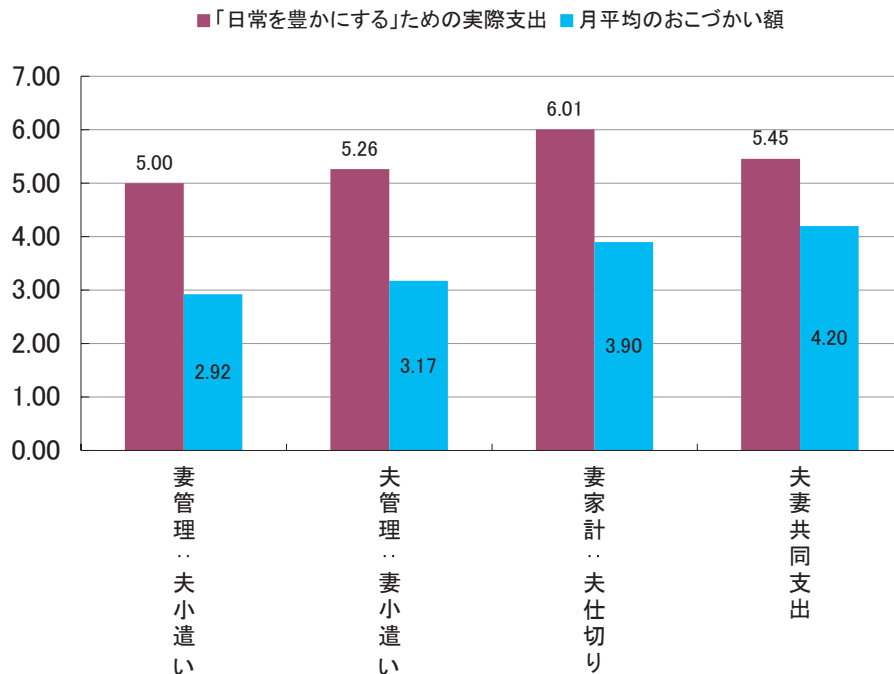


-4 支出の特徴

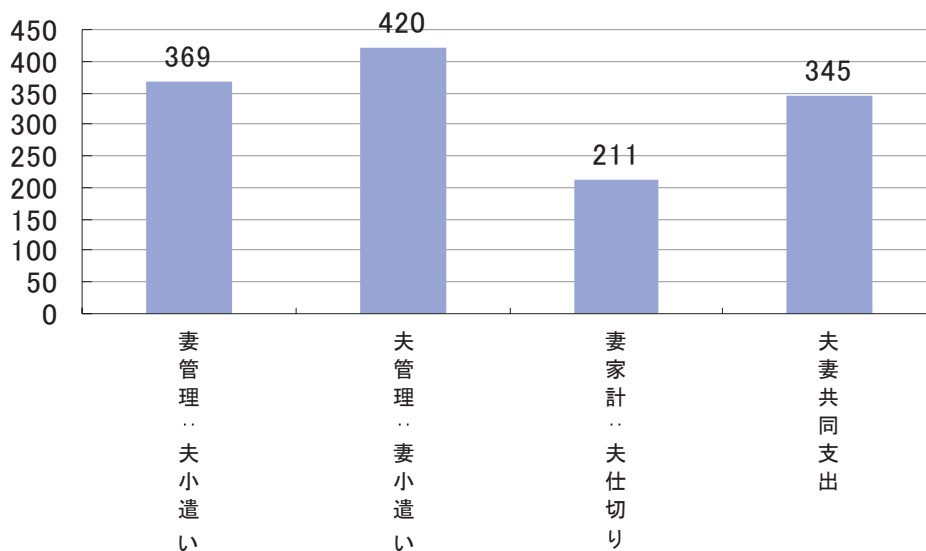
●支出を見ると、「日常を豊かにする」ための支出には、収入の多い＜夫仕切りタイプ＞がたくさん使っている（月に約6万円）。これには家計費以外の部分を夫が仕切っているため、支出しやすいということが背景にあるかもしれない。「ここぞ」というときには、資産保有額が最も多い＜妻小遣いタイプ＞の支出が多い（平均支出額420万円）。これにはお金を管理しているのが夫であって、高額支出への意思決定ができる

という背景もあるだろう。つまり、「ここぞ」という時の支出は、年収側(フロー)から支出されるのではなく、資産(ストック)から支出されるということである。「日常」の支出はフローからなされるから、年収額の大きい<夫仕切りタイプ>や<夫婦共同タイプ>が「日常」の豊かさを求めることができるということだ。

「日常を豊かにする」ための支出額



「ここぞ」というときの支出総額(加重平均:万円)



C. 結果の要約

	50-59才	60-64才	65-69才	夫小遣い	妻小遣い	夫仕切り	夫婦共同
夫婦年収	775万	570万	544万	587万	555万	641万	695万
夫名義金融資産	1827万	3064万	3329万	2392万	3161万	2801万	2414万
収入への考え方	夫婦のもの (66%)	夫婦のもの (68%)	夫婦のもの (66%)	夫婦のもの (75%)	夫婦のもの (63%)	夫の収入は夫婦のもの (47%)	それぞれのもの (23%)
夫名義資産への考え方	妻の賛成要 (59%)	夫決定権あり (52%)	妻の賛成要 (47%)	妻の賛成要 (60%)	夫決定権あり (46%)	夫決定権あり (60%)	夫決定権あり (65%)
家計管理タイプ	夫小遣いタイプ (56%)	夫小遣いタイプ (52%) 妻小遣いタイプ (16%)	夫小遣いタイプ (52%) 夫仕切りタイプ (23%)	*	*	*	*
日常への支出額	4.2万	6.4万	5.7万	5万	5.3万	6万	5.5万
月小遣い額	4.3万	4.0万	3.7万	2.9万	3.2万	3.9万	4.2万
日常豊かにする支出項目	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行	趣味・健康・旅行
ここぞという支出額	357万	437万	274万	369万	420万	211万	345万
ここぞという支出項目(特徴)	株式・金融	自宅購入・リフォーム 子の住宅支援	家電・海外旅行・孫の入学進学支援				

要約 1 定年期以降、ストックからのフローが消費の鍵となる。

年収に関して、定年期になると当然ながらガクンと減少するが、その代わりに金融資産が増加する。そのほとんどが夫名義であり、妻の金融資産は増加しない。年収に関しては、ほとんど一致して各年代とも「夫婦の年収は夫婦のもの」と考えているため、あまり問題はない。したがって、金融資産の管理が定年期には重要な家計管理事項となる。

要約 2 60代前半に夫婦の間で資産使用权に関するギャップがおおきい。

金融資産への考え方には年代別に変化がある。50代後半では夫の金融資産を夫が使う場合でも、妻の賛成がないと使えないと考えている男性が6割を占めている。これは最後の資産形成段階にあるため慎重になっているためか、あるいは世代的な背景からであろう。60代前半では夫の金融資産は夫に決定権があると考えた男性が52%を占め、妻の賛成が必要という考えを上回る。妻の側(直接の配偶者ではないが)にあると思われる、女性50代後半の人は、逆に妻の賛成が必要と主張する(54%)。この時期の夫婦関係は金融資産の使用权についての考え方に大きなギャップがあることになる。そして60代後半ではこの考え方はやや少なくなり夫に決定権があるという人は44%へと少なくなる。おそらく、60代前半で妻との何らかの調整が図られるのだろう。

要約 3 「夫小遣いタイプ」は減り、夫の関与が増える。

こうした年代別の金融資産への考え方の違いは、財布の管理方法の違いへと反映される。つまり、50代後半においては、〈夫小遣いタイプ〉が夫の56%を占めているが、60代前半では〈妻小遣いタイプ〉が16%と増え、60代後半では〈夫仕切りタイプ〉が23%と多くなるのである。すなわち、夫の金融資産への関与度が大きくなるわけである。

要約 4 「夫仕切りタイプ」では夫の主導権が大きい。

具体的に見てみると、〈夫小遣いタイプ〉では妻の賛成が必要とする人60%。〈妻小遣いタイプ〉では夫に決定権有りとする人46%。〈夫仕切りタイプ〉では60%もが夫に決定権有りとしている。

要約 5

50代では女性が「日常を豊かにする」ことに支出しやすい家計構造になっている。

それでは、支出の側はどうなっているのか。支出は「日常を豊かにするための支出」と「ここぞというときの支出」の両面を検討した。50代後半では「日常」への支出は月平均4.2万円で、月小遣いも4.3万円である。日常を豊かにするために支出したい額は8.6万円、配偶者へ相談なしに支出できる額も6.2万円であるから、もっと支出できるはずなのにキッチリと小遣い額の中でしか支出していないわけだ。おそらく、金融資産の使用について、妻の賛成が必要という考え方がある種の重石になっている可能性がある。一方同年代の女性は、妻の資産は妻に決定権がある、と男性も女性も認めているし、〈夫小遣いタイプ〉が多いため、家計管理は女性にゆだねられている。したがって、月小遣い額は2.5万と少なくとも、同年代男性以上の「日常」への支出4.8万円が行われうるわけだ。実際、女性の方が男性よりも支出のバラエティははるかに多い。

要約 6

60代では男性が「日常を豊かにする」ことへ支出する。しかもお小遣いからではなく、資産からの消費だ。

ところで定年後の60代前半の男性では、「日常」への支出は6.4万円にたいし、小遣い額は4.0万円だ。小遣い額以上の支出をしていることになる。これは資産の側から支払われているということだ。夫が決定権を取り戻したか、すくなくとも主張を強めた結果であろう。「趣味・健康・旅行」などへの支出が多い。同じことは60代後半についても言える。「日常」への支出は小遣い額を上回っている。

要約 7

60代前半の「ここぞ」というときの支出額は大きい。ストックがフローする。

この5年間での「ここぞというときの支出」についてはどうか。最も支出額が大きい年代は60代前半である。平均437万円を支出している。トップ5の支出品目は「自宅の購入・増改築」「車の購入」「海外旅行」「子供の結婚」「家電の購入」である。年代別に特徴的なのは、50代後半：「株式などの金融商品の購入」60代前半：「自宅の購入・増改築」「子供の住宅取得支援」、60代後半では「家電」「海外旅行」「孫の入学等の支援」である。

D. 提言

本調査研究では、年代によって金融資産に対する夫婦の考えが変わることが明らかになった。また考え方の違いによって家計(財布)の管理方法(タイプ)も変わることが明らかになった。さらに定年前と後とでは夫の金融資産に対する関与度が強まることも明らかになった。さらに詳しく見ると<夫小遣いタイプ>よりもその他のタイプ<妻小遣いタイプ><夫仕切りタイプ><夫婦共同タイプ>のほうが「日常を豊かにする支出」に対しても「ここぞというときの支出」に対しても積極的なことも明らかになった。

定年期の夫婦の家計管理はその夫婦の関係と収入・資産の状況から規定されていくわけだが、これでなければならないという方程式は存在しない。仮に望ましい家計管理方法というのが提案されても実際に実行される保証もない。その意味で、この調査研究結果から一般生活者へ提言できることは、定年期における家計管理は資産を中心に管理されていくということから、金融資産の管理を誰がするのか、どこまで夫婦の自由度をみとめるのか、お互いの信頼を元に、考え方の調整をする必要があるということだ。特に生活環境・収入資産環境が激変する男性 60 代前半において、基本ルールを決め、将来設計の中から支出と貯蓄のバランスをデザインすることが重要だと思われる。

産業界に対しては、「日常の豊かさ」を追求する支出と「ここぞというとき」の支出とはでどころの財布が違うということを指摘しておきたい。「日常」については年金などフローのマネーすなわち年収が基礎的な支出ベースとなっはいるが、小遣い額を超えた支出が行われる背景には資産があるということを入れておかねばならない。「日常」については「趣味・健康・旅」が支出御三家であるが、これらについてそれぞれ積み立て預金が行われるとすれば、50 代後半から困り込みを図ることが有効であろう。また支出額が大きいのは、全体の中では少数派である「夫が決定権を持つ」層であるため、夫をターゲットにしたマーケティングが定年期以降については重要であろう。「ここぞ」という支出は金額が大きい。60 代前半に集中して消費が起こる。このタイミングにあわせたアプローチが特に必要かと思われる。女性は配偶者へ相談なしに支出する品目が多く、50 代後半の女性は同年代の男性より多くの消費をおこなうが、60 代にはやや活発さを失う可能性がある。

行政へは消費者の金融商品に対する理解を深め、自立した判断が出来るような施策をお願いしたい。<夫小遣いタイプ>の夫の金融商品への理解はまだまだのように思われる。夫が小遣い依存のままリスクを負わないでいると、支出も大胆さを失う。全体として大きなこのグループが日本経済全体の躍動を生めるよう、理解の推進が必要である。

中高年齢者の消費に関する調査
集計結果

クロス集計結果目次

基本集計

対象者基本属性	1
Q1:A「お金は日常を豊かにすることに使いたい」という意見への賛成度	1
Q2:「日常を豊かにする」とは具体的には？	1
Q3:「日常を豊かにする」ための支出額	2
Q4:「日常を豊かにする」ための実際の経費	2
Q5:B「お金はここぞという時に使いたい」という意見への賛成度	2
Q6:「ここぞ」というときはどんな時？	3
Q7:この5年間で、もっとも「ここぞ」と思って、お金を使ったこと	3
Q8:「ここぞ」と思って使ったときの支出総額	4
Q9:「ここぞ」と思って使ったときの資金源	4
Q10:支出についての相談相手	5
Q11:財布の管理の仕方	5
Q12:収入への考え方	5
Q13:A「夫は夫名義の資産を自由に使えるか？	6
Q15:B「妻は妻名義の資産を自由に使えるか？	6
Q17:配偶者に相談しないで、自分の一存で支出・購入できるもの	6
Q18:配偶者に相談しないで、自分の一存で一度に支出できる金額	7
Q19:月平均のおこづかい額	7
Q20:理想の夫婦像	8
Q21:理想の老後の生き方	8
Q22:参加しているサークル・クラブ(会)	8
Q22:参加しているサークル・クラブ(会)数	9
Q23:普段の生活での、夫婦そろっての外出	9
Q23:夫婦での外出頻度	9
Q24:好きで取り組んでいる趣味や活動の数	10
Q24:好きで取り組んでいる趣味の数(3区分)	10
Q25:孫の有無	10
Q26:夫婦の収入源	11
Q27:夫の総年収	11
Q28:妻の総年収	12
Q27+Q28:夫婦年収(加重平均)	12
Q29:夫名義の金融資産	13
Q30:妻名義の金融資産	13
Q29+Q30:夫婦総資産(加重平均)	13

FA回答

Q2:「日常を豊かにする」とは具体的には？その他回答	14
Q6:「ここぞ」というときはどんな時？その他回答	14
Q7:この5年間で、もっとも「ここぞ」と思って、お金を使ったこと。その他回答	14
Q9:「ここぞ」と思って使ったときの資金源。その他回答	14
Q10:支出についての相談相手。その他回答	14
Q11:財布の管理の仕方。その他回答	14
Q12:収入への考え方。その他回答	15
Q13:A「夫は夫名義の資産を自由に使えるか？その他回答	15
Q14:Q13回答理由	15
Q15:B「妻は妻名義の資産を自由に使えるか？その他回答	21
Q16:Q15回答理由	21
Q22:参加しているサークル・クラブ(会)。その他回答	27
Q26:夫婦の収入源。その他回答	27

対象者基本属性

		合計	%
性別	男性	263	52.6
	女性	237	47.4
年齢別	55-59歳	163	32.6
	60-64歳	169	33.8
	65-69歳	168	33.6
性・年齢別	男性:55-59歳	82	16.4
	男性:60-64歳	90	18.0
	男性:65-69歳	91	18.2
	女性:55-59歳	81	16.2
	女性:60-64歳	79	15.8
	女性:65-69歳	77	15.4

Q1:A「お金は日常を豊かにすることに使いたい」という意見に、あなたはどの程度賛成なさいますか？(SA)

		合計	たいへん賛成する(+3)	やや賛成する(+2)	あまり賛成しない(+1)	まったく賛成しない(±0)	加重平均
全体		500	167	303	29	1	2.27
性別	男性	100	33.4	60.6	5.8	0.2	2.26
	女性	237	78	148	11	-	2.28
年齢別	55-59歳	163	54	98	11	-	2.26
	60-64歳	169	50	106	12	1	2.21
	65-69歳	168	63	99	6	-	2.34
性・年齢別	男性:55-59歳	82	30	44	8	-	2.27
	男性:60-64歳	90	23	61	5	1	2.18
	男性:65-69歳	91	36	50	5	-	2.34
	女性:55-59歳	81	24	54	3	-	2.26
	女性:60-64歳	79	27	45	7	-	2.25
	女性:65-69歳	77	27	49	1	-	2.34

Q2:あなたにとって「日常を豊かにする」とは具体的にどのようなことを指していますか？(MA)

		合計	趣味を楽しむこと	旅行を楽しむこと	食事を楽しむこと	健康を保つこと	読書・映画・音楽などの娯楽を楽しむこと	自然にふれることを楽しむこと	スポーツを楽しむこと	ボランティアなど社会参加することを楽しむこと	友人との語り合いを楽しむこと	ショッピングなどを楽しむこと	孫とのふれあいを楽しむこと	その他
全体		500	422	389	350	413	288	303	176	140	235	220	169	13
性別	男性	263	220	200	170	211	132	159	97	70	101	93	81	8
	女性	237	202	189	180	202	156	144	79	70	134	127	88	5
年齢別	55-59歳	163	135	127	120	125	99	92	55	39	75	77	32	2
	60-64歳	169	143	129	110	142	94	106	58	54	81	78	59	3
	65-69歳	168	144	133	120	146	95	105	63	47	79	65	78	8
性・年齢別	男性:55-59歳	82	66	59	55	62	38	42	27	16	27	34	9	-
	男性:60-64歳	90	76	67	53	71	46	59	30	27	37	31	31	2
	男性:65-69歳	91	78	74	62	78	48	58	40	27	37	28	41	6
	女性:55-59歳	81	69	68	65	63	61	50	28	23	48	43	23	2
	女性:60-64歳	79	67	62	57	71	48	47	28	27	44	47	28	1
	女性:65-69歳	77	66	59	58	68	47	47	23	20	42	37	37	2

Q3:「日常を豊かにする」ためには、あなたは月にどのくらいの支出が必要だと思いますか？電気・水道・光熱費など生活の基礎費用はのぞきます。(SA)

		合計	5千円未満	5千円-1万円未満	1万円-3万円未満	3万円-5万円未満	5万円-7万円未満	7万円-10万円未満	10万円-15万円未満	15万円-20万円未満	20万円-50万円未満	50万円-100万円未満	100万円以上	加重平均(万円)
全体		500 100	2 0.4	13 2.6	94 18.8	132 26.4	67 13.4	61 12.2	57 11.4	35 7.0	37 7.4	1 0.2	1 0.2	8.73
性別	男性	263 100	2 0.8	4 1.5	47 17.9	74 28.1	37 14.1	29 11.0	31 11.8	19 7.2	19 7.2	1 0.4	-	8.74
	女性	237 100	-	9 3.8	47 19.8	58 24.5	30 12.7	32 13.5	26 11.0	16 6.8	18 7.6	-	1 0.4	8.73
年齢別	55-59歳	163 100	1 0.6	3 1.8	28 17.2	38 23.3	26 16.0	23 14.1	21 12.9	13 8.0	9 5.5	1 0.6	-	8.69
	60-64歳	169 100	-	6 3.6	30 17.8	47 27.8	21 12.4	15 8.9	20 11.8	15 8.9	15 8.9	-	-	9.13
	65-69歳	168 100	1 0.6	4 2.4	36 21.4	47 28.0	20 11.9	23 13.7	16 9.5	7 4.2	13 7.7	-	1 0.6	8.37
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	1 1.2	1 1.2	15 18.3	19 23.2	12 14.6	12 14.6	13 15.9	4 4.9	4 4.9	1 1.2	-	8.58
	男性:60-64歳	90 100	-	3 3.3	12 13.3	30 33.3	12 13.3	6 6.7	8 8.9	10 11.1	9 10.0	-	-	9.55
	男性:65-69歳	91 100	1 1.1	-	20 22.0	25 27.5	13 14.3	11 12.1	10 11.0	5 5.5	6 6.6	-	-	8.07
	女性:55-59歳	81 100	-	2 2.5	13 16.0	19 23.5	14 17.3	11 13.6	8 9.9	9 11.1	5 6.2	-	-	8.81
	女性:60-64歳	79 100	-	3 3.8	18 22.8	17 21.5	9 11.4	9 11.4	12 15.2	5 6.3	6 7.6	-	-	8.66
	女性:65-69歳	77 100	-	4 5.2	16 20.8	22 28.6	7 9.1	12 15.6	6 7.8	2 2.6	7 9.1	-	1 1.3	8.73

Q4:「日常を豊かにする」、そのための経費として、実際にはあなたは月にいくらくらい支出しておられますか？(SA)

		合計	5千円未満	5千円-1万円未満	1万円-3万円未満	3万円-5万円未満	5万円-7万円未満	7万円-10万円未満	10万円-15万円未満	15万円-20万円未満	20万円-50万円未満	50万円-100万円未満	100万円以上	支出はない	加重平均(万円)
全体		500 100	18 3.6	64 12.8	147 29.4	121 24.2	46 9.2	41 8.2	23 4.6	20 4.0	16 3.2	-	-	4 0.8	5.31
性別	男性	263 100	11 4.2	29 11.0	78 29.7	64 24.3	26 9.9	21 8.0	9 3.4	11 4.2	10 3.8	-	-	4 1.5	5.43
	女性	237 100	7 3.0	35 14.8	69 29.1	57 24.1	20 8.4	20 8.4	14 5.9	9 3.8	6 2.5	-	-	-	5.18
年齢別	55-59歳	163 100	7 4.3	22 13.5	51 31.3	44 27.0	12 7.4	12 7.4	8 4.9	3 1.8	3 1.8	-	-	1 0.6	4.48
	60-64歳	169 100	10 5.9	18 10.7	43 25.4	39 23.1	15 8.9	17 10.1	7 4.1	12 7.1	6 3.6	-	-	2 1.2	5.93
	65-69歳	168 100	1 0.6	24 14.3	53 31.5	38 22.6	19 11.3	12 7.1	8 4.8	5 3.0	7 4.2	-	-	1 0.6	5.51
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	4 4.9	11 13.4	29 35.4	22 26.8	5 6.1	4 4.9	4 4.9	-	2 2.4	-	-	1 1.2	4.15
	男性:60-64歳	90 100	7 7.8	8 8.9	22 24.4	21 23.3	8 8.9	9 10.0	1 1.1	7 7.8	5 5.6	-	-	2 2.2	6.36
	男性:65-69歳	91 100	-	10 11.0	27 29.7	21 23.1	13 14.3	8 8.8	4 4.4	4 4.4	3 3.3	-	-	1 1.1	5.68
	女性:55-59歳	81 100	3 3.7	11 13.6	22 27.2	22 27.2	7 8.6	8 9.9	4 4.9	3 3.7	1 1.2	-	-	-	4.81
	女性:60-64歳	79 100	3 3.8	10 12.7	21 26.6	18 22.8	7 8.9	8 10.1	6 7.6	5 6.3	1 1.3	-	-	-	5.45
	女性:65-69歳	77 100	1 1.3	14 18.2	26 33.8	17 22.1	6 7.8	4 5.2	4 5.2	1 1.3	4 5.2	-	-	-	5.31

Q5: B「お金はこぞという時に使いたい」という意見に、あなたはどの程度賛成なさいますか？(SA)

		合計	たいへん賛成する(+3)	やや賛成する(+2)	あまり賛成しない(+1)	まったく賛成しない(±0)	加重平均
全体		500 100	148 29.6	297 59.4	54 10.8	1 0.2	2.18
性別	男性	263 100	68 25.9	164 62.4	30 11.4	1 0.4	2.14
	女性	237 100	80 33.8	133 56.1	24 10.1	-	2.24
年齢別	55-59歳	163 100	51 31.3	99 60.7	12 7.4	1 0.6	2.23
	60-64歳	169 100	46 27.2	98 58	25 14.8	-	2.12
	65-69歳	168 100	51 30.4	100 59.5	17 10.1	-	2.20
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	25 30.5	50 61.0	6 7.3	1 1.2	2.21
	男性:60-64歳	90 100	23 25.6	53 58.9	14 15.6	-	2.10
	男性:65-69歳	91 100	20 22.0	61 67.0	10 11.0	-	2.11
	女性:55-59歳	81 100	26 32.1	49 60.5	6 7.4	-	2.25
	女性:60-64歳	79 100	23 29.1	45 57.0	11 13.9	-	2.15
	女性:65-69歳	77 100	31 40.3	39 50.6	7 9.1	-	2.31

Q6:あなたにとって「こぞ」というときはどんな時ですか？(MA)(1/2)

		合計	子供の結婚	肉親や親しい人の祝い事や不祝儀	孫の誕生	自宅の購入・改築・リフォーム	子の住宅購入・改築・リフォーム支援	子や孫の入学・進学支援	子や孫の生活支援	海外旅行	肉親や親しい人の病氣・入院	肉親や親しい人の介護	趣味関係の大きなイベント	株式や投資など金融商品の購入
全体		500 100	209 41.8	170 34.0	141 28.2	334 66.8	86 17.2	123 24.6	58 11.6	218 43.6	168 33.6	94 18.8	112 22.4	89 17.8
性別	男性	263 100	107 40.7	85 32.3	70 26.6	176 66.9	42 16.0	63 24.0	30 11.4	113 43.0	84 31.9	43 16.3	53 20.2	51 19.4
	女性	237 100	102 43.0	85 35.9	71 30.0	158 66.7	44 18.6	60 25.3	28 11.8	105 44.3	84 35.4	51 21.5	59 24.9	38 16.0
年齢別	55-59歳	163 100	70 42.9	57 35.0	31 19.0	107 65.6	21 12.9	35 21.5	18 11.0	73 44.8	51 31.3	29 17.8	34 20.9	35 21.5
	60-64歳	169 100	69 40.8	52 30.8	44 26.0	124 73.4	32 18.9	41 24.3	16 9.5	67 39.6	53 31.4	28 16.6	34 20.1	25 14.8
	65-69歳	168 100	70 41.7	61 36.3	66 39.3	103 61.3	33 19.6	47 28.0	24 14.3	78 46.4	64 38.1	37 22.0	44 26.2	29 17.3
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	32 39.0	29 35.4	13 15.9	54 65.9	7 8.5	19 23.2	7 8.5	32 39.0	25 30.5	11 13.4	14 17.1	21 25.6
	男性:60-64歳	90 100	37 41.1	25 27.8	20 22.2	68 75.6	20 22.2	20 22.2	10 11.1	38 42.2	27 30.0	15 16.7	16 17.8	14 15.6
	男性:65-69歳	91 100	38 41.8	31 34.1	37 40.7	54 59.3	15 16.5	24 26.4	13 14.3	43 47.3	32 35.2	17 18.7	23 25.3	16 17.6
	女性:55-59歳	81 100	38 46.9	28 34.6	18 22.2	53 65.4	14 17.3	16 19.8	11 13.6	41 50.6	26 32.1	18 22.2	20 24.7	14 17.3
	女性:60-64歳	79 100	32 40.5	27 34.2	24 30.4	56 70.9	12 15.2	21 26.6	6 7.6	29 36.7	26 32.9	13 16.5	18 22.8	11 13.9
	女性:65-69歳	77 100	32 41.6	30 39.0	29 37.7	49 63.6	18 23.4	23 29.9	11 14.3	35 45.5	32 41.6	20 26.0	21 27.3	13 16.9

Q6:あなたにとって「こぞ」というときはどんな時ですか？(MA)(2/2)

		合計	車の購入	家電の買い替え・買い増し	開業・起業	別荘の購入	その他
全体		500 100	202 40.4	210 42.0	41 8.2	22 4.4	13 2.6
性別	男性	263 100	124 47.1	114 43.3	25 9.5	10 3.8	8 3.0
	女性	237 100	78 32.9	96 40.5	16 6.8	12 5.1	5 2.1
年齢別	55-59歳	163 100	77 47.2	70 42.9	20 12.3	6 3.7	5 3.1
	60-64歳	169 100	61 36.1	61 36.1	14 8.3	8 4.7	5 3.0
	65-69歳	168 100	64 38.1	79 47.0	7 4.2	8 4.8	3 1.8
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	40 48.8	35 42.7	16 19.5	3 3.7	2 2.4
	男性:60-64歳	90 100	41 45.6	32 35.6	8 8.9	4 4.4	4 4.4
	男性:65-69歳	91 100	43 47.3	47 51.6	1 1.1	3 3.3	2 2.2
	女性:55-59歳	81 100	37 45.7	35 43.2	4 4.9	3 3.7	3 3.7
	女性:60-64歳	79 100	20 25.3	29 36.7	6 7.6	4 5.1	1 1.3
	女性:65-69歳	77 100	21 27.3	32 41.6	6 7.8	5 6.5	1 1.3

Q7:この5年間で、あなたももっとも「こぞ」と思って、お金を使ったことをひとつだけ選んでお知らせください。(SA)(1/2)

		合計	子供の結婚	肉親や親しい人の祝い事や不祝儀	孫の誕生	自宅の購入・改築・リフォーム	子の住宅購入・改築・リフォーム支援	子や孫の入学・進学支援	子や孫の生活支援	海外旅行	肉親や親しい人の病氣・入院	肉親や親しい人の介護	趣味関係の大きなイベント	株式や投資など金融商品の購入
全体		500 100	52 10.4	17 3.4	13 2.6	108 21.6	25 5.0	11 2.2	6 1.2	48 9.6	15 3.0	4 0.8	12 2.4	29 5.8
性別	男性	263 100	26 9.9	9 3.4	4 1.5	54 20.5	12 4.6	3 1.1	2 0.8	26 9.9	4 1.5	-	6 2.3	17 6.5
	女性	237 100	26 11.0	8 3.4	9 3.8	54 22.8	13 5.5	8 3.4	4 1.7	22 9.3	11 4.6	4 1.7	6 2.5	12 5.1
年齢別	55-59歳	163 100	16 9.8	9 5.5	4 2.5	35 21.5	6 3.7	6 3.7	2 1.2	14 8.6	5 3.1	-	5 3.1	11 6.7
	60-64歳	169 100	18 10.7	4 2.4	4 2.4	40 23.7	11 6.5	2 1.2	2 1.2	13 7.7	7 4.1	1 0.6	-	10 5.9
	65-69歳	168 100	18 10.7	4 2.4	5 3.0	33 19.6	8 4.8	3 1.8	2 1.2	21 12.5	3 1.8	3 1.8	7 4.2	8 4.8
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	7 8.5	5 6.1	2 2.4	19 23.2	2 2.4	2 2.4	-	8 9.8	2 2.4	-	1 1.2	6 7.3
	男性:60-64歳	90 100	11 12.2	2 2.2	-	21 23.3	7 7.8	-	1 1.1	7 7.8	1 1.1	-	-	7 7.8
	男性:65-69歳	91 100	8 8.8	2 2.2	2 2.2	14 15.4	3 3.3	1 1.1	1 1.1	11 12.1	1 1.1	-	5 5.5	4 4.4
	女性:55-59歳	81 100	9 11.1	4 4.9	2 2.5	16 19.8	4 4.9	4 4.9	2 2.5	6 7.4	3 3.7	-	4 4.9	5 6.2
	女性:60-64歳	79 100	7 8.9	2 2.5	4 5.1	19 24.1	4 5.1	2 2.5	1 1.3	6 7.6	6 7.6	1 1.3	-	3 3.8
	女性:65-69歳	77 100	10 13.0	2 2.6	3 3.9	19 24.7	5 6.5	2 2.6	1 1.3	10 13.0	2 2.6	3 3.9	2 2.6	4 5.2

Q7:この5年間で、あなたがもっとも「こぞ」と思って、お金を使ったことをひとつだけ選んでお知らせください。(SA) (2/2)

		合計	車の購入	家電の買い替え・買い増し	開業・起業	別荘の購入	その他	「こぞ」というときはなかった
全体		500 100	76 15.2	37 7.4	3 0.6	3 0.6	7 1.4	34 6.8
性別	男性	263 100	50 19.0	19 7.2	3 1.1	3 1.1	6 2.3	19 7.2
	女性	237 100	26 11.0	18 7.6	-	-	1 0.4	15 6.3
年齢別	55-59歳	163 100	28 17.2	12 7.4	2 1.2	-	-	8 4.9
	60-64歳	169 100	22 13.0	16 9.5	1 0.6	1 0.6	5 3.0	12 7.1
	65-69歳	168 100	26 15.5	9 5.4	-	2 1.2	2 1.2	14 8.3
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	14 17.1	6 7.3	2 2.4	-	-	6 7.3
	男性:60-64歳	90 100	14 15.6	7 7.8	1 1.1	1 1.1	4 4.4	6 6.7
	男性:65-69歳	91 100	22 24.2	6 6.6	-	2 2.2	2 2.2	7 7.7
	女性:55-59歳	81 100	14 17.3	6 7.4	-	-	-	2 2.5
	女性:60-64歳	79 100	8 10.1	9 11.4	-	-	1 1.3	6 7.6
	女性:65-69歳	77 100	4 5.2	3 3.9	-	-	-	7 9.1

Q8:そのときの支出総額はどのくらいでしたか？借入金や預金の取り崩しなども含めた総額を、ひとつだけ選んでお知らせください。(SA)

		合計	5万円未満	5万円-10万円未満	10万円-50万円未満	50万円-100万円未満	100万円-300万円未満	300万円-500万円未満	500万円-1000万円未満	1000万円以上	加重平均(万円)
全体		466 100	7 1.5	13 2.8	85 18.2	59 12.7	134 28.8	58 12.4	45 9.7	65 13.9	334.46
性別	男性	244 100	1 0.4	5 2.0	42 17.2	34 13.9	69 28.3	30 12.3	23 9.4	40 16.4	356.16
	女性	222 100	6 2.7	8 3.6	43 19.4	25 11.3	65 29.3	28 12.6	22 9.9	25 11.3	310.61
年齢別	55-59歳	155 100	3 1.9	2 1.3	26 16.8	16 10.3	52 33.5	19 12.3	19 12.3	18 11.6	337.16
	60-64歳	157 100	2 1.3	3 1.9	26 16.6	21 13.4	37 23.6	23 14.6	17 10.8	28 17.8	380.49
	65-69歳	154 100	2 1.3	8 5.2	33 21.4	22 14.3	45 29.2	16 10.4	9 5.8	19 12.3	284.81
性・年齢別	男性:55-59歳	76 100	-	1 1.3	11 14.5	11 14.5	23 30.3	11 14.5	8 10.5	11 14.5	357.40
	男性:60-64歳	84 100	-	1 1.2	11 13.1	12 14.3	19 22.6	11 13.1	11 13.1	19 22.6	436.76
	男性:65-69歳	84 100	1 1.2	3 3.6	20 23.8	11 13.1	27 32.1	8 9.5	4 4.8	10 11.9	274.43
	女性:55-59歳	79 100	3 3.8	1 1.3	15 19.0	5 6.3	29 36.7	8 10.1	11 13.9	7 8.9	317.69
	女性:60-64歳	73 100	2 2.7	2 2.7	15 20.5	9 12.3	18 24.7	12 16.4	6 8.2	9 12.3	315.75
	女性:65-69歳	70 100	1 1.4	5 7.1	13 18.6	11 15.7	18 25.7	8 11.4	5 7.1	9 12.9	297.25

Q9:そのお金はどの資金源から支出なさいましたか？(MA)

		合計	毎月の生活費から	自分の毎月のお小遣いから	その目的のために貯めていた預貯金から	夫名義の普通預貯金から	妻名義の普通預貯金から	満期金や配当金などの臨時収入から	定期預金を取り崩して	お金を借りて・ローンなど	その他	わからない
全体		466 100	37 7.9	21 4.5	174 37.3	148 31.8	44 9.4	72 15.5	118 25.3	50 10.7	21 4.5	6 1.3
性別	男性	244 100	16 6.6	16 6.6	94 38.5	86 35.2	13 5.3	37 15.2	59 24.2	31 12.7	7 2.9	3 1.2
	女性	222 100	21 9.5	5 2.3	80 36.0	62 27.9	31 14.0	35 15.8	59 26.6	19 8.6	14 6.3	3 1.4
年齢別	55-59歳	155 100	14 9.0	9 5.8	61 39.4	52 33.5	18 11.6	17 11.0	34 21.9	22 14.2	8 5.2	1 0.6
	60-64歳	157 100	10 6.4	5 3.2	51 32.5	37 23.6	14 8.9	29 18.5	51 32.5	18 11.5	9 5.7	2 1.3
	65-69歳	154 100	13 8.4	7 4.5	62 40.3	59 38.3	12 7.8	26 16.9	33 21.4	10 6.5	4 2.6	3 1.9
性・年齢別	男性:55-59歳	76 100	6 7.9	8 10.5	32 42.1	28 36.8	5 6.6	6 7.9	15 19.7	14 18.4	2 2.6	1 1.3
	男性:60-64歳	84 100	5 6.0	4 4.8	28 33.3	20 23.8	3 3.6	17 20.2	28 33.3	11 13.1	4 4.8	1 1.2
	男性:65-69歳	84 100	5 6.0	4 4.8	34 40.5	38 45.2	5 6.0	14 16.7	16 19.0	6 7.1	1 1.2	1 1.2
	女性:55-59歳	79 100	8 10.1	1 1.3	29 36.7	24 30.4	13 16.5	11 13.9	19 24.1	8 10.1	6 7.6	-
	女性:60-64歳	73 100	5 6.8	1 1.4	23 31.5	17 23.3	11 15.1	12 16.4	23 31.5	7 9.6	5 6.8	1 1.4
	女性:65-69歳	70 100	8 11.4	3 4.3	28 40.0	21 30.0	7 10.0	12 17.1	17 24.3	4 5.7	3 4.3	2 2.9

Q10: そのとき、その支出についてどなたかと相談されましたか。どなたでしようか？ (MA)

		合計	配偶者と相談した	子供と相談した	親戚と相談した	専門家と相談した	その他	誰とも相談しなかった
全体		466	373	43	5	7	2	82
		100	80.0	9.2	1.1	1.5	0.4	17.6
性別	男性	244	200	16	1	2	-	43
		100	82.0	6.6	0.4	0.8	-	17.6
女性		222	173	27	4	5	2	39
		100	77.9	12.2	1.8	2.3	0.9	17.6
年齢別	55-59歳	155	121	10	1	2	-	32
		100	78.1	6.5	0.6	1.3	-	20.6
	60-64歳	157	128	14	1	2	-	26
		100	81.5	8.9	0.6	1.3	-	16.6
65-69歳		154	124	19	3	3	2	24
		100	80.5	12.3	1.9	1.9	1.3	15.6
性・年齢別	男性: 55-59歳	76	64	3	-	1	-	12
		100	84.2	3.9	-	1.3	-	15.8
	男性: 60-64歳	84	68	7	1	1	-	16
		100	81.0	8.3	1.2	1.2	-	19.0
	男性: 65-69歳	84	68	6	-	-	-	15
		100	81.0	7.1	-	-	-	17.9
	女性: 55-59歳	79	57	7	1	1	-	20
		100	72.2	8.9	1.3	1.3	-	25.3
	女性: 60-64歳	73	60	7	-	1	-	10
		100	82.2	9.6	-	1.4	-	13.7
	女性: 65-69歳	70	56	13	3	3	2	9
		100	80.0	18.6	4.3	4.3	2.9	12.9

Q11: ところで、家庭によって財布の管理の仕方は異なります。あなたの家庭のお財布の管理は次のうち、どれに当てはまりますか？ (SA)

		合計	妻がお金を管理する責任を持つ。妻は夫の収入を預かり、自分の収入があれば、それも加えて管理する。夫は妻から、こづかいをもらう。	夫がお金を管理する責任を持つ。夫は自分の収入に加えて、妻の収入があれば、それも加えて管理する。妻は夫から、こづかいをもらう。	夫が妻に定期的に家計費を与え、妻に収入がある場合は、それも加えて、妻が家計費として管理する。妻が責任を持つのは日常の費用だけで、残りのお金	夫婦ともに収入を持ち、それぞれ収入の一部を出し合って、家計費にする。残りはそれぞれ自由に使う。	その他
全体		500	294	41	88	43	34
		100	58.8	8.2	17.6	8.6	6.8
性別	男性	263	140	27	46	26	24
		100	53.2	10.3	17.5	9.9	9.1
女性		237	154	14	42	17	10
		100	65.0	5.9	17.7	7.2	4.2
年齢別	55-59歳	163	100	9	28	15	11
		100	61.3	5.5	17.2	9.2	6.7
	60-64歳	169	100	17	25	14	13
		100	59.2	10.1	14.8	8.3	7.7
65-69歳		168	94	15	35	14	10
		100	56.0	8.9	20.8	8.3	6.0
性・年齢別	男性: 55-59歳	82	46	4	14	10	8
		100	56.1	4.9	17.1	12.2	9.8
	男性: 60-64歳	90	47	14	11	10	8
		100	52.2	15.6	12.2	11.1	8.9
	男性: 65-69歳	91	47	9	21	6	8
		100	51.6	9.9	23.1	6.6	8.8
	女性: 55-59歳	81	54	5	14	5	3
		100	66.7	6.2	17.3	6.2	3.7
	女性: 60-64歳	79	53	3	14	4	5
		100	67.1	3.8	17.7	5.1	6.3
	女性: 65-69歳	77	47	6	14	8	2
		100	61.0	7.8	18.2	10.4	2.6

Q12: 収入への考え方についておたずねします。自分の収入や配偶者の収入は、誰のものと思われるですか？ (SA)

		合計	妻の収入は妻のもの、夫の収入は夫のもの	妻の収入は妻のもの、夫の収入は夫婦のもの	妻の収入は夫婦のもの、夫の収入は夫のもの	両収入とも夫婦のもの	その他
全体		500	28	131	3	332	6
		100	5.6	26.2	0.6	66.4	1.2
性別	男性	263	19	65	1	175	3
		100	7.2	24.7	0.4	66.5	1.1
女性		237	9	66	2	157	3
		100	3.8	27.8	0.8	66.2	1.3
年齢別	55-59歳	163	10	44	-	106	3
		100	6.1	27.0	-	65.0	1.8
	60-64歳	169	11	44	-	113	1
		100	6.5	26.0	-	66.9	0.6
65-69歳		168	7	43	3	113	2
		100	4.2	25.6	1.8	67.3	1.2
性・年齢別	男性: 55-59歳	82	7	19	-	54	2
		100	8.5	23.2	-	65.9	2.4
	男性: 60-64歳	90	7	22	-	61	-
		100	7.8	24.4	-	67.8	-
	男性: 65-69歳	91	5	24	1	60	1
		100	5.5	26.4	1.1	65.9	1.1
	女性: 55-59歳	81	3	25	-	52	1
		100	3.7	30.9	-	64.2	1.2
	女性: 60-64歳	79	4	22	-	52	1
		100	5.1	27.8	-	65.8	1.3
	女性: 65-69歳	77	2	19	2	53	1
		100	2.6	24.7	2.6	68.8	1.3

Q13：A「夫は夫名義の資産を自由に使えるでしょうか？」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。(SA)

		合計	自由に使えるし、妻に事後報告も必要ない	自由に使えるが、妻に事後報告が必要	妻と相談すれば、妻が反対しても使うことが出来る	妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る	夫は全く自由には使えない	その他	わからない
全体		500 100	57 11.4	84 16.8	69 13.8	243 48.6	13 2.6	5 1.0	29 5.8
性別	男性	263 100	34 12.9	49 18.6	40 15.2	126 47.9	5 1.9	2 0.8	7 2.7
	女性	237 100	23 9.7	35 14.8	29 12.2	117 49.4	8 3.4	3 1.3	22 9.3
年齢別	55-59歳	163 100	19 11.7	25 15.3	17 10.4	88 54.0	4 2.5	1 0.6	9 5.5
	60-64歳	169 100	21 12.4	28 16.6	29 17.2	73 43.2	5 3.0	2 1.2	11 6.5
	65-69歳	168 100	17 10.1	31 18.5	23 13.7	82 48.8	4 2.4	2 1.2	9 5.4
性・年齢別	男性：55-59歳	82 100	12 14.6	15 18.3	9 11.0	44 53.7	1 1.2	-	1 1.2
	男性：60-64歳	90 100	11 12.2	18 20.0	18 20.0	39 43.3	2 2.2	-	2 2.2
	男性：65-69歳	91 100	11 12.1	16 17.6	13 14.3	43 47.3	2 2.2	2 2.2	4 4.4
	女性：55-59歳	81 100	7 8.6	10 12.3	8 9.9	44 54.3	3 3.7	1 1.2	8 9.9
	女性：60-64歳	79 100	10 12.7	10 12.7	11 13.9	34 43.0	3 3.8	2 2.5	9 11.4
	女性：65-69歳	77 100	6 7.8	15 19.5	10 13.0	39 50.6	2 2.6	-	5 6.5

Q15：B「妻は妻名義の資産を自由に使えるでしょうか？」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。(SA)

		合計	自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない	自由に使えるが、夫に事後報告が必要	夫と相談すれば、夫が反対しても使うことが出来る	夫に相談し、夫が賛成すれば使うことが出来る	妻は全く自由には使えない	その他	わからない
全体		500 100	156 31.2	88 17.6	47 9.4	167 33.4	4 0.8	3 0.6	35 7
性別	男性	263 100	73 27.8	51 19.4	28 10.6	92 35	3 1.1	3 1.1	13 4.9
	女性	237 100	83 35.0	37 15.6	19 8.0	75 31.6	1 0.4	-	22 9.3
年齢別	55-59歳	163 100	64 39.3	25 15.3	13 8.0	51 31.3	-	-	10 6.1
	60-64歳	169 100	49 29.0	28 16.6	22 13.0	52 30.8	2 1.2	1 0.6	15 8.9
	65-69歳	168 100	43 25.6	35 20.8	12 7.1	64 38.1	2 1.2	2 1.2	10 6.0
性・年齢別	男性：55-59歳	82 100	26 31.7	15 18.3	7 8.5	30 36.6	-	-	4 4.9
	男性：60-64歳	90 100	23 25.6	16 17.8	13 14.4	32 35.6	1 1.1	1 1.1	4 4.4
	男性：65-69歳	91 100	24 26.4	20 22.0	8 8.8	30 33.0	2 2.2	2 2.2	5 5.5
	女性：55-59歳	81 100	38 46.9	10 12.3	6 7.4	21 25.9	-	-	6 7.4
	女性：60-64歳	79 100	26 32.9	12 15.2	9 11.4	20 25.3	1 1.3	-	11 13.9
	女性：65-69歳	77 100	19 24.7	15 19.5	4 5.2	34 44.2	-	-	5 6.5

Q17：それでは、配偶者に相談しないで、自分の一存(いちぜん)で支出・購入できるものは、次のうちどれでしょうか？(MA)(1/2)

		合計	友人・知人との国内旅行	自分用のパソコンやデジカメなどの情報機器	仲間との食事会や飲み会	健康機器(イス型のマッサージ機など)	自宅の改築・新築	子世代の住宅取得への資金援助	孫の教育費(入学金の支援など)	車の買い替え	家電製品の買い替え・買い増し	自分の趣味関係の大きなイベント費用(発表会など)	家族での海外旅行	衣料品などの通信販売
全体		500 100	208 41.6	250 50.0	405 81	67 13.4	11 2.2	11 2.2	28 5.6	40 8.0	103 20.6	186 37.2	56 11.2	249 49.8
性別	男性	263 100	84 31.9	144 54.8	207 78.7	24 9.1	7 2.7	4 1.5	7 2.7	27 10.3	45 17.1	80 30.4	23 8.7	85 32.3
	女性	237 100	124 52.3	106 44.7	198 83.5	43 18.1	4 1.7	7 3.0	21 8.9	13 5.5	58 24.5	106 44.7	33 13.9	164 69.2
年齢別	55-59歳	163 100	67 41.1	77 47.2	139 85.3	21 12.9	2 1.2	1 0.6	9 5.5	9 5.5	31 19.0	64 39.3	20 12.3	87 53.4
	60-64歳	169 100	75 44.4	90 53.3	139 82.2	21 12.4	7 4.1	6 3.6	8 4.7	15 8.9	36 21.3	62 36.7	16 9.5	90 53.3
	65-69歳	168 100	66 39.3	83 49.4	127 75.6	25 14.9	2 1.2	4 2.4	11 6.5	16 9.5	36 21.4	60 35.7	20 11.9	72 42.9
性・年齢別	男性：55-59歳	82 100	23 28.0	40 48.8	67 81.7	7 8.5	1 1.2	-	1 1.2	5 6.1	11 13.4	22 26.8	6 7.3	27 32.9
	男性：60-64歳	90 100	33 36.7	55 61.1	71 78.9	7 7.8	5 5.6	3 3.3	3 3.3	11 12.2	15 16.7	30 33.3	8 8.9	31 34.4
	男性：65-69歳	91 100	28 30.8	49 53.8	69 75.8	10 11.0	1 1.1	1 1.1	3 3.3	11 12.1	19 20.9	28 30.8	9 9.9	27 29.7
	女性：55-59歳	81 100	44 54.3	37 45.7	72 88.9	14 17.3	1 1.2	1 1.2	8 9.9	4 4.9	20 24.7	42 51.9	14 17.3	60 74.1
	女性：60-64歳	79 100	42 53.2	35 44.3	68 86.1	14 17.7	2 2.5	3 3.8	5 6.3	4 5.1	21 26.6	32 40.5	8 10.1	59 74.7
	女性：65-69歳	77 100	38 49.4	34 44.2	58 75.3	15 19.5	1 1.3	3 3.9	8 10.4	5 6.5	17 22.1	32 41.6	11 14.3	45 58.4

Q17: それでは、配偶者に相談しないで、自分の一存(いちぞん)で支出・購入できるものは、次のうちどれでしょうか？(MA)(2/2)

		合計	株式や投 信などの金 融商品	スポーツク ラブやエステ などの会費	いずれもな し
全体		500 100	112 22.4	139 27.8	48 9.6
性別	男性	263 100	65 24.7	49 18.6	28 10.6
	女性	237 100	47 19.8	90 38.0	20 8.4
年齢別	55-59歳	163 100	31 19.0	48 29.4	11 6.7
	60-64歳	82 100	44 26.0	47 27.8	12 7.1
	65-69歳	81 100	37 22.0	44 26.2	25 14.9
性・年齢別	男性:55-59歳	169 100	13 15.9	10 12.2	6 7.3
	男性:60-64歳	90 100	29 32.2	18 20.0	9 10.0
	男性:65-69歳	79 100	23 25.3	21 23.1	13 14.3
	女性:55-59歳	168 100	18 22.2	38 46.9	5 6.2
	女性:60-64歳	91 100	15 19.0	29 36.7	3 3.8
	女性:65-69歳	77 100	14 18.2	23 29.9	12 15.6

Q18: また、配偶者に相談しないで、自分の一存(いちぞん)で一度に支出できる金額は、いくらぐらいまででしょうか？(SA)

		合計	5千円まで	5千円-1 万円まで	1万円-3 万円まで	3万円-5 万円まで	5万円-7 万円まで	7万円-10 万円まで	10万円- 15万円まで	15万円- 20万円まで	20万円- 50万円まで	50万円- 100万円ま で	100万円以 上	一存で使え るお金はな い	加重平均 (万円)
全体		500 100	13 2.6	39 7.8	96 19.2	77 15.4	18 3.6	61 12.2	27 5.4	39 7.8	45 9.0	30 6.0	47 9.4	8 1.6	5.92
性別	男性	263 100	9 3.4	23 8.7	46 17.5	41 15.6	8 3.0	31 11.8	15 5.7	17 6.5	23 8.7	18 6.8	28 10.6	4 1.5	5.96
	女性	237 100	4 1.7	16 6.8	50 21.1	36 15.2	10 4.2	30 12.7	12 5.1	22 9.3	22 9.3	12 5.1	19 8.0	4 1.7	5.89
年齢別	55-59歳	163 100	3 1.8	7 4.3	28 17.2	27 16.6	6 3.7	23 14.1	9 5.5	14 8.6	18 11.0	13 8.0	12 7.4	3 1.8	6.21
	60-64歳	169 100	5 3.0	14 8.3	27 16.0	25 14.8	9 5.3	21 12.4	9 5.3	14 8.3	12 7.1	14 8.3	18 10.7	1 0.6	6.02
	65-69歳	168 100	5 3.0	18 10.7	41 24.4	25 14.9	3 1.8	17 10.1	9 5.4	11 6.5	15 8.9	3 1.8	17 10.1	4 2.4	5.55
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	2 2.4	3 3.7	15 18.3	13 15.9	2 2.4	14 17.1	3 3.7	6 7.3	8 9.8	7 8.5	7 8.5	2 2.4	6.23
	男性:60-64歳	90 100	3 3.3	10 11.1	9 10.0	12 13.3	5 5.6	9 10.0	7 7.8	6 6.7	6 6.7	8 8.9	14 15.6	1 1.1	6.38
	男性:65-69歳	91 100	4 4.4	10 11.0	22 24.2	16 17.6	1 1.1	8 8.8	5 5.5	5 5.5	9 9.9	3 3.3	7 7.7	1 1.1	5.30
	女性:55-59歳	81 100	1 1.2	4 4.9	13 16.0	14 17.3	4 4.9	9 11.1	6 7.4	8 9.9	10 12.3	6 7.4	5 6.2	1 1.2	6.19
	女性:60-64歳	79 100	2 2.5	4 5.1	18 22.8	13 16.5	4 5.1	12 15.2	2 2.5	8 10.1	6 7.6	6 7.6	4 5.1	-	5.62
	女性:65-69歳	77 100	1 1.3	8 10.4	19 24.7	9 11.7	2 2.6	9 11.7	4 5.2	6 7.8	6 7.8	-	10 13.0	3 3.9	5.84

Q19: ところで、あなたの月平均のおこづかい額をお知らせください。(SA)

		合計	5千円未満	5千円-1 万円未満	1万円-3 万円未満	3万円-5 万円未満	5万円-7 万円未満	7万円-10 万円未満	10万円- 15万円未 満	15万円- 20万円未 満	20万円- 50万円未 満	50万円- 100万円未 満	100万円以 上	おこづかい はない	加重平均 (万円)
全体		500 100	17 3.4	39 7.8	149 29.8	139 27.8	50 10.0	45 9.0	5 1.0	3 0.6	2 0.4	-	-	51 10.2	3.32
性別	男性	263 100	5 1.9	12 4.6	70 26.6	88 33.5	34 12.9	28 10.6	4 1.5	3 1.1	2 0.8	-	-	17 6.5	3.99
	女性	237 100	12 5.1	27 11.4	79 33.3	51 21.5	16 6.8	17 7.2	1 0.4	-	-	-	-	34 14.3	2.57
年齢別	55-59歳	163 100	6 3.7	7 4.3	46 28.2	44 27.0	20 12.3	14 8.6	2 1.2	3 1.8	-	-	-	21 12.9	3.39
	60-64歳	169 100	7 4.1	14 8.3	46 27.2	52 30.8	16 9.5	13 7.7	1 0.6	-	2 1.2	-	-	18 10.7	3.38
	65-69歳	168 100	4 2.4	18 10.7	57 33.9	43 25.6	14 8.3	18 10.7	2 1.2	-	-	-	-	12 7.1	3.19
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	1 1.2	4 4.9	16 19.5	27 32.9	13 15.9	9 11.0	2 2.4	3 3.7	-	-	-	7 8.5	4.26
	男性:60-64歳	90 100	3 3.3	2 2.2	22 24.4	35 38.9	13 14.4	5 5.6	1 1.1	-	2 2.2	-	-	7 7.8	4.04
	男性:65-69歳	91 100	1 1.1	6 6.6	32 35.2	26 28.6	8 8.8	14 15.4	1 1.1	-	-	-	-	3 3.3	3.70
	女性:55-59歳	81 100	5 6.2	3 3.7	30 37.0	17 21.0	7 8.6	5 6.2	-	-	-	-	-	14 17.3	2.51
	女性:60-64歳	79 100	4 5.1	12 15.2	24 30.4	17 21.5	3 3.8	8 10.1	-	-	-	-	-	11 13.9	2.62
	女性:65-69歳	77 100	3 3.9	12 15.6	25 32.5	17 22.1	6 7.8	4 5.2	1 1.3	-	-	-	-	9 11.7	2.58

Q20: 次に、異なった4つの夫婦像があります。あなたはどの夫婦が最も好ましいとお考えですか？(SA)

	合計	夫は一家の主人としての威厳をもち、妻は夫をもりたてて、心から尽くしている	夫も妻も、自分の仕事や趣味をもつていて、それぞれ熱心に打ち込んでいる	夫は仕事に力を注ぎ、妻は任された家庭をしっかりと守っている	夫はなにかと家庭のことにも気がつかない、妻も暖かい家庭づくりに専念している	いずれも、あてはまらない	
全体	500 100	36 7.2	190 38.0	85 17.0	170 34.0	19 3.8	
性別	男性	263 100	26 9.9	84 31.9	53 20.2	90 34.2	10 3.8
	女性	237 100	10 4.2	106 44.7	32 13.5	80 33.8	9 3.8
年齢別	55-59歳	163 100	13 8.0	60 36.8	31 19.0	51 31.3	8 4.9
	60-64歳	169 100	9 5.3	75 44.4	26 15.4	54 32.0	5 3.0
	65-69歳	168 100	14 8.3	55 32.7	28 16.7	65 38.7	6 3.6
性・年齢別	男性: 55-59歳	82 100	10 12.2	24 29.3	20 24.4	24 29.3	4 4.9
	男性: 60-64歳	90 100	5 5.6	32 35.6	16 17.8	33 36.7	4 4.4
	男性: 65-69歳	91 100	11 12.1	28 30.8	17 18.7	33 36.3	2 2.2
	女性: 55-59歳	81 100	3 3.7	36 44.4	11 13.6	27 33.3	4 4.9
	女性: 60-64歳	79 100	4 5.1	43 54.4	10 12.7	21 26.6	1 1.3
	女性: 65-69歳	77 100	3 3.9	27 35.1	11 14.3	32 41.6	4 5.2

Q21: いろいろな老後の生き方をあげてあります。この中であなたはどれが最も望ましいと思いますか？(SA)

	合計	子供や孫といっしょに、なごやかに暮らす	夫婦2人で、むつまじく暮らす	自分の趣味をもち、のんびりと余生を送る	おおくの同世代の仲間と、にぎやかに過ごす	若い人たちとつき合っ、ふけこまないようにする	できるだけ、自分の仕事をもち続ける	いずれも、あてはまらない	
全体	500 100	52 10.4	135 27.0	194 38.8	23 4.6	14 2.8	76 15.2	6 1.2	
性別	男性	263 100	30 11.4	83 31.6	88 33.5	10 3.8	8 3.0	43 16.3	1 0.4
	女性	237 100	22 9.3	52 21.9	106 44.7	13 5.5	6 2.5	33 13.9	5 2.1
年齢別	55-59歳	163 100	15 9.2	39 23.9	72 44.2	7 4.3	5 3.1	24 14.7	1 0.6
	60-64歳	169 100	24 14.2	34 20.1	70 41.4	7 4.1	5 3.0	25 14.8	4 2.4
	65-69歳	168 100	13 7.7	62 36.9	52 31.0	9 5.4	4 2.4	27 16.1	1 0.6
性・年齢別	男性: 55-59歳	82 100	8 9.8	25 30.5	31 37.8	3 3.7	4 4.9	11 13.4	-
	男性: 60-64歳	90 100	17 18.9	20 22.2	33 36.7	1 1.1	1 1.1	17 18.9	1 1.1
	男性: 65-69歳	91 100	5 5.5	38 41.8	24 26.4	6 6.6	3 3.3	15 16.5	-
	女性: 55-59歳	81 100	7 8.6	14 17.3	41 50.6	4 4.9	1 1.2	13 16.0	1 1.2
	女性: 60-64歳	79 100	7 8.9	14 17.7	37 46.8	6 7.6	4 5.1	8 10.1	3 3.8
	女性: 65-69歳	77 100	8 10.4	24 31.2	28 36.4	3 3.9	1 1.3	12 15.6	1 1.3

Q22: あなたが参加しているサークル・クラブ(会)をお知らせください。(MA)

	合計	趣味・スポーツのサークル・クラブ(会)	同窓会・学生時代の仲間の会	会社のOB会	インターネットのコミュニティ	地域の自治会・町内会	ボランティア団体	学校・カルチャースクールの会	生協・消費者団体	宗教関係の会	組合など仕事関係の会	育成会・子供会	その他	参加しているものはない	
全体	500 100	243 48.6	177 35.4	87 17.4	87 17.4	121 24.2	70 14.0	35 7.0	26 5.2	30 6.0	14 2.8	1 0.2	3 0.6	111 22.2	
性別	男性	263 100	108 41.1	108 41.1	74 28.1	49 18.6	67 25.5	32 12.2	14 5.3	3 1.1	12 4.6	10 3.8	1 0.4	-	63 24.0
	女性	237 100	135 57.0	69 29.1	13 5.5	38 16.0	54 22.8	38 16.0	21 8.9	23 9.7	18 7.6	4 1.7	-	3 1.3	48 20.3
年齢別	55-59歳	163 100	69 42.3	47 28.8	15 9.2	20 12.3	33 20.2	21 12.9	13 8.0	7 4.3	4 2.5	7 4.3	-	3 1.8	49 30.1
	60-64歳	169 100	76 45.0	62 36.7	33 19.5	35 20.7	38 22.5	25 14.8	10 5.9	11 6.5	17 10.1	3 1.8	1 0.6	-	33 19.5
	65-69歳	168 100	98 58.3	68 40.5	39 23.2	32 19.0	50 29.8	24 14.3	12 7.1	8 4.8	9 5.4	4 2.4	-	-	29 17.3
性・年齢別	男性: 55-59歳	82 100	21 25.6	26 31.7	9 11.0	11 13.4	17 20.7	4 4.9	3 3.7	1 1.2	2 2.4	5 6.1	-	-	32 39.0
	男性: 60-64歳	90 100	35 38.9	41 45.6	28 31.1	17 18.9	19 21.1	12 13.3	5 5.6	-	6 6.7	2 2.2	1 1.1	-	17 18.9
	男性: 65-69歳	91 100	52 57.1	41 45.1	37 40.7	21 23.1	31 34.1	16 17.6	6 6.6	2 2.2	4 4.4	3 3.3	-	-	14 15.4
	女性: 55-59歳	81 100	48 59.3	21 25.9	6 7.4	9 11.1	16 19.8	17 21.0	10 12.3	6 7.4	2 2.5	2 2.5	-	3 3.7	17 21.0
	女性: 60-64歳	79 100	41 51.9	21 26.6	5 6.3	18 22.8	19 24.1	13 16.5	5 6.3	11 13.9	11 13.9	1 1.3	-	-	16 20.3
	女性: 65-69歳	77 100	46 59.7	27 35.1	2 2.6	11 14.3	19 24.7	8 10.4	6 7.8	6 7.8	5 6.5	1 1.3	-	-	15 19.5

Q22: 参加しているサークル・クラブ(会)数(SA)

		合計	0	1~2	3以上
全体		500	111	245	144
		100	22.2	49.0	28.8
性別	男性	263	63	117	83
		100	24.0	44.5	31.6
女性	237	48	128	61	
	100	20.3	54.0	25.7	
年齢別	55-59歳	163	49	82	32
		100	30.1	50.3	19.6
	60-64歳	169	33	83	53
		100	19.5	49.1	31.4
65-69歳	168	29	80	59	
	100	17.3	47.6	35.1	
性・年齢別	男性:55-59歳	82	32	38	12
		100	39.0	46.3	14.6
	男性:60-64歳	90	17	43	30
		100	18.9	47.8	33.3
	男性:65-69歳	91	14	36	41
		100	15.4	39.6	45.1
	女性:55-59歳	81	17	44	20
		100	21.0	54.3	24.7
女性:60-64歳	79	16	40	23	
	100	20.3	50.6	29.1	
女性:65-69歳	77	15	44	18	
	100	19.5	57.1	23.4	

Q23: 普段の生活の中で、夫婦そろって外出する機会は何の程度ですか？(SA)

		合計	毎日	週に4~6回	週に2~3回	週に1回	月に2~3回	月に1回	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	出かけない
全体		500	14	26	124	107	99	52	29	33	16
		100	2.8	5.2	24.8	21.4	19.8	10.4	5.8	6.6	3.2
性別	男性	263	9	14	65	52	63	27	11	15	7
		100	3.4	5.3	24.7	19.8	24.0	10.3	4.2	5.7	2.7
女性	237	5	12	59	55	36	25	18	18	9	
	100	2.1	5.1	24.9	23.2	15.2	10.5	7.6	7.6	3.8	
年齢別	55-59歳	163	2	5	38	44	32	15	9	10	8
		100	1.2	3.1	23.3	27.0	19.6	9.2	5.5	6.1	4.9
	60-64歳	169	6	12	35	36	32	19	9	15	5
		100	3.6	7.1	20.7	21.3	18.9	11.2	5.3	8.9	3.0
65-69歳	168	6	9	51	27	35	18	11	8	3	
	100	3.6	5.4	30.4	16.1	20.8	10.7	6.5	4.8	1.8	
性・年齢別	男性:55-59歳	82	1	2	17	20	22	10	3	4	3
		100	1.2	2.4	20.7	24.4	26.8	12.2	3.7	4.9	3.7
	男性:60-64歳	90	4	9	17	20	21	7	3	7	2
		100	4.4	10.0	18.9	22.2	23.3	7.8	3.3	7.8	2.2
	男性:65-69歳	91	4	3	31	12	20	10	5	4	2
		100	4.4	3.3	34.1	13.2	22.0	11.0	5.5	4.4	2.2
	女性:55-59歳	81	1	3	21	24	10	5	6	6	5
		100	1.2	3.7	25.9	29.6	12.3	6.2	7.4	7.4	6.2
女性:60-64歳	79	2	3	18	16	11	12	6	8	3	
	100	2.5	3.8	22.8	20.3	13.9	15.2	7.6	10.1	3.8	
女性:65-69歳	77	2	6	20	15	15	8	6	4	1	
	100	2.6	7.8	26.0	19.5	19.5	10.4	7.8	5.2	1.3	

Q23: 夫婦での外出頻度(SA)

		合計	多	中	少
全体		500	164	206	130
		100	32.8	41.2	26.0
性別	男性	263	88	115	60
		100	33.5	43.7	22.8
女性	237	76	91	70	
	100	32.1	38.4	29.5	
年齢別	55-59歳	163	45	76	42
		100	27.6	46.6	25.8
	60-64歳	169	53	68	48
		100	31.4	40.2	28.4
65-69歳	168	66	62	40	
	100	39.3	36.9	23.8	
性・年齢別	男性:55-59歳	82	20	42	20
		100	24.4	51.2	24.4
	男性:60-64歳	90	30	41	19
		100	33.3	45.6	21.1
	男性:65-69歳	91	38	32	21
		100	41.8	35.2	23.1
	女性:55-59歳	81	25	34	22
		100	30.9	42.0	27.2
女性:60-64歳	79	23	27	29	
	100	29.1	34.2	36.7	
女性:65-69歳	77	28	30	19	
	100	36.4	39.0	24.7	

Q24: あなたは、好きで取り組んでいる趣味や活動をいくつお持ちですか? (SA)

		合計	1つ	2つ	3つ	4つ	5つ	6つ以上	ひとつもない
全体		500 100	98 19.6	201 40.2	115 23.0	31 6.2	17 3.4	8 1.6	30 6.0
性別	男性	263 100	54 20.5	99 37.6	62 23.6	15 5.7	13 4.9	3 1.1	17 6.5
	女性	237 100	44 18.6	102 43.0	53 22.4	16 6.8	4 1.7	5 2.1	13 5.5
年齢別	55-59歳	163 100	35 21.5	69 42.3	31 19.0	10 6.1	1 0.6	2 1.2	15 9.2
	60-64歳	169 100	36 21.3	65 38.5	39 23.1	10 5.9	5 3.0	5 3.0	9 5.3
	65-69歳	168 100	27 16.1	67 39.9	45 26.8	11 6.5	11 6.5	1 0.6	6 3.6
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	20 24.4	34 41.5	15 18.3	2 2.4	-	1 1.2	10 12.2
	男性:60-64歳	90 100	20 22.2	35 38.9	19 21.1	5 5.6	5 5.6	2 2.2	4 4.4
	男性:65-69歳	91 100	14 15.4	30 33.0	28 30.8	8 8.8	8 8.8	-	3 3.3
	女性:55-59歳	81 100	15 18.5	35 43.2	16 19.8	8 9.9	1 1.2	1 1.2	5 6.2
	女性:60-64歳	79 100	16 20.3	30 38.0	20 25.3	5 6.3	-	3 3.8	5 6.3
	女性:65-69歳	77 100	13 16.9	37 48.1	17 22.1	3 3.9	3 3.9	1 1.3	3 3.9

Q24: 好きで取り組んでいる趣味の数 (SA)

		合計	多	中	少
全体		500 100	171 34.2	201 40.2	128 25.6
性別	男性	263 100	93 35.4	99 37.6	71 27.0
	女性	237 100	78 32.9	102 43.0	57 24.1
年齢別	55-59歳	163 100	44 27.0	69 42.3	50 30.7
	60-64歳	169 100	59 34.9	65 38.5	45 26.6
	65-69歳	168 100	68 40.5	67 39.9	33 19.6
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	18 22.0	34 41.5	30 36.6
	男性:60-64歳	90 100	31 34.4	35 38.9	24 26.7
	男性:65-69歳	91 100	44 48.4	30 33.0	17 18.7
	女性:55-59歳	81 100	26 32.1	35 43.2	20 24.7
	女性:60-64歳	79 100	28 35.4	30 38.0	21 26.6
	女性:65-69歳	77 100	24 31.2	37 48.1	16 20.8

Q25: あなたには、孫がいらっしゃいますか? (MA)

		合計	孫はいない	0才-6才 の孫がいる	7才-15 才の孫がい る	16才以上 の孫がいる
全体		500 100	234 46.8	209 41.8	117 23.4	21 4.2
性別	男性	263 100	131 49.8	109 41.4	48 18.3	6 2.3
	女性	237 100	103 43.5	100 42.2	69 29.1	15 6.3
年齢別	55-59歳	163 100	111 68.1	50 30.7	9 5.5	-
	60-64歳	169 100	75 44.4	77 45.6	37 21.9	5 3.0
	65-69歳	168 100	48 28.6	82 48.8	71 42.3	16 9.5
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	63 76.8	17 20.7	4 4.9	-
	男性:60-64歳	90 100	41 45.6	40 44.4	14 15.6	3 3.3
	男性:65-69歳	91 100	27 29.7	52 57.1	30 33.0	3 3.3
	女性:55-59歳	81 100	48 59.3	33 40.7	5 6.2	-
	女性:60-64歳	79 100	34 43.0	37 46.8	23 29.1	2 2.5
	女性:65-69歳	77 100	21 27.3	30 39.0	41 53.2	13 16.9

Q26:ご夫婦の収入源をすべてお知らせください。(MA)

		合計	夫の就労 収入	妻の就労 収入	夫の年金 収入	妻の年金 収入	夫の資産 収入	妻の資産 収入	その他
全体		500 100	292 58.4	169 33.8	315 63.0	185 37.0	112 22.4	55 11.0	21 4.2
性別	男性	263 100	159 60.5	100 38.0	164 62.4	71 27.0	65 24.7	20 7.6	9 3.4
	女性	237 100	133 56.1	69 29.1	151 63.7	114 48.1	47 19.8	35 14.8	12 5.1
年齢別	55-59歳	163 100	143 87.7	83 50.9	29 17.8	9 5.5	32 19.6	18 11.0	8 4.9
	60-64歳	169 100	86 50.9	57 33.7	131 77.5	64 37.9	39 23.1	17 10.1	8 4.7
	65-69歳	168 100	63 37.5	29 17.3	155 92.3	112 66.7	41 24.4	20 11.9	5 3.0
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	77 93.9	45 54.9	5 6.1	3 3.7	19 23.2	5 6.1	3 3.7
	男性:60-64歳	90 100	46 51.1	38 42.2	71 78.9	21 23.3	24 26.7	7 7.8	4 4.4
	男性:65-69歳	91 100	36 39.6	17 18.7	88 96.7	47 51.6	22 24.2	8 8.8	2 2.2
	女性:55-59歳	81 100	66 81.5	38 46.9	24 29.6	6 7.4	13 16.0	13 16.0	5 6.2
	女性:60-64歳	79 100	40 50.6	19 24.1	60 75.9	43 54.4	15 19.0	10 12.7	4 5.1
	女性:65-69歳	77 100	27 35.1	12 15.6	67 87.0	65 84.4	19 24.7	12 15.6	3 3.9

Q27:夫の総年収(SA)(1/2)

		合計	なし	1-50万円 未満	50-100万 円未満	100-200 万円未満	200-300 万円未満	300-400 万円未満	400-500 万円未満	500-600 万円未満	600-700 万円未満	700-800 万円未満	800-900 万円未満	900-1000 万円未満
全体		500 100	7 1.4	4 0.8	9 1.8	26 5.2	90 18.0	100 20.0	68 13.6	31 6.2	38 7.6	40 8.0	22 4.4	17 3.4
性別	男性	263 100	3 1.1	2 0.8	5 1.9	11 4.2	39 14.8	59 22.4	44 16.7	15 5.7	21 8.0	21 8.0	12 4.6	8 3.0
	女性	237 100	4 1.7	2 0.8	4 1.7	15 6.3	51 21.5	41 17.3	24 10.1	16 6.8	17 7.2	19 8.0	10 4.2	9 3.8
年齢別	55-59歳	163 100	3 1.8	1 0.6	2 1.2	3 1.8	16 9.8	18 11.0	20 12.3	8 4.9	20 12.3	23 14.1	12 7.4	11 6.7
	60-64歳	169 100	2 1.2	3 1.8	2 1.2	12 7.1	38 22.5	39 23.1	19 11.2	7 4.1	11 6.5	10 5.9	8 4.7	2 1.2
	65-69歳	168 100	2 1.2	-	5 3.0	11 6.5	36 21.4	43 25.6	29 17.3	16 9.5	7 4.2	7 4.2	2 1.2	4 2.4
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	2 2.4	-	2 2.4	2 2.4	7 8.5	7 8.5	13 15.9	3 3.7	10 12.2	12 14.6	6 7.3	5 6.1
	男性:60-64歳	90 100	1 1.1	2 2.2	-	6 6.7	16 17.8	23 25.6	15 16.7	4 4.4	8 8.9	4 4.4	5 5.6	-
	男性:65-69歳	91 100	-	-	3 3.3	3 3.3	16 17.6	29 31.9	16 17.6	8 8.8	3 3.3	5 5.5	1 1.1	3 3.3
	女性:55-59歳	81 100	1 1.2	1 1.2	-	1 1.2	9 11.1	11 13.6	7 8.6	5 6.2	10 12.3	11 13.6	6 7.4	6 7.4
	女性:60-64歳	79 100	1 1.3	1 1.3	2 2.5	6 7.6	22 27.8	16 20.3	4 5.1	3 3.8	3 3.8	6 7.6	3 3.8	2 2.5
	女性:65-69歳	77 100	2 2.6	-	2 2.6	8 10.4	20 26.0	14 18.2	13 16.9	8 10.4	4 5.2	2 2.6	1 1.3	1 1.3

Q27:夫の総年収(SA)(2/2)

		合計	1000- 1500万円 未満	1500- 2000万円 未満	2000万円 以上	わからない	加重平均 (万円)
全体		500 100	36 7.2	3 0.6	1 0.2	8 1.6	511.43
性別	男性	263 100	18 6.8	-	1 0.4	4 1.5	510.52
	女性	237 100	18 7.6	3 1.3	-	4 1.7	512.45
年齢別	55-59歳	163 100	22 13.5	1 0.6	-	3 1.8	652.97
	60-64歳	169 100	9 5.3	2 1.2	1 0.6	4 2.4	470.76
	65-69歳	168 100	5 3.0	-	-	1 0.6	416.02
性・年齢別	男性:55-59歳	82 100	11 13.4	-	-	2 2.4	640.63
	男性:60-64歳	90 100	4 4.4	-	1 1.1	1 1.1	465.17
	男性:65-69歳	91 100	3 3.3	-	-	1 1.1	439.72
	女性:55-59歳	81 100	11 13.6	1 1.2	-	1 1.2	665.31
	女性:60-64歳	79 100	5 6.3	2 2.5	-	3 3.8	477.30
	女性:65-69歳	77 100	2 2.6	-	-	-	388.31

※ 加重平均は「わからない」を除く

Q28:妻の総年収(SA)(1/2)

		合計	なし	1-50万円未満	50-100万円未満	100-200万円未満	200-300万円未満	300-400万円未満	400-500万円未満	500-600万円未満	600-700万円未満	700-800万円未満	800-900万円未満	900-1000万円未満
全体		500	119	78	137	87	39	13	8	1	5	-	1	3
		100	23.8	15.6	27.4	17.4	7.8	2.6	1.6	0.2	1.0	-	0.2	0.6
性別	男性	263	70	40	67	43	18	8	1	-	5	-	1	1
		100	26.6	15.2	25.5	16.3	6.8	3.0	0.4	-	1.9	-	0.4	0.4
性別	女性	237	49	38	70	44	21	5	7	1	-	-	-	2
		100	20.7	16.0	29.5	18.6	8.9	2.1	3.0	0.4	-	-	-	0.8
年齢別	55-59歳	163	55	19	35	22	9	5	6	1	4	-	-	3
		100	33.7	11.7	21.5	13.5	5.5	3.1	3.7	0.6	2.5	-	-	1.8
	60-64歳	169	41	31	42	29	21	2	-	-	-	-	-	-
		100	24.3	18.3	24.9	17.2	12.4	1.2	-	-	-	-	-	-
年齢別	65-69歳	168	23	28	60	36	9	6	2	-	1	-	1	-
		100	13.7	16.7	35.7	21.4	5.4	3.6	1.2	-	0.6	-	0.6	-
性・年齢別	男性:55-59歳	82	29	5	17	12	6	3	1	-	4	-	-	1
		100	35.4	6.1	20.7	14.6	7.3	3.7	1.2	-	4.9	-	-	1.2
	男性:60-64歳	90	23	13	25	15	10	1	-	-	-	-	-	-
		100	25.6	14.4	27.8	16.7	11.1	1.1	-	-	-	-	-	-
	男性:65-69歳	91	18	22	25	16	2	4	-	-	1	-	1	-
		100	19.8	24.2	27.5	17.6	2.2	4.4	-	-	1.1	-	1.1	-
	女性:55-59歳	81	26	14	18	10	3	2	5	1	-	-	-	2
		100	32.1	17.3	22.2	12.3	3.7	2.5	6.2	1.2	-	-	-	2.5
性・年齢別	女性:60-64歳	79	18	18	17	14	11	1	-	-	-	-	-	-
		100	22.8	22.8	21.5	17.7	13.9	1.3	-	-	-	-	-	-
	女性:65-69歳	77	5	6	35	20	7	2	2	-	-	-	-	-
		100	6.5	7.8	45.5	26.0	9.1	2.6	2.6	-	-	-	-	-

Q28:妻の総年収(SA)(2/2)

		合計	1000-1500万円未満	1500-2000万円未満	2000万円以上	わからない	加重平均(万円)
全体		500	1	-	-	8	105.54
		100	0.2	-	-	1.6	
性別	男性	263	1	-	-	8	104.02
		100	0.4	-	-	3.0	
性別	女性	237	-	-	-	-	107.17
		100	-	-	-	-	
年齢別	55-59歳	163	1	-	-	3	127.19
		100	0.6	-	-	1.8	
	60-64歳	169	-	-	-	3	85.69
		100	-	-	-	1.8	
年齢別	65-69歳	168	-	-	-	2	104.52
		100	-	-	-	1.2	
性・年齢別	男性:55-59歳	82	1	-	-	3	139.24
		100	1.2	-	-	3.7	
	男性:60-64歳	90	-	-	-	3	83.91
		100	-	-	-	3.3	
	男性:65-69歳	91	-	-	-	2	92.42
		100	-	-	-	2.2	
	女性:55-59歳	81	-	-	-	-	115.43
		100	-	-	-	-	
性・年齢別	女性:60-64歳	79	-	-	-	-	87.66
		100	-	-	-	-	
	女性:65-69歳	77	-	-	-	-	118.51
		100	-	-	-	-	

※ 加重平均は「わからない」を除く

Q27+Q28:夫婦年収(加重平均)

		合計	400万円未満	400-700万円未満	700万円以上	加重平均(万円)
全体		497	141	187	169	627.72
		100	28.4	37.6	34.0	
性別	男性	260	66	106	88	624.71
		100	25.4	40.8	33.8	
性別	女性	237	75	81	81	631.01
		100	31.6	34.2	34.2	
年齢別	55-59歳	162	29	41	92	782.56
		100	17.9	25.3	56.8	
	60-64歳	168	61	65	42	565.63
		100	36.3	38.7	25.0	
年齢別	65-69歳	167	51	81	35	539.97
		100	30.5	48.5	21.0	
性・年齢別	男性:55-59歳	81	10	24	47	774.38
		100	12.3	29.6	58.0	
	男性:60-64歳	89	27	41	21	569.38
		100	30.3	46.1	23.6	
	男性:65-69歳	90	29	41	20	544.72
		100	32.2	45.6	22.2	
	女性:55-59歳	81	19	17	45	790.74
		100	23.5	21.0	55.6	
性・年齢別	女性:60-64歳	79	34	24	21	561.39
		100	43.0	30.4	26.6	
	女性:65-69歳	77	22	40	15	534.42
		100	28.6	51.9	19.5	

Q29: 夫名義の金融資産(SA)

		合計	なし	1—200万円未満	200—500万円未満	500—1000万円未満	1000—2000万円未満	2000—3000万円未満	3000—4000万円未満	4000—5000万円未満	5000万円—1億円未満	1億円以上	わからない	加重平均(万円)
全体		500	21	49	64	82	103	70	28	32	18	7	26	1825.53
性別	男性	263	11	22	39	39	47	42	16	15	14	5	13	1996.40
	女性	237	10	27	25	43	56	28	12	17	4	2	13	1634.82
年齢別	55—59歳	163	10	19	23	32	35	18	7	10	—	—	9	1304.87
	60—64歳	169	7	12	19	27	38	22	10	11	7	2	14	1916.77
	65—69歳	168	4	18	22	23	30	30	11	11	11	5	3	2225.76
性・年齢別	男性:55—59歳	82	7	8	16	15	16	10	2	3	—	—	5	1131.82
	男性:60—64歳	90	3	6	10	11	19	14	6	6	7	2	6	2337.50
	男性:65—69歳	91	1	8	13	13	12	18	8	6	7	3	2	2422.47
	女性:55—59歳	81	3	11	7	17	19	8	5	7	—	—	4	1477.92
	女性:60—64歳	79	4	6	9	16	19	8	4	5	—	—	8	1419.01
	女性:65—69歳	77	3	10	9	10	18	12	3	5	4	2	1	1995.39
	合計	100	3.9	13.0	11.7	13.0	23.4	15.6	3.9	6.5	5.2	2.6	1.3	

※ 加重平均は「わからない」を除く

Q30: 妻名義の金融資産(SA)

		合計	なし	1—200万円未満	200—500万円未満	500—1000万円未満	1000—2000万円未満	2000—3000万円未満	3000—4000万円未満	4000—5000万円未満	5000万円—1億円未満	1億円以上	わからない	加重平均(万円)
全体		500	56	97	116	94	66	23	13	1	3	1	30	765.53
性別	男性	263	28	52	59	50	32	8	6	—	2	—	26	706.12
	女性	237	28	45	57	44	34	15	7	1	1	1	4	825.97
年齢別	55—59歳	163	23	26	40	30	20	6	3	—	—	1	14	702.01
	60—64歳	169	22	37	29	39	22	6	2	—	1	—	11	668.35
	65—69歳	168	11	34	47	25	24	11	8	1	2	—	5	917.79
性・年齢別	男性:55—59歳	82	10	14	22	13	6	2	2	—	—	—	13	577.54
	男性:60—64歳	90	14	19	13	20	12	3	—	—	1	—	8	664.02
	男性:65—69歳	91	4	19	24	17	14	3	4	—	1	—	5	849.42
	女性:55—59歳	81	13	12	18	17	14	4	1	—	—	1	1	809.38
	女性:60—64歳	79	8	18	16	19	10	3	2	—	—	—	3	673.03
	女性:65—69歳	77	7	15	23	8	10	8	4	1	1	—	—	994.16
	合計	100	9.1	19.5	29.9	10.4	13.0	10.4	5.2	1.3	1.3	—	—	

※ 加重平均は「わからない」を除く

Q29+Q30: 夫婦総資産(加重平均)

		合計	1000万円未満	1000—3000万円未満	3000万円以上	加重平均(万円)
全体		483	151	175	157	2692.55
性別	男性	250	79	87	84	2777.40
	女性	233	72	88	73	2601.50
年齢別	55—59歳	157	59	58	40	2149.04
	60—64歳	160	48	59	53	2675.94
	65—69歳	166	44	58	64	3222.59
性・年齢別	男性:55—59歳	77	34	30	13	1826.62
	男性:60—64歳	84	23	27	34	3064.29
	男性:65—69歳	89	22	30	37	3329.21
	女性:55—59歳	80	25	28	27	2459.38
	女性:60—64歳	76	25	32	19	2246.71
	女性:65—69歳	77	22	28	27	3099.35
	合計	100	28.6	36.4	35.1	

Q2:あなたにとって「日常を豊かにする」とは具体的にはどのようなことを指していますか?その他自由回答

男性	冷暖房費を無理にしまつしない。(60-64才) 元気で居るうちは仕事をする。(60-64才) 家族と楽しむこと。(65-69才) 物を作ること。(65-69才) 借金の返済。(65-69才) 新しいことに挑戦する。例えば「新製品の開発」など。実現出来なくても勉強するので楽しい。と同時に「日常を豊かにする」に繋がる。(65-69才) インターネットで株取引。(65-69才) いろいろな物を作ること。(65-69才)
女性	どれも大切なことだと思います。自分の背丈に合った生活をするためのものだと思いますから。(55-59才) 知識を深める。資格・検定に挑戦する。(55-59才) 親孝行。(65-69才) 何か興味のあることを勉強するのも、豊かな日常になると思います。(65-69才)

Q6:あなたにとって「こそぞ」というときはどんな時ですか?その他自由回答

男性	人生を左右する時(男性:55-59才) 人が困る事に手助けしたい。(男性:60-64才) その時の気分で(男性:60-64才) よくわからない(男性:60-64才) 1年に1,2回定期的にイベントを作る。(男性:65-69才)
女性	自宅の買い替え(女性:55-59才) 思い浮かばないがここにはない(女性:55-59才) 私にとって「こそぞ」という時に決まりは無い。その時の判断だと思う。(女性:55-59才) 苦境に陥った人を助けたい(女性:65-69才)

Q7:この5年間で、あなたがもっとも「こそぞ」と思って、お金を使ったことをひとつだけ選んでお知らせください。その他自由回答

男性	自営の為の出費(60-64才) 愛犬の病氣(60-64才) 事業の再建。(60-64才) 住宅建築用の土地購入。(60-64才) 子供との旅行(65-69才) 自分がオーナーの企業の閉鎖(65-69才)
女性	墓(60-64才)

Q9:この5年間であなたがもっとも「こそぞ」と思って、お金を使った時の資金源は?その他自由回答

男性	退職金(55-59才) 保険金の解約(55-59才) 退職金(60-64才) 株式売却益(60-64才) 退職金(60-64才) 生命保険の取り崩し、ゴルフ会員権の売却、趣味のコレクション売却、株式の売却、不動産の売却。(60-64才) 子供からのプレゼント(65-69才)
女性	マンションの売却(55-59才) 退職金の中から(55-59才) 持ち家を売った(55-59才) 夫の退職金(60-64才) 退職金(60-64才) 息子が出してくれた(60-64才) 保険金(60-64才) 夫名義のMMF(65-69才) 親からの贈与(相続時精算課税制度)(65-69才) 退職金(65-69才)

Q10:そのとき、その支出についてどなたかと相談なさいましたか。どなたとでしょうか?その他自由回答

女性	親(65-69才) 趣味仲間(65-69才)
----	---------------------------

Q11:ところで、家庭によって財布の管理の仕方は異なります。あなたの家庭のお財布の管理は次のうち、どれに当てはまりますか?その他自由回答

男性	月々の給与は妻が管理、その他の収入は自分が管理(55-59才) 妻の収入をベースに、夫名義の預金を切りくずして家計を維持している。家計の総体は概して妻がリードしているかな?(55-59才) 給料、ボーナス共締め決め後は妻に任ず。(55-59才) 妻と二人で管理する。(60-64才) 1に近いが小遣いはもらわない。臨時収入でまかなう(65-69才) 夫婦とも全ての収入を出し合って、話し合いのうえ翌月の支出額を決める。(65-69才) 日常的な支出は妻が管理し、小遣いは大枠を決め、その他の使い道は双方相談して。(65-69才)
女性	ほぼ3だが残りのお金は妻が管理する(55-59才) 毎月の収入は全部妻が管理し、夫にこづかいを渡している。株や預貯金等大金は夫が管理していて、多額の出費は夫からもらう。(60-64才) それぞれの通帳から引いて生活している。(60-64才)

Q12: 収入への考え方についておたずねします。自分の収入や配偶者の収入は、誰のものと思われるか？ その他自由回答

男性	妻に収入なし (55-59才)
女性	妻の収入はありません (55-59才) 必要なお金は夫が出し妻の収入も出し合う。(65-69才)

Q13: A「夫は夫名義の資産を自由に使えるでしょうか？」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。その他自由回答

男性	信頼関係 (55-59才) 些細なことは報告しないが、ある程度の金額については、お互い相談する。(65-69才) 夫婦どちらの名義でも「夫婦の財産」としているため必ず相談する。(65-69才)
女性	妻である私はお金は管理している(夫の意向)ので夫は全く感知しない。必要に応じて要求されれば100%出すので問題は無い。(55-59才) 夫名義でも自由に使えるものとうでないものがある。(60-64才) 配偶者ですから回答できません (60-64才)

Q14: Q13の回答理由

1: 自由に使えるし、妻に事後報告も必要ない

男性	(男性 55-59才) 家の長で有るので (男性 55-59才) 結婚したときからそうでした。 (男性 55-59才) 今のところ生活に余裕がある。 (男性 55-59才) 自然の流れで (男性 55-59才) 自分がためたものだから (男性 55-59才) 自分が稼いだものだから ある一定の金がまでならかわらないと思う。 (男性 55-59才) 自分で貯めたお金ののでどう使おうと自由。 (男性 55-59才) 自分の働いた金 (男性 55-59才) 自分自身で貯めたものだから (男性 55-59才) 特段の理由はない。結婚以来、ずっとそんな感じできている。 (男性 55-59才) 法律上は、夫婦別財産制なので。 (男性 60-64才) つい最近までお金の管理はすべて自分がしていたから。 (男性 60-64才) 我が儘勝手 (男性 60-64才) 現実にはそうしてきている (男性 60-64才) 最初から夫婦で全くの別会計で暮らしている。 (男性 60-64才) 資産総額を伝えていない。 (男性 60-64才) 自分で稼いだ金は自分の物で妻に相談する事は無い (男性 60-64才) 自分で貯めた預金だから。 (男性 60-64才) 自分の金だから。 (男性 60-64才) 生活費は妻に渡しており、収入の残りは夫の自由。 (男性 60-64才) 相談で巧く行く事はばかりではない。 (男性 65-69才) その処分等は名義人の権利である。 (男性 65-69才) 以前からお互いに了解済みで過ごしている。 (男性 65-69才) 結婚以来そのような習慣になっている (男性 65-69才) 妻とは別居中だから (男性 65-69才) 妻などに、金銭など、心配させていないから。 (男性 65-69才) 自分の名義のものは妻に相談する必要はない逆も又然り (男性 65-69才) 収入の大部分は妻が管理しているので、夫の個人的資産は自由に使える。 (男性 65-69才) 年金生活なので、総額は妻も知っている。 (男性 65-69才) 夫のものは夫のもの、妻のものは妻のもの。 (男性 65-69才) 夫の資産は夫のものだから
----	--

Q14: Q13の回答理由

1: 自由に使えるし、妻に事後報告も必要ない

女性	(女性 55-59才) お互いに収入があるので、干渉はしない。 (女性 55-59才) 家計費の口座と、夫の自由にできる口座を別にしているので、その分は自由に使える。 (女性 55-59才) 現在そうしているので (女性 55-59才) 自分は夫ではなく妻なので答えようが無いが、結婚したときからそうだった。 (女性 55-59才) 主人と私は、それぞれお金の管理が違うから (女性 55-59才) 夫名義の資産は夫の自由 (女性 55-59才) 無駄使いをしないと信じている。 (女性 60-64才) ただし、生活費をきちんと渡していること。 (女性 60-64才) 自分(妻)も自由に使っているから。 (女性 60-64才) 自分で稼いだお金だから (女性 60-64才) 主人も私もお互いに年金収入があるので振込み用の通帳をお互いに持って、基本生活費は話し合いで決めた定額を、共同の別通帳に入れて残りは自由に使えるようにしている。 (女性 60-64才) 年金は、総て自由に使っている。一切自分には関係していない。 (女性 60-64才) 夫のものだから (女性 60-64才) 夫の資産は夫婦の物ですが、夫が自由に使うことに反対はしません。というのは、夫は無駄使いはしないし、無茶なことはしたことがないので。 (女性 60-64才) 夫婦の信頼から (女性 60-64才) 夫名義の資産は夫が管理している。 (女性 60-64才) 毎月の給料から家計用と夫用に振り分け振り込み手続きをしている。夫名義の口座内容に干渉していない。 (女性 65-69才) お互いに予算内で自由に使っている (女性 65-69才) 家はなんでも二人で相談してするので、妻が反対も賛成もない。 (女性 65-69才) 自分のお金だから (女性 65-69才) 自分名義の預貯金は自由に使用できる取り決めになっている。 (女性 65-69才) 年金生活なので、退職後は貯金は主人に全部渡し、私は2人の年金 株の配当金、個人年金をもらい自由に干渉しないようにしています。 (女性 65-69才) 必要なお金は引き出さないと信じているし、一緒に生活していれば何にお金が必要か位は判る。
----	--

Q14:Q13の回答理由

2:自由に使えるが、妻に事後報告が必要

男性	(男性 55-59才)	お金の事はきちんとしたいので
	(男性 55-59才)	そう思うから。
	(男性 55-59才)	家庭円満な為
	(男性 55-59才)	家庭生活をしている以上、名義がどちらかであっても配偶者は当然その生活に欠かせない存在になっているはずなので。
	(男性 55-59才)	結婚生活をしているから当然。
	(男性 55-59才)	妻には報告することが必要
	(男性 55-59才)	資産は共有と思っている
	(男性 55-59才)	資産は夫婦二人の物です。
	(男性 55-59才)	自分で働いて稼いだお金のうち、自分のこずかい分を貯めていたお金だから。
	(男性 55-59才)	自分のもの
	(男性 55-59才)	自分名義の預金は何に使おうと自由なので
	(男性 55-59才)	常識。
	(男性 55-59才)	信頼が必要だから
(男性 55-59才)	二人の財産だから	

Q14:Q13の回答理由

2:自由に使えるが、妻に事後報告が必要

男性	(男性 60-64才)	パソコンソフト等の購入はカード決済が手続的に簡単になっているケースが多く、個人の趣味だけだと生活費から勝手に使うことが多い。
	(男性 60-64才)	ほとんどが自分の収入
	(男性 60-64才)	やはり夫婦なので妻に相談する。
	(男性 60-64才)	以前から管理しているしこれからも同じ
	(男性 60-64才)	何事も報告しあっている
	(男性 60-64才)	家庭は夫婦共同で成り立つもの、共に苦労は分かち合ってきたのだから、そう言うことも話し合うのが当然だと思います。
	(男性 60-64才)	協有財産であるから
	(男性 60-64才)	妻にも知ってほしい
	(男性 60-64才)	資産管理については夫婦で相談することがベスト
	(男性 60-64才)	自分のお金は自由に使える。
	(男性 60-64才)	生活共同体だから、収入は一家のものでたとえ分配してからの使い方も一応報告すべきと思う。
	(男性 60-64才)	大きい金額の場合、報告が必要。
	(男性 60-64才)	夫は家庭の主人として全責任があり、妻の経済も背負っている。夫の財産は妻と共有するものである。小銭は別として、全財産の管理責任は夫婦のものである。
	(男性 60-64才)	夫婦間の信頼関係を保つ為
	(男性 60-64才)	夫婦互いに自己財産を持っているので、その範囲内で使用目的がリーズナブルなら一応勝手に使用可能と考えている。
	(男性 65-69才)	ローンがあるから。
	(男性 65-69才)	家庭円満にするにはこれが一番です。
	(男性 65-69才)	家庭円満のため。
	(男性 65-69才)	私の収入
	(男性 65-69才)	資産運用は夫の仕事
	(男性 65-69才)	自分の金は自由に使いたい
	(男性 65-69才)	収入は、すべて家族の共同財産だと考える。
	(男性 65-69才)	勝手にはいかないだろう
(男性 65-69才)	相手の意思を尊重する。	
(男性 65-69才)	配偶者と生活が一緒だから。	
(男性 65-69才)	夫婦である以上黙って使うともめる素	
(男性 65-69才)	夫名義の資産でも、妻もいざと言う時の当てにしているだろうから。	
(男性 65-69才)	夫名義の資産でも、配偶者にはそれなりの権利がある。	
(男性 65-69才)	黙っているのは心苦しい	
(男性 65-69才)	両者で話し合うのが筋	
女性	(女性 55-59才)	各自自分のお金であれば中に使っても良いと思うし妻にはある程度報告は欲しい。
	(女性 55-59才)	結婚してからは、夫名義でも夫婦共有の財産だと思うから。
	(女性 55-59才)	現実がそうであるから
	(女性 55-59才)	妻も知る権利があると思う。
	(女性 55-59才)	使う事には信用しているし、心配はしていない。
	(女性 55-59才)	自由に使っても良いが、郵便物や電話などの問い合わせなどにわからないことに対応が出来ないと困るので、事後承認をするようにしている。
	(女性 55-59才)	夫が働いて作った夫の資産は夫が自由に使っても良いが管理している妻には報告してほしい
	(女性 55-59才)	夫が働いて得たものだから
	(女性 55-59才)	報告がないとあとで妻が困るから
	(女性 60-64才)	それぞれのお金の使い方について余り干渉しない
(女性 60-64才)	一応は、お互い報告するようにしている。	
(女性 60-64才)	金額が大きいときは一応知りたいです。	

Q14:Q13の回答理由

2:自由に使えるが、妻に事後報告が必要

女性	(女性 60-64才)	好きに使っているが、何でも報告というわけではないが、話してしまうので
	(女性 60-64才)	妻が管理することがいいと思うから。
	(女性 60-64才)	使用しても何も言わないけど一応報告はします
	(女性 60-64才)	自分自身の資産だから自由に使って良いと思うし、妻に報告をしてくれれば良いと思う。
	(女性 60-64才)	主人名義の資産は夫婦共有のもので勝手に使うことはお互いの信頼関係が薄れる
	(女性 60-64才)	専業主婦であるので強いえないが、一応報告してもらいたい。
	(女性 60-64才)	知っていたい。
	(女性 65-69才)	我が家は、夫がしっかりしているので、夫に任せている。
	(女性 65-69才)	お互いある程度のお金はもっている。
	(女性 65-69才)	共同財産だから
	(女性 65-69才)	財産は夫婦で共有するものであり何かトラブルがあったとき事前にお金の使い道をきいていけば対処できる
	(女性 65-69才)	自分の資産だから使うのが当然です。
	(女性 65-69才)	主人のものは主人のものだが大きなものを買ったら相談報告すべきと思う
	(女性 65-69才)	少し大きな物を購入する時は必ず話合ってから購入する。
	(女性 65-69才)	長年暮らしてきてそういうスタイルになった
	(女性 65-69才)	夫が家計を管理しているので、信用していますので使っても無茶なことをしないと安心しています。
	(女性 65-69才)	夫が在職中は夫が働き妻は専業主婦として家計の管理をしていた。妻は収入がなかった。
	(女性 65-69才)	夫にプライドと自信と責任を持っていて欲しいから。
(女性 65-69才)	夫のものであれば自由に使ってかまわないが、夫婦として、夫婦の関係を円滑にするためにも、きちんと報告してほしい。家庭内にお互いの分らない部分があるのは良くない。	
(女性 65-69才)	夫の物は原則的には夫の物である。その中からたまたま夫婦にとっての生活費をだして貰っているが、だからこそ妻に報告してほしい。だからとってそのことに対して口出しはしない。	
(女性 65-69才)	夫婦の決め事	
(女性 65-69才)	法的に婚姻前の資産などは別なのでは？	

Q14:Q13の回答理由

3:妻と相談すれば、妻が反対しても使うことができる

男性	(男性 55-59才)	お互い相手を尊重している
	(男性 55-59才)	基本的には自分に自由にする権利はあると思うが、一緒に苦労して貯めた資産はできれば相談しあって決めて行きたい。が、どうしても使いたい時はそうする。
	(男性 55-59才)	結婚後の財産は夫婦共有という考えもあるが、うちではそれぞれの名義にははっきり分けている。従って、基本的にはそれぞれの名義の財産はそれぞれの判断で使えることになっている。ただ、金額の大きいものについては一応お互いに相談する。その場合も、最終的な決定権限は名義人にある。
	(男性 55-59才)	高額は相談する。一緒に生活しているので当然
	(男性 55-59才)	先ず自分自身に必要なものであり、家族に戻ると考えている。
	(男性 55-59才)	大半が自分の収入であり、使う用途も間違っていない
	(男性 55-59才)	日常の生活費は共同であるが、こその金は自分が稼いだ金なので最後の決定権は稼いだ人間にある。妻のパートの金は干渉していない。
	(男性 55-59才)	必要と思われるものは当然という考え方です。
	(男性 55-59才)	夫婦別収入があれば、妻に関係なく、どうしてもやりたいことはやる。
	(男性 60-64才)	意見の相違はある。夫が責任を持って、家族のために判断する。
	(男性 60-64才)	感謝料など考えると相談せざるを得ない。
	(男性 60-64才)	一応相談するが、結局は夫の意見がとある。

Q14:Q13の回答理由

3:妻と相談すれば、妻が反対しても使うことができる

男性	(男性 60-64才)	何事においても夫婦で相談して使うようになっているが、一義的には夫の自由である。
	(男性 60-64才)	基本的には妻の賛成が必要だが、時には賛成が得られなくても使わざるを得ない場合があるから、。
	(男性 60-64才)	強引に自分の自由にしようという意味ではありません。良く話し合っ、妻の理解を得る努力を払うのは当然のことです。
	(男性 60-64才)	妻に意見は聞か、最終的に夫が決める。
	(男性 60-64才)	資産については夫、妻、子供に分割しているから
	(男性 60-64才)	自然とそうなった
	(男性 60-64才)	自分が稼いだ金である
	(男性 60-64才)	自分が稼ぎ自分名義で貯めているので
	(男性 60-64才)	収入は全て夫の所得でボーナスや退職金は夫婦それぞれの名義とし、それらの運用、支出は夫が主体的に行うこととしている。
	(男性 60-64才)	相手に相談した以上、あとは考え方の違いだから。
	(男性 60-64才)	相手に相談すれば、あとは考え方の違いだから。
	(男性 60-64才)	当然の事。
	(男性 60-64才)	二人で爪に灯をともす思いで貯めた資産であるから、使うときは当然妻に相談すべきである。が、同意を得られなかったとしても主導権を握っている私の考えは、殆ど変えることはない、度々失敗は味わっているが。
	(男性 60-64才)	夫婦同等の精神。
	(男性 65-69才)	これまでその様にしてきた。
	(男性 65-69才)	とりあえずは全て話し合う。隠し事はしない。
	(男性 65-69才)	何事も信用しているから
	(男性 65-69才)	家庭の問題に関しては夫が最終責任を負うことになるので。
	(男性 65-69才)	個人の決断権がある。
	(男性 65-69才)	妻には退職金を半分やっているので、後は自分の自由に使いたい。
(男性 65-69才)	妻の資産には夫は一切関与しない。夫名義の資産はおおむね夫の関係で得られたものが多く夫が使用を決めやすい。	
(男性 65-69才)	私の資産、妻の資産等とあまりこだわっていない。前向きな使用であれば妻は不快感を表さないし、嫌な顔をする様な事は無い。	
(男性 65-69才)	夫が今まで働いて築いたものだから、夫の出来るだけ意思どおりにして上げたい。	
(男性 65-69才)	特別に意味はないが最後には理解してくれると思う。今までもそうであった。	
(男性 65-69才)	年をとればお互いに考えあう	
(男性 65-69才)	老後の資金管理は夫がしているから	
女性	(女性 55-59才)	「反対すれば使えない」のであれば、勤労意欲が失せるはず。となればそうした選択はしないのが賢明でしょう。
	(女性 55-59才)	なんど行っても主人が働いて得た物だから
	(女性 55-59才)	共有部分以外は干渉しない。今までの相手の多額の支出は車くらいなので別に問題はないようです。
	(女性 55-59才)	旦那が働いたお金だからしかたがないと思う
	(女性 55-59才)	夫が今まで働いて築いたものだから、夫の出来るだけ意思どおりにして上げたい。
	(女性 55-59才)	夫のものは、夫が自由に使えるのが基本的な考え方です。しかし内緒にする必要は無く同じ家庭内では話題にして当然と思う。どうしても夫が欲しい物への支出は 例え妻が反対であっても夫の考えで使えようと思う。
	(女性 55-59才)	夫名義の預金通帳は、夫婦の共通のものなので勝手に使う事が出来ません。
	(女性 55-59才)	法律に従うようになってきていると思う
	(女性 60-64才)	お互いが常識を超えない程度の額なら好きに使うことに了解している。ただし隠さない事が条件。
	(女性 60-64才)	これまでがそうだったから。
	(女性 60-64才)	何度となく話し合っているから。
	(女性 60-64才)	我が家の流儀だから。
(女性 60-64才)	資産の半分は夫のものだから	
(女性 60-64才)	相談だけは必要	

Q14:Q13の回答理由

3:妻と相談すれば、妻が反対しても使うことが出来る

女性	(女性 60-64才)	孫が生まれた時まとめてベビーカー。歩行器 バット と買ってしまっただけから全部お金を出したと後から聞きました。
	(女性 60-64才)	夫が働いたお金なので・・・
	(女性 60-64才)	夫は私に相談なくとも自由に使い又 使ったから困ると言うことも無いため安心して居られる・・・かな！。
	(女性 60-64才)	夫婦は2人で一人みたいなところがあるので。金額にもよるが相談は必要
	(女性 60-64才)	夫婦は共同で家庭を運営する
	(女性 65-69才)	そういう関係です。
	(女性 65-69才)	個人のいしは尊重するが自分勝手は嫌。
	(女性 65-69才)	最終的な決定権は自分にあるから。
	(女性 65-69才)	実際に、反対したが使った。
	(女性 65-69才)	特に不自由してないので
	(女性 65-69才)	夫の資産なので
	(女性 65-69才)	夫婦である以上、共有財産になると思う。
	(女性 65-69才)	夫名義のものは、夫が管理しているものですから。でも、相談はすべきだと思います。
	(女性 65-69才)	毎日の生活費など生計にかかわる経費は夫の収入でまかなうものというのが基本的な考えかたです 収入の全部を負かされていけば違うことになるとおもいます

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 55-59才)	いつも夫婦で相談して使うから
	(男性 55-59才)	この生活は二人で始まり二人で支えあってきたものだから。
	(男性 55-59才)	すべて家内に明かせてあるので
	(男性 55-59才)	そうだと思う・そうして来た
	(男性 55-59才)	そのほうが夫婦円満にいく
	(男性 55-59才)	それが夫婦ですよ。
	(男性 55-59才)	そんなものではないでしょうか。
	(男性 55-59才)	どちらにしろ夫婦のお金。
	(男性 55-59才)	やはり 管理は妻 運営は夫婦となると 夫一人では、判断は難しい
	(男性 55-59才)	一応は了承を得ることが後でもめない為必要。
	(男性 55-59才)	一緒に生活し人生を作り上げてゆくものだから。
	(男性 55-59才)	家庭が大事
	(男性 55-59才)	家庭円満の秘訣かな?それと家族の対話、
	(男性 55-59才)	家庭円満の秘訣です
	(男性 55-59才)	稼いだのは自分でも、残して貯めたのは妻だから
	(男性 55-59才)	我が家ではそういうふうになっている。
	(男性 55-59才)	共同財産なので相談しながら使う
	(男性 55-59才)	共同生活だから
(男性 55-59才)	協力しあって家庭を運営しているので	
(男性 55-59才)	結婚以来、常に二人とも勤める共稼ぎで、預貯金等を行ってきているため。	
(男性 55-59才)	個人的な使用でないから	
(男性 55-59才)	妻の意見を反映させることは、夫婦にとって当然のこと。	
(男性 55-59才)	財産は家族全体のもの	

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 55-59才)	財産は夫婦で作った物だから！
	(男性 55-59才)	使うことが家計に影響するので。
	(男性 55-59才)	収入はすべて渡してあるので運用はまかせてあるから。
	(男性 55-59才)	人生を共にしている女房殿と一緒に作ったものだから名義は自分でも)お互いに納得のゆくもので人生を進めたいと思っています。
	(男性 55-59才)	全く普通の考え方だと思う。この逆でも同じ事だと思う。
	(男性 55-59才)	相談したほうが丸く収まる
	(男性 55-59才)	貯金は夫婦共通の財産だから
	(男性 55-59才)	納得感が一番あると思うから。
	(男性 55-59才)	夫婦だから
	(男性 55-59才)	夫婦で築いてきたものを名義が夫だからといって、自分勝手ではいけないと思う
	(男性 55-59才)	夫婦と言えども元々は個人の存在であり、相手の意思を無視して権利の行使をしてはいけないと思う。伴侶として選択した上は、大事であればあるほど相談して決めることが必要だと思う。
	(男性 55-59才)	夫婦の理解が必要
	(男性 55-59才)	夫婦は一つだから
	(男性 55-59才)	夫婦は共同体
	(男性 55-59才)	夫名義でも二人で築いた財産なので
	(男性 55-59才)	夫名義といえども夫婦の財産であるから
	(男性 55-59才)	普段からそうしているから
	(男性 55-59才)	預金は夫婦の共同財産だから。
	(男性 55-59才)	預貯金は個人名義でも家族全体で使うものと思っている。
	(男性 60-64才)	2人協同で蓄えた資産であるため
	(男性 60-64才)	お金のことは妻に任せれば良かったが、大きな支出の際には夫婦で必ず相談する。
	(男性 60-64才)	お金の心配をしなくてもよいから
	(男性 60-64才)	すべて夫婦のために使うため
	(男性 60-64才)	そういう習慣の様です。
	(男性 60-64才)	そのとうだから
	(男性 60-64才)	その方が家庭円満だし、妻の方が資産の管理に優れているように思うから
	(男性 60-64才)	やはり一家の財産は共有するのが当然と思う
	(男性 60-64才)	一応 共有財産であると認識
	(男性 60-64才)	何をしても共同責任
	(男性 60-64才)	何事も妻と相談する方針だから。
	(男性 60-64才)	家庭の貯蓄は、夫婦の共有財産と考えているから。
	(男性 60-64才)	共有のものと考えている。
	(男性 60-64才)	共有ゆえ
	(男性 60-64才)	共有財産になる為
	(男性 60-64才)	経済的に苦しいときにはお互いの収入で助け合ってきたから、自分名義の財産でも、相談する
	(男性 60-64才)	結婚以来の習慣。
	(男性 60-64才)	結婚当初からそうだから
	(男性 60-64才)	妻も協力している
	(男性 60-64才)	財産は一人ものものではない
	(男性 60-64才)	資産が夫婦共通の物だから互いに相談して使用する。
(男性 60-64才)	事実その通り	

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 60-64才)	自分だけの権利ではない
	(男性 60-64才)	自分で自由に使えるが、夫婦であるから相談する。
	(男性 60-64才)	自分名義のものであってもいずれは妻のものになるかもしれないし、お互いの将来を考えてみても、ある意味では共有と考えている。
	(男性 60-64才)	全て2人の共同財産だから
	(男性 60-64才)	相談して使うのは当然
	(男性 60-64才)	大きな買い物は何でも夫婦間で相談している
	(男性 60-64才)	通帳・キャッシュカード等はすべて妻が管理している。
	(男性 60-64才)	当然のこと
	(男性 60-64才)	配偶者に話をして方針を決めるのは当然だと思います。
	(男性 60-64才)	夫の貯金とはいえ夫婦の共有財産であると思う。
	(男性 60-64才)	夫婦のどちらかが稼いだとはいえない
	(男性 60-64才)	夫婦の資産は名義は別でも共有のものです。この資産ではないと思っています。相互に相続遺産も持っていますが、それでも共有のものと思っています。
	(男性 60-64才)	夫婦は両性で成り立ち、資産は全て共有するもので、独自の使途は不可
	(男性 60-64才)	夫婦一体
	(男性 60-64才)	夫婦夫婦二人のお金だから
	(男性 60-64才)	夫名義でも家族みなのもので買ってには使わない
	(男性 60-64才)	名義がどうあれ、夫婦が努力してためている資産だから。また同意を得られない使い道は、避けたほうが良い。
	(男性 65-69才)	お金の管理は大体で把握し、実際の細かい部分は妻に任せているから・・・
	(男性 65-69才)	お互いの賛成が必要と思う
	(男性 65-69才)	お互いの生活維持のため夫婦の合意協力が重要
	(男性 65-69才)	それ程の資産がないため
	(男性 65-69才)	一緒に生活しているのですから当然でしょう
	(男性 65-69才)	家計全体が狂わないためにそうしている
	(男性 65-69才)	家族共有のものはお互い相談しあって使う。反対を押し切ってまでつかうのはよろしくないと思います。
	(男性 65-69才)	我が家の家計の一元管理は、妻にゆだねているので、その判断を尊重することにしている。
	(男性 65-69才)	共同財産だから
	(男性 65-69才)	共有資産
	(男性 65-69才)	結婚後の夫婦の収入は二人の共有のものであり、支出には両者の了解が要る。
	(男性 65-69才)	後でもめたくないから
	(男性 65-69才)	妻と事前に相談し決めるとスムーズに事が進められる。
	(男性 65-69才)	妻ひとりの判断にゆだねたほうが、限られた資金が統一的かつ効率的に使えと思うから。
	(男性 65-69才)	財産は夫婦の共有である。
	(男性 65-69才)	財産は夫婦共有のもの
(男性 65-69才)	残りの人生をこれまでの「命ぜられた」という規制された生活だけはしたくない。「命ぜられた」サラマン人生は60歳で終わったのです。	
(男性 65-69才)	自分で管理していないので、いざという時も妻に相談しなければならぬ。自分では資産をよく把握していない。	
(男性 65-69才)	実際そうだから	
(男性 65-69才)	主としてお金の管理は配偶者がしているから。	
(男性 65-69才)	収入は、夫婦共有で、支出も相談する	
(男性 65-69才)	収入はどちらのものであっても合計して一家のものとするから。	
(男性 65-69才)	将来の老後資金の減少を配偶者は心配しているため、相談して賛成を得るようにしている。	
(男性 65-69才)	常に妻と共に生活している	
(男性 65-69才)	全ては合議の上で支出。	

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 65-69才)	独断で大きな買い物はしない。
	(男性 65-69才)	年金生活なので、妻に相談しながら、お互いが納得して使っている。
	(男性 65-69才)	必要な資金の支出は、たとえ夫名義の預貯金でも夫婦共有と考えている
	(男性 65-69才)	夫は自分のために使っているが、妻が普段協力しているから、妻の意見も尊重する。
	(男性 65-69才)	夫も妻もそれぞれの収入であるが、お互いに助け合っている収入と考える。よって、共有と考える。
	(男性 65-69才)	夫婦間で協議すれば良いのでは
	(男性 65-69才)	夫婦であるからには全てが共同財産である。
	(男性 65-69才)	夫婦で築いてきた家だから。
	(男性 65-69才)	夫婦の資産は共同のものと思うから
	(男性 65-69才)	夫婦の連帯感が一番
	(男性 65-69才)	夫婦は50:50だから当然のこと。
	(男性 65-69才)	夫婦は運命共同体であり財産の共同管理者である
	(男性 65-69才)	夫婦二人のものだから。
	(男性 65-69才)	夫婦二人の共有財産だから
	(男性 65-69才)	名義はどのようであれ財産は夫婦共有のもの
(男性 65-69才)	矢張り基本的には家計は妻が管理すべきだと思う。但し、妻は常に夫と相談して管理すべきで独断的な管理は許されない。	
(男性 65-69才)	約40年間苦勞をともにして築き上げた家庭にあつて名義上は夫の名前や妻の名前のものがあつても、実質的には夫婦二人のものだという理解をしているので、どちらもお互いの賛成の上の使用が望ましいと思う。	
(男性 65-69才)	老人世帯で2人でためた金だから。	
女性	(女性 55-59才)	いざと言う時の為のものなので必要と見とめた時に使う
	(女性 55-59才)	お金の管理は妻がしているので夫は相談しないどこから支出していいかわからないから。
	(女性 55-59才)	お互いの同意があれば使えることになっているから
	(女性 55-59才)	たとえ夫名義の預貯金であっても、家計全般に拘るものは、妻との共同資金と考える。
	(女性 55-59才)	もともと二人が働いた分は二人の物だから一定以上の金額のものは互いに相談しないとけない。
	(女性 55-59才)	一応夫名義、妻名義にはなっているが、どちらも夫婦共同で築いた共同財産だから。
	(女性 55-59才)	何事も夫婦で相談してやってきたので
	(女性 55-59才)	家計は一切妻に管理させていて信頼している。
	(女性 55-59才)	家計は主婦が握っています。
	(女性 55-59才)	家族だから
	(女性 55-59才)	我が家ではすべての事は相談のうえです
	(女性 55-59才)	我が家は、収入が夫だけなので、お金の使い道は夫婦で相談して決めるのが良いと思うから。
	(女性 55-59才)	妻が管理しているから
	(女性 55-59才)	妻が管理しているから
	(女性 55-59才)	妻が管理しているのだから、必要な時は妻が出す
(女性 55-59才)	妻が管理しているのだからいくらか知らない。	
(女性 55-59才)	妻のやりくりでできたお金だから	
(女性 55-59才)	財産はすべて夫婦のものと思うから	
(女性 55-59才)	財産は全て二人の物だと思うから、大きな支出は相談の上使う事が当然だと思う。	
(女性 55-59才)	資産名義は夫だが、妻の協力あつての生活だと思うから。但し、普段の嗜好品や、本購入などの低額の物は、夫が自由に使っています。	
(女性 55-59才)	大金を使うには夫婦双方の理解と承諾は必要だと言う考えのもとに協力して暮らしてきたので今後もそうするつもり。	
(女性 55-59才)	大事な時は必ず相談する	
(女性 55-59才)	大体言ってきたらだす	

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

	(女性 55-59才) 二人が働いて得たものだから
	(女性 55-59才) 夫が自由に使う夫名義の資産がある。株や自分が欲しい電気器具やPC器具などに利用している模様。その他に夫名義の定期貯金等は妻が管理している。夫の自由にできる部分があるので、夫も満足している。その他の部分は実質的に共有財産として生活資金、疾病時の準備資金と考えているので、二人で相談しなければ使用しない。妻も自分で株や趣味やその他の支出に自由になる資産を持っている。
	(女性 55-59才) 夫の資産といえども夫婦で貯蓄したのだからそうなんは必要だと思います
	(女性 55-59才) 夫は家計に全くノータッチだから
	(女性 55-59才) 夫は計画性にかける
	(女性 55-59才) 夫婦のお金と考えるので。。夫は無駄使いするような人ではないので特に使いたければほとんど賛成と思う
	(女性 55-59才) 夫婦のものなので互いの合意がなければ使えない
	(女性 55-59才) 夫婦の共有財産だから
	(女性 55-59才) 夫婦の財産は夫婦で相談して妻の賛成を得られたら使っても良い。
	(女性 55-59才) 夫婦は話し合っただけでもお互いに納得してから
	(女性 55-59才) 夫婦共同体だから
	(女性 55-59才) 夫婦双方の資産だから。
	(女性 55-59才) 夫婦同じ考え
	(女性 55-59才) 夫婦二人の物なので相談して決めます
	(女性 55-59才) 夫名義でも結婚してから二人で努力して貯めたものであれば、夫婦の意見が一致してから使うものだと思うから。
	(女性 55-59才) 夫名義でも夫婦の財産だから 相談して決めて欲しい
	(女性 55-59才) 夫名義のものでも夫婦の財産だと思う
	(女性 55-59才) 名義がどうあろうとも、夫婦の協力で貯えたものだから 夫は印鑑の場所も、貯蓄内容も知らない。手を出せばお金が出てくると思っている。これも困った事だけだ。
女性	(女性 55-59才) 名義は夫でも夫婦の資産だと思うから
	(女性 55-59才) 預金は夫婦のものだから
	(女性 55-59才) 老後の夫婦の生活があるから。夫婦二人の資産も夫名義だから。しかし、夫の自由枠は干渉しないことになっている。(お互いに)
	(女性 60-64才) お金の価値観が違っただけで主人の意見に任せられないから。
	(女性 60-64才) どちらの収入も共同のものだから…
	(女性 60-64才) 家計の管理をしているから
	(女性 60-64才) 家族の一員として、誰(どの家族)の資産であっても、家族で話合うべきだと考えているから。
	(女性 60-64才) 家庭の資産は夫婦2人ものだから
	(女性 60-64才) 我が家では妻の私がすべて管理してます、が大きい支出の時は、夫婦で話し合っただけで決めます。
	(女性 60-64才) 管理は妻がしているから！
	(女性 60-64才) 共同生活をしているから
	(女性 60-64才) 共有のものだから
	(女性 60-64才) 協同して得た収入だから、夫婦の合意によって使う。
	(女性 60-64才) 結婚してからの収入は夫婦二人の財産だから
	(女性 60-64才) 妻(わたし)も主人のいけんに賛成だから
	(女性 60-64才) 妻の内助の功によって得た財産だから、夫の財産は妻の物でもあるから。
	(女性 60-64才) 資産管理はすべて妻がしているから。
	(女性 60-64才) 実際には長い間連れ添った夫婦においては片方の財産という感覚はないから
	(女性 60-64才) 証書・印鑑は全部、妻の私が管理しているので、夫は勝手に使えません。相談があって良いと思えば、妻の私が支払います。夫は保管している場所も知りません。夫はカードも使ったことがありません。
	(女性 60-64才) 相談はやっぱり必要で、自分が納得できればいいと思っているので。
	(女性 60-64才) 大黒柱の収入は妻が管理するもの

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

	(女性 60-64才) 定年退職をして退職金その他の貯金は、二人のこれからの生活のためのものと認識しているから。
	(女性 60-64才) 納得する説明が欲しいです。
	(女性 60-64才) 夫の収入も妻の収入も夫婦の共有のものだと思う。
	(女性 60-64才) 夫ばかり働いてきたわけじゃないから、相談して使うのがいいと思います。
	(女性 60-64才) 夫は自分の希望を言うだけだから。
	(女性 60-64才) 夫は衝動買いをすることがある
	(女性 60-64才) 夫婦共同でためた財産だからお互い必要ときに相談して使えば良いと思う。
	(女性 60-64才) 夫婦共有の財産なので両方が納得して使うべきだと思います。
	(女性 60-64才) 夫名義であっても、妻名義であっても相談の上で使う事が二人の暗黙の了解だから
	(女性 60-64才) 夫名義でも共有の財産だから
	(女性 60-64才) 夫名義でも夫婦で蓄えた物。相談して賛成を得てから使うのが波風がたたない。
	(女性 60-64才) 夫名義は 個人所有の意ではなく 家の代表者名としての名義資産だから 個人所有としての名義資産なら自由に使ってい
	(女性 60-64才) 夫名義も妻名義も財産は両方ものだからお互い相談し納得しあってから使うようにするべき
	(女性 60-64才) 名義にかかわらず夫婦の共有財産だと思うから。
	(女性 60-64才) 余裕のない生活をしているから
	(女性 60-64才) 老後の楽しみは捨てられない
	(女性 65-69才) 2人で作った資産であるから2人の合意のうえですかってほしいと思います。
	(女性 65-69才) あたりまえ
	(女性 65-69才) お金は夫婦に資産だから、お互いに相談して使うものだと思うから
	(女性 65-69才) ずっと共働きできていたので、共有財産です。
	(女性 65-69才) すべて夫婦共有の財産である以上相談して使うべきです。
女性	(女性 65-69才) そうなっていますので
	(女性 65-69才) それが夫婦で築いて行く意味だと思う。
	(女性 65-69才) どちらの名義であれ財産は夫婦のものであるのでお互いにフェアに相談してきめる
	(女性 65-69才) なんとなく
	(女性 65-69才) 結婚した当時から妻も収入が少しあったので貯めてきた。学資等の大きな出費は夫が出した。妻も夫に相談しなくても好きな物を買える楽しみがある。
	(女性 65-69才) 今はお互いに預貯金を含め収入などの金額は明白！相談しながら使う。
	(女性 65-69才) 妻の年金妻のもの、夫の年金妻のものという感じで、お金はすべて妻任せです。夫が使うお金はすべて私が預かった中から支出します。
	(女性 65-69才) 妻の立場からいいのでしょうか。我が家は主人と結婚した時から家計は私が預かり夫が必要と思われた時はそのつど渡してきました夫は今まで一度も不満は無いと思います。自分が欲しいと思った時は全部お金を渡してきましたので。
	(女性 65-69才) 財産は夫婦共有である。
	(女性 65-69才) 使うお金の多寡にもよるが、二人で一家をなしている、やはり相談して使う方がいいとおもう。
	(女性 65-69才) 私は専業主婦でたし、年金も少ないし、夫婦であれば秘密もなく、夫名義の資産でも、お互いに必要に応じて使ってる
	(女性 65-69才) 資産は家族(特に配偶者等)の協力なしには出来ないと思うから。
	(女性 65-69才) 自分名義であろうと2人でのもの
	(女性 65-69才) 収入は全て両方のものだから、双方の口座に入れるし二人ですべて相談して、使い道を納得して使っている。
	(女性 65-69才) 束縛している感じは微塵もないが夫は結婚以来給料袋の封を切って渡したことは一度もないし、使うときは必ず相談してくる 私も必要だといえれば必ず渡すようにしている長年それが当たり前のように思ってきたから お互いに大きな出費は必ず相談する
	(女性 65-69才) 長く夫婦生活をしていると、名義は便宜的なもので、夫名義でも妻の同意はいると思います。
	(女性 65-69才) 特に理由は無いが、結果的にそうなっている。
	(女性 65-69才) 夫が稼いだお金としても、今は家族全員が食べたり暮らしていくための生活費だから、自由に使う事は許されない
	(女性 65-69才) 夫のものは元はといえば、家族のものだから。子育て等で妻は収入のないこともある。

Q14:Q13の回答理由

4:妻に相談し、妻が賛成すれば使うことが出来る

女性	(女性 65-69才) 夫の資産であっても夫婦で協力して築き上げたものだから
	(女性 65-69才) 夫の資産であれ、それがなくなれば家族が暮らしていけないので、どういふことか話し合いは必要だと思う。
	(女性 65-69才) 夫の勝手は許せない
	(女性 65-69才) 夫の名義のものなので夫は自由に使って良いと思いますが何しろ自分名義の通帳にいくらあるか分かっていない夫なので必要な時はつまに言って使う感じになります。
	(女性 65-69才) 夫は管理を妻に任せきりなので自分の財産がどのくらいかはっきりとは把握していないから
	(女性 65-69才) 夫婦でがんばってきたのだから
	(女性 65-69才) 夫婦で家庭を作っているのですからそうすることがあたりまえです
	(女性 65-69才) 夫婦で相談して、最善の支出方法を考えるとともに、手持ち資産の保有状況をお互いに把握する。
	(女性 65-69才) 夫婦の合議が必要
	(女性 65-69才) 夫婦の財産は共有財産だから。
	(女性 65-69才) 夫婦間はお互いに相談しながら用途を決める必要があります。
	(女性 65-69才) 夫婦二人で築いた財産だから
	(女性 65-69才) 夫名義でも共有財産だと思う。
(女性 65-69才) 夫名義でも夫婦二人のものとして考えたい、相談の上使うことが妥当。	

Q14:Q13の回答理由

5:夫は全く自由には使えない

男性	(男性 55-59才) 自分の財産管理を任せてあるが、毎日朝の出かけるときは、私の財布の中身は2万円。妻としては、毎朝2万円を財布に入れておかねばならないプレッシャーはあるだろうが私も、自己管理としての程度使っているのか・・・判っている。でも男として、いつも2万円の財布の中身は必要だし、どこで誰と飲んで、2万円以上は絶対に消費しない。。という自覚はいつもある。只この2万円がこのところ10年以上同じなので・・・そろそろ3万円と云いたいが、もうじき定年です(><)
	(男性 60-64才) 不自由を感じないので(夫婦共金使いがあらくないので)自然に思う
	(男性 60-64才) 夫婦の力関係
	(男性 65-69才) 妻が管理している。ありがたも知らない。
女性	(男性 65-69才) 妻のほうで長生きする可能性が高い
	(女性 55-59才) 以前からの習慣だから。
	(女性 55-59才) 妻が管理しているから
	(女性 55-59才) 私が権限を握っている
	(女性 60-64才) 以前は夫の自由にしていたのですが、遊行費に使い果たしたので 妻が、管理する事にしました。でも、残り僅かにされました。
	(女性 60-64才) 家の財産管理はすべて私がやっているから。自由に使える程の余裕がまったくない。夫もこころえているから。
	(女性 60-64才) 夫に使わせたらきりがないので、過去にそうだったから今は夫の自由には使わせない。
(女性 65-69才) 二人で相談してから1人だけの理由では使えない	
(女性 65-69才) 名義はともかく、管理を任されている	

Q14:Q13の回答理由

6:その他

男性	(男性 65-69才) どちらの名義でも夫婦の共有財産と考えます。
	(男性 65-69才) 日常的な出費は、小遣いを含め、拘束はない。非日常の出費で、金額のはるものは、お互い了解を取り合っている。
女性	(女性 55-59才) もともと財産というほどのものは無くお金の管理を妻である私に任せているのもその方が都合が良いからだと思う。それに信頼も出てきた体とも思う。若い頃は時々通帳のチェックがあったが最近では全く任せられている。私の本音は夫に任せたいと思う。今の所大きな出費が出た時には、何も言わずに出せるよう努力をしている。
	(女性 60-64才) 夫が自分の小遣いから貯蓄したものは妻に相談なく自由に遣っているけれどそうでないものは妻の了解がないと遣えない。
	(女性 60-64才) 夫に対する質問でした。

Q15:B「妻は妻名義の資産を自由に使えるでしょうか？」以下の中からあなたのお考えに近い意見を、ひとつお知らせください。その他自由回答

男性	妻名義になっているが、共同財産なので、了解しあう。(65-69才)
	夫婦どちらの名義でも「夫婦の財産」としているので必ず相談する。(65-69才)

Q16:Q15の回答理由

1:自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない

男性	(男性 55-59才) お互いに生活資金に少しは余裕がある
	(男性 55-59才) ささやかに努力して蓄えたものだから！
	(男性 55-59才) すべて妻が管理しているので
	(男性 55-59才) 結婚したときからそうでした。
	(男性 55-59才) 元々あてにしていなかった。
	(男性 55-59才) 妻がためたものだから
	(男性 55-59才) 妻が貯めたお金です。こちらからとにかく言うつもりはありません。
	(男性 55-59才) 妻には自由に使ってもらって結構。
	(男性 55-59才) 妻に任せてあるから
	(男性 55-59才) 妻のものだから
	(男性 55-59才) 妻の収入を当てにするのが許せない(今までかなり迷惑をかけているから)。
	(男性 55-59才) 妻は妻
	(男性 55-59才) 妻は妻なりに家計に響かないようにすれば自由で良い。
	(男性 55-59才) 自分で稼いだお金なので自由に使ってもいいと思うため
	(男性 55-59才) 自分で貯めたものだから
	(男性 55-59才) 自分悪もの
	(男性 55-59才) 自分名義以外のものは一切関知しない
	(男性 55-59才) 自由にさせてもよい
	(男性 55-59才) 全く内容を知らないから。
	(男性 55-59才) 曾遊目的のお金しかない
	(男性 55-59才) 同じく妻が自分で稼いだものならば自由に一定がまで使ってもかまわないと思う。
	(男性 55-59才) 特に理由はない。何かを買ったときなどは、現物を見せながら「どうかしら」という程度。
	(男性 55-59才) 夫が妻・家族を養うのが基本、妻の財産・資産をあてにすべきではない。
(男性 55-59才) 法律上は、夫婦別財産制なので。	
(男性 60-64才) あまり高額でないため	

Q16: Q15の回答理由

1: 自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない

男性	(男性 60-64才)	お互い自己責任。
	(男性 60-64才)	すでに事実上分割しているから
	(男性 60-64才)	そうしてきている
	(男性 60-64才)	へそくりは妻のもの。
	(男性 60-64才)	結婚当初からそうだから
	(男性 60-64才)	現状はその通り
	(男性 60-64才)	最初から別会計で、お互いの収入も資産も全く知らない。
	(男性 60-64才)	妻が自身で貯めたものだから。
	(男性 60-64才)	妻が働いて稼いだものだから
	(男性 60-64才)	妻のものは、あくまでも妻のものであり、自由に使ってよいと思う。。夫名義のものとはある意味性格が違うものと考えている。
	(男性 60-64才)	妻の財産は妻の自由であり夫の財産は夫の自由であるので
	(男性 60-64才)	妻自由に使う分は自分のお金であれば妻の意思で充分だし、家庭は夫が守るべきのもの、妻は自分の所有物ではなく一人の意思を持った人間と認めるべき。
	(男性 60-64才)	妻名義のものは自由につかたら良いと思う。何の気兼ねも必要ない
	(男性 60-64才)	妻名義の預金等は内容が全然分からない。
	(男性 60-64才)	資産総額を知らない。
	(男性 60-64才)	自分の物は自分で
	(男性 60-64才)	女の細腕でえたものだから
	(男性 60-64才)	少量の収入のため。
	(男性 60-64才)	渡された生活費の中から妻が節約して貯めたものだから。
	(男性 60-64才)	特に有りません。
	(男性 60-64才)	秘密にしているから追求できない
	(男性 60-64才)	夫の方が今までに浪費の額が多いから。
	(男性 65-69才)	そのくらい自由は許容したいから
	(男性 65-69才)	その処分等は名義人の権利である。
	(男性 65-69才)	それぞれ別の人格だから
	(男性 65-69才)	それだけの努力を評価してやりたい。
	(男性 65-69才)	へそくりを一々報告する奴が居るか！
	(男性 65-69才)	家計費は妻に任せているので、余裕があると思えば自由に 使っても良いと思う。
	(男性 65-69才)	会計には口だしてできない。
	(男性 65-69才)	妻が自分で働いて得た収入であり、夫が関知する問題ではない。
	(男性 65-69才)	妻が自分の努力、力で得た資産は当然自由に使えると思う。
	(男性 65-69才)	妻とは別居中だから
	(男性 65-69才)	妻の資産は妻のものだから
(男性 65-69才)	妻の収入はアルバイト的なもの、家事をこなした上での収入だから。	
(男性 65-69才)	妻は妻自身の裁量で蓄財した物	
(男性 65-69才)	妻個人のものだから。	
(男性 65-69才)	妻名義の資産は妻の自由だから	
(男性 65-69才)	生活費は夫が稼ぐのは基準だが、妻が全部家のことをやり残った時間に働いたお金は夫に報告する必要が無い	
(男性 65-69才)	昔からの習慣。	
(男性 65-69才)	前回の回答どうり	
(男性 65-69才)	多くは妻の相続遺産かアルバイト収入であろう。よってこれは妻の自由にできる資金とみなす。	
(男性 65-69才)	長年の生活の切り盛りの褒美。	

Q16: Q15の回答理由

1: 自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない

男性	(男性 65-69才)	配偶者がへそくりでためた財産(大げさ)自由に使ってよいと思う。夫の財産とは違うと思う。
	(男性 65-69才)	夫として妻名義の預貯金は夫々自由に使えるようにしてあるから。
女性	(女性 55-59才)	いつもしていることだから。
	(女性 55-59才)	一人の人間として、行動するときの資金が必要だから、当然である。
	(女性 55-59才)	嫁ぐ前の財産です
	(女性 55-59才)	家計は全て自分が握っているから
	(女性 55-59才)	家計管理が妻
	(女性 55-59才)	我が家ではお互いの資産事態は無い。預金はおおよそ妻である私の名義にしているのは、金融関係にいくのに私が行くことが多いので私名義にしている方は便利であるから。
	(女性 55-59才)	我が家の場合、小額のへそくり程度なので自由に使えると思う。
	(女性 55-59才)	結婚前に持っていたのであれば、自由に使ってもかまわないと思うから。
	(女性 55-59才)	妻のものだから
	(女性 55-59才)	妻の貢献度分として、妻名義の口座があり、その範囲では自由に使える。
	(女性 55-59才)	妻名義のものがどのくらいあるか知らないから。
	(女性 55-59才)	妻名義の試算があることを知らない
	(女性 55-59才)	妻名義の資産は妻の自由
	(女性 55-59才)	私が実家から相続したものなので、自由にしてよいと思っている。
	(女性 55-59才)	私の家庭を例に挙げると、ある時期までパート収入の大多数を生活費の一部として使用。今、専業主婦になり、ほんの少しの残と、やりくりした毎月の生活費の残額を、趣味や、時々のお食、映画鑑賞などに使うくらいだから。但し、夫抜きで たまに行く旅行は、少し補助してもらった時があります。
	(女性 55-59才)	自分が管理しているので事後報告はしなくても良いが、いつも話している。
	(女性 55-59才)	自分で管理しているから
	(女性 55-59才)	自分で管理しているから..
	(女性 55-59才)	自分で蓄えたものだから
	(女性 55-59才)	自分のおかねえあるから
	(女性 55-59才)	自分のお金だから
	(女性 55-59才)	自分のお金として生活費とはわけて貯金しているから
	(女性 55-59才)	自分の収入は自分で管理しているから。
	(女性 55-59才)	自分の小遣いのつもりでいるので 夫のは 関係ないと思います
	(女性 55-59才)	自分の物は自分が自由にしたいと思っているので。
	(女性 55-59才)	主人のお金から支出していないので
	(女性 55-59才)	生活費に使うのが主だから。
	(女性 55-59才)	全権管理をまかされているので使える範囲以内で使う
	(女性 55-59才)	特に理由はありませ
(女性 55-59才)	独身のときのお金だら	
(女性 55-59才)	夫が承知しているから	
(女性 55-59才)	夫にいくらあるか言っていないので。	
(女性 55-59才)	夫は何にもいわない	
(女性 55-59才)	夫も同じだから。	
(女性 55-59才)	夫婦それぞれの資産と共有部分ははっきり分けるのが法的にも当然	
(女性 55-59才)	夫婦でも個人資産として使える。	
(女性 55-59才)	夫婦で各自の自由枠があつて別にしている。	

Q16:Q15の回答理由

1:自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない

女性	(女性 60-64才)	お互いに信頼しています。
	(女性 60-64才)	このお金は内職などの余録なので あくまでも自由に使ってます。
	(女性 60-64才)	これまでそうして来たから。
	(女性 60-64才)	そもそも我が家では妻名義の資産がない
	(女性 60-64才)	へそくりだから。
	(女性 60-64才)	以前に、そうされたお返しです。
	(女性 60-64才)	以前仕事をしていた時の給料をそのまま残していたもので、自由に使える。報告はしなくても良いが海外旅行などは説明をしている。
	(女性 60-64才)	何をかうにも自分自身が検討しているから
	(女性 60-64才)	家庭の副貯蓄だから
	(女性 60-64才)	勤めている時に蓄えたもので、これは自分のものという意識があり(必ずしもこの考えが正しいとは思わないのですが)相談なしで遣ってしまいます。
	(女性 60-64才)	結婚前からの預金に限ってだけ
	(女性 60-64才)	妻が管理しているから。
	(女性 60-64才)	妻のものだから
	(女性 60-64才)	妻の収入は少ないことが多いのでお小遣い感覚
	(女性 60-64才)	妻名義の資産はそんなに多くないから
	(女性 60-64才)	私個人のお金で主人は知らない
	(女性 60-64才)	資産管理は妻がしているから。
	(女性 60-64才)	自分のお金だから
	(女性 60-64才)	自分のお金は、誰の許可も必要ないと思います。
	(女性 60-64才)	自分の給与、年金は、総て自分で管理しているし、保険等の臨時収入も報告はしていない。
	(女性 60-64才)	自由に使い、夫には必要と思われる時に、報告しているから。
	(女性 60-64才)	年金収入から一定の額を生活費に当てて、後は自由に使える。改築費など高額出費はお互いの話し合いで決める。
	(女性 60-64才)	配偶者はあまり金銭的なことには関心が無い
	(女性 60-64才)	夫が退職金を手にした時に、まとまった金額を今後のごづかいとして前渡をしてもらっているので、その範囲内で自由に使うため。
	(女性 60-64才)	夫に知らせていない買い物などは妻名義の預金から使っている。
	(女性 60-64才)	夫婦共々に管理していてタッチしない。
	(女性 65-69才)	うちでは妻の資産などないに等しいので、こんな答えになりましたが、大きな資産を持っているなら答えは変わるかもしれない。
	(女性 65-69才)	お金の使い道を詮索するような夫ではない。
	(女性 65-69才)	タイプとして専業主婦を選び子供たちが成人に達したころから自分で自由に使えるお金が必要になりパート勤務してためたものであるため
	(女性 65-69才)	なぜか自分のお金は自分のものと思ってしまう
	(女性 65-69才)	現在は、就業している収入ではないので、それほどの多寡ではないから。
	(女性 65-69才)	妻の財産の殆どは妻の両親からの遺産だから
	(女性 65-69才)	妻の自由裁量のもの少ないし、大体夫に話す事が多いから。
	(女性 65-69才)	妻はわかまえている。
	(女性 65-69才)	妻は働いてないのでお小遣いの範囲で自分でやりくりする。そのお金は夫には相談しなくて、買い物・旅行している。
	(女性 65-69才)	私が親からの相続されたものは自由に使いますが、夫と話し合いながら使います。
(女性 65-69才)	私名義の預貯金は取り決めて自由に使える	
(女性 65-69才)	自己管理	
(女性 65-69才)	自分で働いて貯めたものだから。	
(女性 65-69才)	自分のお金だから	
(女性 65-69才)	全て管理をまかされている妻は責任を持って管理していますので自分の者は自分で使って良いと思います。事後承諾と言うより報告する感じ	

Q16:Q15の回答理由

1:自由に使えるし、夫に事後報告も必要ない

女性	(女性 65-69才)	夫から預かったぎりぎりの生活費を、妻が切り詰めて、夫名義3:妻名義1の割合で貯金したもので、自由に使える。ただし、義務付けられてはいないが、自分から事後報告している。
	(女性 65-69才)	夫は私の財産のことは何も言わないし当てにもしない。
	(女性 65-69才)	夫婦それぞれ束縛しないで、予算内で好きなことに使っている
	(女性 65-69才)	母から譲り受けたものだから

Q16:Q15の回答理由

2:自由に使えるが、夫に事後報告が必要

男性	(男性 55-59才)	家庭のここと一切を任せているので・・・この程度は許容を上げてあげられなければ木間づくなってしまいます。私も間違っ、毎日2万円を消費することもあります。お互いに、許容できるところは納得の上許しあいます。その代わりに12月31日の決算ではお互いの全財産を家族みんなで確認しあいます。 (*O*)
	(男性 55-59才)	家庭生活をしている以上、お互いの信頼の上に成り立っているから。
	(男性 55-59才)	我が家の妻の資産は結婚の時に実家より持参したものと、毎月のやりくりから捻出したものであり、私は関心は無い。
	(男性 55-59才)	互いの信頼
	(男性 55-59才)	妻が努力して作った部分だから
	(男性 55-59才)	妻にも権利があるから
	(男性 55-59才)	妻は家事労働の他に働いているので
	(男性 55-59才)	常識。
	(男性 55-59才)	信頼が必要
	(男性 55-59才)	単独で生計維持が出来ないのならば 事後報告は必要でしょう
	(男性 55-59才)	夫婦は一緒だから
	(男性 55-59才)	夫婦二人で相談する。
	(男性 60-64才)	14問と同じ意見です
	(男性 60-64才)	お互いに知っていたい
	(男性 60-64才)	そういう事で良いのです。
	(男性 60-64才)	やはり夫婦なので夫に相談する。
	(男性 60-64才)	何事も報告しあっているから
	(男性 60-64才)	額も少ないし、自由にしたら良い
	(男性 60-64才)	講座がどうなっているのかわからないが、よく買い物に出ているので自由に使っているのだと推測する。
	(男性 60-64才)	妻が苦勞してへそくった銭だから、自由に使えばよい、が 報告ぐらいしても、ばちはあたらないと、思うが。
	(男性 60-64才)	妻名義の資産は殆どないし、妻名義の少額の貯蓄は自由に使っても問題ない。
	(男性 60-64才)	前の回答と同じ
	(男性 60-64才)	大きい金額の場合、報告が必要。
	(男性 60-64才)	大金でなければ構わない
	(男性 60-64才)	特に理由はないがそうしてもらいたい。
	(男性 60-64才)	夫婦共有であるから
	(男性 60-64才)	理解しあって使う
	(男性 65-69才)	Q14でお答えした事と全く同様で、詮索する気もないしこだわりは感じない。
	(男性 65-69才)	Q14と同じ
	(男性 65-69才)	どう使ったかは一応知っておきたい。
(男性 65-69才)	家庭円満の為	

Q16: Q15の回答理由

2: 自由に使えるが、夫に事後報告が必要

男性	(男性 65-69才)	外で働く男性ではある程度自由な使用をされてもし方がないと思う
	(男性 65-69才)	高価な物を買った場合など、報告してほしい
	(男性 65-69才)	妻のへそくりまで私は何も言わない
	(男性 65-69才)	妻の収入に干渉しない
	(男性 65-69才)	妻の収入は妻のものと思う。
	(男性 65-69才)	使いみじの報告があってもよい
	(男性 65-69才)	使うのは自由だが、とりあえず何に使ったのかぐらいは 知らせてもらう。
	(男性 65-69才)	事後報告は必要
	(男性 65-69才)	自分が自由に使って居るから。
	(男性 65-69才)	自分の金は自由に使える
	(男性 65-69才)	前回答と、同じ。
	(男性 65-69才)	Q14と同じ。
	(男性 65-69才)	夫婦だから。
	(男性 65-69才)	両方で話し合うのが筋
	女性	(女性 55-59才)
(女性 55-59才)		お互いに、かくしことは良く無い。
(女性 55-59才)		お互い必要なものは事後報告でも良いと思います
(女性 55-59才)		よく判らない
(女性 55-59才)		妻が管理しているから
(女性 55-59才)		私のお金はあてにされてない。自由でよいが、節々に報告はする。
(女性 55-59才)		自分(妻)は働いていないのでお小遣いを貯めた少しの資産でも夫には知っててもらいたい
(女性 55-59才)		自由に使えるが、主人には知らせる。
(女性 55-59才)		夫婦間の信頼感を失くさない為。
(女性 55-59才)		夫婦共有財産だと思うから
(女性 60-64才)		20万以上の買い物は夫に相談します。それ以下は、自由に使っています。お金の管理は全部妻の私がやっている。
(女性 60-64才)		何もいわないですけど一応言います。
(女性 60-64才)		基本的には私がお金を握っているの自由に使えますが、一応報告ぐらいはした方が いいかな。と思っております。
(女性 60-64才)		妻名義で 家の代表者としての意をふくむ時は少ない
(女性 60-64才)		使い道がそれなりに正当だから。
(女性 60-64才)		自分の資産は自分で自由に使えると思うが、夫には事後報告、又は相談しても良いと思う。
(女性 60-64才)		主人もわたしと気持ちが一緒だから
(女性 60-64才)		専業主婦だからたいしたお金はない。やはり報告は必要。
(女性 60-64才)		前回と同じですが、小額の場合はことわりなく使うことがある
(女性 60-64才)		知っててもらいたいから。
(女性 60-64才)		夫々干渉しない
(女性 60-64才)		報告した方が家庭内のトラブルも避けられるし会話も弾む。
(女性 65-69才)		14と同じ
(女性 65-69才)		自由にさせてくれるので。
(女性 65-69才)		お互いある程度お金を持っている。
(女性 65-69才)	お互いに話しておくことがうまい	
(女性 65-69才)	そうなっていますので	
(女性 65-69才)	共同財産	

Q16: Q15の回答理由

2: 自由に使えるが、夫に事後報告が必要

女性	(女性 65-69才)	共有である。
	(女性 65-69才)	自分でやりくりして貯めたのですから自由に使えます。
	(女性 65-69才)	自分の資産だから使うのが当然です。
	(女性 65-69才)	長年暮らしててそういうスタイルになった
	(女性 65-69才)	二人主のだから。
	(女性 65-69才)	夫の方が妻のものを家計に入れてほしいという気は全くないので、自由であるし、報告を必要としていないが、私の方がきちんというだけである。
	(女性 65-69才)	夫婦で話合って購入している
	(女性 65-69才)	夫婦の決め事
	(女性 65-69才)	法的に婚姻前の資産などは別なのでは？

Q16: Q15の回答理由

3: 夫と相談すれば、夫が反対しても使うことが出来る

男性	(男性 55-59才)	お互い相手を尊重している
	(男性 55-59才)	できれば合意して使ってほしいが意見が合わなければ妻の自己責任で使っても仕方がないと思える。
	(男性 55-59才)	一緒に生活している限り必要
	(男性 55-59才)	前問の回答と同じ。
	(男性 55-59才)	相談すれば問題はない
	(男性 55-59才)	二人の財産だから
	(男性 55-59才)	夫はどれくらい預金があるのか、わからないので、妻の判断できている。
	(男性 60-64才)	Q14と同じで、夫が賛成するのが基本姿勢だが時には賛成が得られなくても使わざるを得ない場合があるから、、、
	(男性 60-64才)	何事においても夫婦で相談して使うようにしているが、一義的には妻の自由である。
	(男性 60-64才)	妻名義の預貯金は、使い道を妻に任せている。
	(男性 60-64才)	自然とそうなった
	(男性 60-64才)	自分で稼いだお金は自由にさせたい。
	(男性 60-64才)	自由では有るが説明がほしい
	(男性 60-64才)	先ほどと同じ理由
	(男性 60-64才)	相手に相談した以上、あとは考え方の違いだから。
	(男性 60-64才)	相手に相談すれば、あとは考え方の違いだから。
	(男性 60-64才)	当然の事。
	(男性 60-64才)	同上
	(男性 60-64才)	毎月の収入は全て妻が管理し其の中から積み立てた妻名義の資産は妻が主体的に使うこととしている。
	(男性 65-69才)	お互い様である。
	(男性 65-69才)	とにかく隠し事はしない。
	(男性 65-69才)	限られたお金をムダにせず、有効に活用するための意見は言うが、最終的には本人の意思にまかせる方が良いと思うから。
	(男性 65-69才)	個人の決済権を重視する。
	(男性 65-69才)	妻の世話になる可能性が高い
	(男性 65-69才)	自分の責任で使えばよい。
(男性 65-69才)	前問の回答と同じ。	
女性	(女性 55-59才)	Q14の答えと大体同じ
	(女性 55-59才)	私の考えを優先

Q16: Q15の回答理由

3: 夫と相談すれば、夫が反対しても使うことが出来る

女性	(女性 55-59才) 前問と同じ。名義がそれぞれなのですから、それぞれの裁量に任せてよしい。ただし夫婦なら互いのコミュニケーションの一環として話すことはあっていいと考える。
	(女性 55-59才) 相手にも干渉しないようにしてるので。
	(女性 55-59才) 夫の場合と全く同じで妻のものは、妻が自由に使えるのが基本的な考え方です。しかしし内緒にする必要は無く同じ家庭内では話題にして当然と思う。どうしても妻が欲しい物への支出は、例え夫が反対であっても妻の考えで使えと思う。
	(女性 55-59才) 法律によると、そうなると思う
	(女性 60-64才) 14での解答と同じ。
	(女性 60-64才) Q14と同じ
	(女性 60-64才) いつも話し合っているから。
	(女性 60-64才) 我が家ではそうしてるから。
	(女性 60-64才) 我が家の流儀だから。
	(女性 60-64才) 資産の半分は妻のものだから
	(女性 60-64才) 女は家、家庭の事以外には使わないから、男のように外で無駄使いはしない。
	(女性 60-64才) 相談だけは必要
	(女性 60-64才) 夫婦は共同で家庭を運営する
	(女性 65-69才) 基本的には妻のものだから。
	(女性 65-69才) 妻名義のものは妻が管理するものですが、夫との相談は必要かと・・。
(女性 65-69才) Q14と同じ。	

Q16: Q15の回答理由

4: 夫に相談し、夫が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 55-59才) 14と同じ
	(男性 55-59才) Q14と全く同じ。
	(男性 55-59才) q14の答えの逆で妻の場合も同様で、結婚してからの資産形成は本人だけの力ではなく夫の存在があって出来るものと解釈することが自然の結果だと思いたい。
	(男性 55-59才) この家の財産は二人の共有だと思うから。
	(男性 55-59才) これまで、二人で共に共稼ぎを行ってきたため。
	(男性 55-59才) そのように決めたいと思う
	(男性 55-59才) どちらにしろ夫婦のお金
	(男性 55-59才) やはり、合意が必要だから。
	(男性 55-59才) 家計への影響を相談しながら。
	(男性 55-59才) 家族全体で目的を決めて使うもの。
	(男性 55-59才) 共同財産だから相談する
	(男性 55-59才) 共同生活だから
	(男性 55-59才) 結婚後に形成した資産は夫婦のものである。結婚前に持っていたものは自分で決済するのは当然。
	(男性 55-59才) 妻の名義といえども夫婦の財産であるから
	(男性 55-59才) 妻の力だけでは貯まらないから
(男性 55-59才) 妻名義の預金であっても夫婦であれば一応どんな物に使うか相談するべきだから	
(男性 55-59才) 前の意見と同じ	
(男性 55-59才) 想像で！	
(男性 55-59才) 相談くらいは必要と考える。	

Q16: Q15の回答理由

4: 夫に相談し、夫が賛成すれば使うことが出来る

男性	(男性 55-59才) 多分そうだと思う。
	(男性 55-59才) 対話と家庭円満の為
	(男性 55-59才) 道義的に相談するべきだ
	(男性 55-59才) 二人で作ったものだから二人で決めてするものだと思います。
	(男性 55-59才) 夫の場合と同じ
	(男性 55-59才) 夫婦だから
	(男性 55-59才) 夫婦とはそんなもんです。
	(男性 55-59才) 夫婦は一つだから
	(男性 55-59才) 普段からそうしているから
	(男性 55-59才) 名義上を妻にしているだけで共有財産である
	(男性 55-59才) 預金は夫婦の共同財産だから。
	(男性 60-64才) 2人共通の資産だから
	(男性 60-64才) Q14でも出ましたが、私どもでは、財産は夫婦共有のものと言うのが基本的な考え方です。ですから、お互い良く話し合っ、理解しあつた上で行動しています。
	(男性 60-64才) Q14と同じ
	(男性 60-64才) Q14と同じで、すべての資産は名義は違っても共有のものです。
	(男性 60-64才) Q16で答えた通り、使途も夫婦で共有する
	(男性 60-64才) よほどのことがない限り反対はしないが、お互いに助け合ってきたので相談する
	(男性 60-64才) 何事も夫婦が相談して決める方針だから。
	(男性 60-64才) 共有ゆえ
	(男性 60-64才) 共有財産である
	(男性 60-64才) 結婚以来の習慣。
	(男性 60-64才) 妻の資産であるが、全て夫からもらったものだから。
	(男性 60-64才) 妻は一度も働きに出たことはないから、妻名義のものがあつたとしても元々は夫のものだから。
	(男性 60-64才) 妻名義であっても共有財産には変わらない
	(男性 60-64才) 財産は夫婦共有のもの
	(男性 60-64才) 賛同を得て欲しい
	(男性 60-64才) 資産わ夫婦共通の物であるから。
	(男性 60-64才) 資産形成が夫婦のものと考え。
	(男性 60-64才) 前の答えと同じです。
	(男性 60-64才) 全て2人の共同財産だから
	(男性 60-64才) 相談するのが当然
	(男性 60-64才) 大きい買い物は夫婦で相談する
	(男性 60-64才) 当然のこと
	(男性 60-64才) 同じ共有財産だと思う。
	(男性 60-64才) 同等です
(男性 60-64才) 夫が稼いだ金である	
(男性 60-64才) 夫も協力している	
(男性 60-64才) 夫も妻もサイフは同じ	
(男性 60-64才) 夫婦のお金はどちらの名義に関係なく夫婦の共同財産だと考えている。	
(男性 60-64才) 夫婦はそういうものである。	
(男性 60-64才) 夫婦は共同責任	
(男性 60-64才) 夫婦一体	

Q16: Q15の回答理由

4: 夫に相談し、夫が賛成すれば使うことができる

男性	(男性 65-69才) そんなに沢山ないからお互いに相談しあって使う。
	(男性 65-69才) Q14と同じです
	(男性 65-69才) Q14と同じ考えから...
	(男性 65-69才) Q14におなじ。
	(男性 65-69才) お互い年金生活なので、相談しながら使っている。
	(男性 65-69才) 家計全体が狂わないためにそうしている
	(男性 65-69才) 家庭の問題に関しては夫が最終責任を負うことになるので。
	(男性 65-69才) 間違った使い方をしていないか確認があった方がよい
	(男性 65-69才) 結婚の際に持参金として持ってきた妻名義の資産は別として、結婚後の二人の収入は合計されて、分けるときは半々と考えるから相談して了承してから使うべき。
	(男性 65-69才) 結婚後の夫婦の収入は二人に共有のものであり、支出の際には二人の同意が要る。
	(男性 65-69才) 合算しても僅かなものだから
	(男性 65-69才) 妻の資産といっても実態は二人のものだから
	(男性 65-69才) 妻の自由意思は尊重するが、限られた資産であるから、あくまでも慎重を期して。
	(男性 65-69才) 妻名義の預貯金も共有と考える
	(男性 65-69才) 財産は夫婦の共有である。
	(男性 65-69才) 財産は夫婦共有のもの
	(男性 65-69才) 収入は夫婦共有で支出も相談する
	(男性 65-69才) 上記Q14におなじ。
	(男性 65-69才) 全て合議
	(男性 65-69才) 相互に理解できない夫婦にはなりたくない。使いたい理由を聞くのは当然でしょう。年金さえちゃんと確保して、その他の預金を夫婦で相談して使うとこにしている。
女性	(男性 65-69才) 答えは前問と同じです。
	(男性 65-69才) 独断で大きな買い物はしない。
	(男性 65-69才) 夫婦それぞれの収入であっても助け合っの収入であるから、共有すべきである。
	(男性 65-69才) 夫婦であるからには全てが共同財産である。
	(男性 65-69才) 夫婦として合意が重要
	(男性 65-69才) 夫婦の共有財産だから
	(男性 65-69才) 夫婦の連帯感が一番
	(男性 65-69才) 夫婦は何事も相談し事を進めるのがよい。
	(男性 65-69才) 名義はともあれ、財産は夫婦共有のもの
	(男性 65-69才) 名義上は夫または妻の名義になっていても永い年月で築き上げた家庭にあっては名義に関係なくお互いに用途には賛成し合って使うのが望ましい。
	(女性 55-59才) Q14の回答と同じ。
	(女性 55-59才) お金は二人の物だから。
	(女性 55-59才) へそくりとして妻が自分でやりくりして貯めたもの以外は、妻名義であろうと、家族全体で管理する資金である。
	(女性 55-59才) 一応なんでも相談する
	(女性 55-59才) 家族だから
	(女性 55-59才) 共有財産だから
	(女性 55-59才) 財産はすべて夫婦のもの
	(女性 55-59才) 賛成してもらって使いたいの
	(女性 55-59才) 先と同じで夫婦で貯めたものは夫婦で相談すべきだから
	(女性 55-59才) 大金を使うときは夫婦の資産は双方のものという考えなので相談して理解を求め、承諾を得る。
(女性 55-59才) 二人の財産だと思っているから。	
(女性 55-59才) 夫あつての自分	

Q16: Q15の回答理由

4: 夫に相談し、夫が賛成すれば使うことができる

女性	(女性 55-59才) 夫の場合と同じ..?
	(女性 55-59才) 夫婦で同じ考え
	(女性 55-59才) 夫婦のものなので互いに合意しなければ使えない
	(女性 55-59才) 夫婦の財産
	(女性 55-59才) 夫婦の資産だと思うから
	(女性 55-59才) 夫婦はお互いに理解しあうべき
	(女性 55-59才) 夫婦共同体だから
	(女性 55-59才) 夫婦双方の共同の資産だから。
	(女性 55-59才) 夫婦二人の物なので相談して決めます
	(女性 60-64才) 14と同じ。
	(女性 60-64才) Q14と同じ。
	(女性 60-64才) お互いに立場が同じようにしたいので。
	(女性 60-64才) そのようにするのが理想だと思うので
	(女性 60-64才) 家族として、当然のこと。上記同。
	(女性 60-64才) 共同生活だから、隠し事をしない。
	(女性 60-64才) 共有になるから
	(女性 60-64才) 元は夫のお金なので、反対されれば使いにくい。
	(女性 60-64才) 後、後めたくないから
	(女性 60-64才) 私が使う時は無駄な時ではないのでどうしてもつかわなければならぬ時であるので使えればやはり夫にも賛成をもらってから使う。
	(女性 60-64才) 収入は双方共同のものである為。
	(女性 60-64才) 全て夫婦の共有財産なので...
	(女性 60-64才) 夫婦で蓄えた資金ですから相談して使用する
	(女性 60-64才) 夫婦の協力によって出来た財産だから、かつてにはできない
	(女性 60-64才) 夫婦の物だと考えているから
	(女性 60-64才) 夫名義のものを使うときと同じ理由
	(女性 60-64才) 名義はどちらにせよ夫婦共有のものとする。
	(女性 60-64才) 余裕のない生活をしているから
	(女性 60-64才) 例え妻の名義であっても共同で生活をしているのだから夫に相談をして気分良く使うのが良いと思う。夫婦なのだから当然な事では無いだろうか。
	(女性 65-69才) 14の答えと一緒にやはり夫婦で考えて使うべきだと思う。
	(女性 65-69才) 2人の資産だと思うから互いに相談すべきだと思う。
	(女性 65-69才) あたりまえ
	(女性 65-69才) Q14で書いた事とおなじです、夫婦であるからにはすべて相談しあって事を運ぶべきです
	(女性 65-69才) Q14と同じ
	(女性 65-69才) あくまでも双方の収入は、二人の為のものという考えの為。
	(女性 65-69才) お互いに生活を営む上に置いて其れが必要だと思われた時は買うようにしています。今まで身の丈以上のものは買いません
(女性 65-69才) お互いに相談します。	
(女性 65-69才) お互いはなし合いで使えます。	
(女性 65-69才) そう関係です。	
(女性 65-69才) なんとなく	
(女性 65-69才) 一家の全体としての資産管理を行うため。(少し昔風です)	
(女性 65-69才) 共に 築いた財産だから...	
(女性 65-69才) 共有財産として、保有状況をオープンにする。	

Q16:Q15の回答理由

4:夫に相談し、夫が賛成すれば使うことが出来る

女性	(女性 65-69才)	妻のもっているものは、働くことを主にした収入ではないので。
	(女性 65-69才)	妻の物でも夫婦なのだから相談する。
	(女性 65-69才)	妻名義でも共有財産だと思う
	(女性 65-69才)	妻名義の資産は少ないし、主人が全部管理してるので、必要な際は用立てしてくれるので・・・
	(女性 65-69才)	細かい金額1~2万円位ははお互いに自由意志で使える。金銭出納帳をつけてるわけではないので。
	(女性 65-69才)	資産は家族(特に配偶者等)の協力なしには出来ないと思うから。
	(女性 65-69才)	資産を稼いだのは、夫であるので、事前に了解を得たい。でも、それについて止められたりすることはない。資産は、夫婦ふたりのものであると思うからです。
	(女性 65-69才)	自分名義でもわかちあう
	(女性 65-69才)	自分名義の資産でも一応は夫の意見も聞いてから使う
	(女性 65-69才)	相談して使う方がいい。
	(女性 65-69才)	大きな出費をしてきてあまりお金は無いと思うので使う気はない。
	(女性 65-69才)	特に決めてないので
	(女性 65-69才)	二人の資産と考える、名義は仮のもの。
	(女性 65-69才)	反対を押し切って使っても関係がぎくしゃくするのは嫌だから。
	(女性 65-69才)	夫婦になったのだから、隠し事は良くない
	(女性 65-69才)	夫婦の財産は共有のものと思っているから
	(女性 65-69才)	夫婦は合議が必要
	(女性 65-69才)	夫婦二人で築いた財産だから
(女性 65-69才)	名義は単に便宜上のものと考えていますから、相手の同意は当然必要です。	
(女性 65-69才)	預金名義は自分のものであっても、夫婦共有のものだと思っているから	

Q16:Q15の回答理由

5:妻は全く自由には使えない

男性	(男性 65-69才)	ももとは夫の収入
	(男性 65-69才)	全てが夫の名義になっているから
女性	(女性 60-64才)	年金も管理している。

Q16:Q15の回答理由

6:その他

男性	(男性 60-64才)	自由に使っても文句は言わないが、勝手に使う事も無い。
	(男性 65-69才)	財産は、全て2人のもの、という考え方に立っている。
	(男性 65-69才)	全項目と同じ考えです。

Q22:あなたが参加しているサークル・クラブ(会)。その他回答

男性	IT関連の交流会、異業種交流会、地域の音楽イベント。(60-64才)
女性	近所の主婦旅行会(55-59才)

Q26:ご夫婦の収入源をすべてお知らせください。その他回答

女性	妻の趣味で得た収入(60-64才)
	息子からおこずかい(65-69才)
	子供たちから(65-69才)